

昭和47年(1972年)

6月7日～8日の大雨

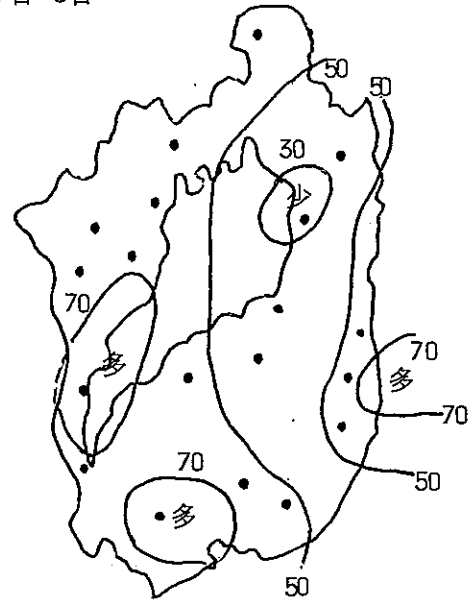
今年の入梅は平年よりやや早目の6月7日で、「ツユ」入り宣言した途端に、西日本で前線が活気づき、九州地方のところどころで大雨が降り被害がでた。

降水量 (mm)

観測所	6月7日	観測所	6月7日	観測所	6月7日
彦根	41	水口	57	安曇川	55
伊吹山	21	近江八幡	52	油日	57
木之本	34	政所	67	君ヶ畑 台地	52
今津	56	吉槻	42	関西電力	
大津	71	市場	64	高時川	32
多羅尾	56	北小松	72	草野川	40
堅田	73	柏原	60	中村	69
土山	56	信楽	80	黄和田	61
日野	46	柳ヶ瀬	51	荒川	66
瀬田川	68	治田	68	伊吹	39

降水量分布図 (mm)

6月7日～8日



被害状況

(1) 家屋被害

種別	被害状況			被害額 (円)	被害市町村	
	棟数	世帯数	人員			
住家	床上浸水	1	1	4	4,100	八日市市
	床下浸水	18	18	71		大津市
		29	29	110		草津市
		14	14	55		近江八幡市
		20	20	83		今津町
		1	1	5		新旭町
非住家	2	—	—	300	草津市	
計	85	83	328	4,550		

(2) 農林水産関係被害

種 別				被 害 状 況			被 害 市 町 村	
				箇所数	面積(ha)	被害額(円)		
施設 関係	農業 施設	田	浸水	1	0.017ha	— 円	八日市市	
			冠水		30	—	草津市	
	林業 施設	山地崩壊	3		—	大津市		
農 作 物	ト	マ	ト		4.0	9,440	八日市市	
	ナ		ス		2.6	2,440	八日市市・中主町	
	キ	ユ	ウ	リ		4.0	7,680	八日市市
	ス		イ	カ		61.5	12,465	能登川町・八日市市
	カ	ホ	チ	ヤ		1.5	270	八日市市
	豆			類		10.0	2,340	〃
	牛			ク		0.1	200	中主町
	そ の 他			計		25.0	10,000	能登川町
計				4	138.717	44,835		

6月26日～27日の大雨

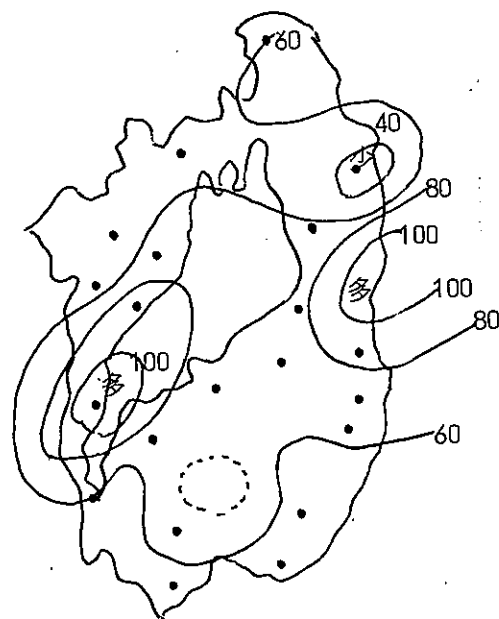
27日未明、対馬海峡を通過して日本海に出た低気圧で、九州地方は大雨となり、ガケくずれによる被害

降水量 (mm)

観測所名	26日	27日	観測所名	26日	27日
彦根	39	32	北小松	43	47
木之本	32	20	堅田	58	51
竹生島	39	22	土山	41	29
今津	39	30	治田	34	30
大津	44	43	日野	35	22
多羅尾	30	19	長浜	34	15
水口	36	34	瀬田川	31	18
八幡	48	29	安曇川	40	34
政所	40	32	油日	31	23
中之郷	27	37	信楽	34	30
吉槻	28	20	柏原	42	51
市場	32	26	柳ヶ瀬	31	30

降水量分布図 (mm)

6月26日～27日



があった。

当県でも26日20時より雨が降り出し27日夜半前まで続いた。このため100mm前後の大雨が降った所もあるが被害はなかった。

昭和47年7月 豪雨

7月2日、黄河流域に発生した1000mbの低気圧が、3日黄海にはいるとともに、南西海上から湿った空気が九州に流れこみ大雨が降り始めた。4日、湿舌は四国にまでのびた。九州・四国各地で大雨と

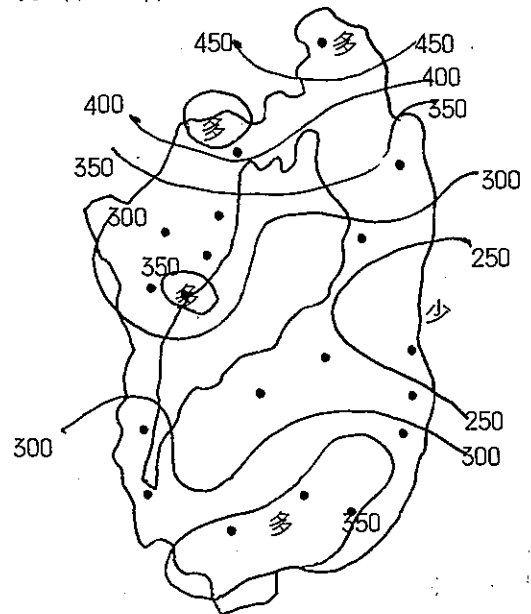
降水量 (mm)

観測所	日	9	10	11	12	13	計
彦根		33	73	17	106	18	247
柏原		21	87	23	92	11	234
政所		42	115	23	104	22	306
土山		25	200	18	97	36	376
信楽		30	163	29	116	25	363
君ヶ畑台地		30	78	15	103	23	249
荒川		16	90	82	125	5	318
大津		40	70	38	179	17	344
柳ヶ瀬		27	105	152	132	8	424
木之本		23	91	121	120	15	370
今津		17	84	83	120	7	311
多羅尾		28	149	38	114	25	354
水口		30	114	30	103	23	300
八幡		40	65	10	129	25	269
中之郷		19	90	119	122	8	358
吉槻		18	77	159	101	12	367
市場		19	95	83	120	5	322
北小松		24	79	74	151	11	339
堅田		31	53	21	169	14	288
安曇川		14	95	105	126	7	347
油日		19	132	16	77	37	281
治田		36	83	28	130	18	295
瀬田川		40	96	28	108	18	290

なり、山岳地帯を中心に300~800mmに達し、集中性を示し、各地で大きな被害がおきた。6日夜から太平洋高気圧が張りだしてきて西日本をおおい九州、四国の大雨もやんだ。前線は北上、7日低気圧が樺太方面に進んだ頃から、日本海に押し上げられていた前線が活発となり、前線上を低気圧が次々と通過し、湿舌も北に流れこんだため、東北、北海道南部にかけ100~500mmの豪雨となった。9日、梅雨前線は、大陸の寒気に押され南下、10日~12日夜まで、東海道から九州北岸の線上に停滞した。この間、九州の南西海上

降水量分布図 (mm)

7月9日~13日



から湿舌が流入し、上層の寒気とあいまって不安定な状態となり、そのうえ本州の南海上に台風6, 7, 8号が北西進ってきて湿舌はさらに強化された。又前線上を小低気圧が次々通って刺激をあたえたため、九州北部、中国、近畿、東海、関東南部まで大雨が9日～13日まで降った。13日未明の大雨を最後に前線は北上し、47.7豪雨の終末をつげた。実に7月3日くらい11日間の豪雨で死者396人、行方不明44人にのぼる人的被害をもたらした。本県でも9日夕方より雨が降り始め、10日から13日明け方までつづき各地で大雨が降り、山岳地帯で500mm、平野部で250mmに達した。死者1人、負傷者5人の人的被害、ガケ崩れ、浸水等の被害が発生した。

琵琶湖水位 (cm)

日時	場所	鳥居川	彦根
7月12日6		33	64
	12	41	68
	18	50	76
	24	55	87
7月13日6		69	96
	12	70	104
	18	77	108
	24	80	111
7月14日6		83	113
	12	85	114
	18	83	114
	24	83	115
7月15日6		83	115
	12	79	112
	18	85	117
	24	102	120
7月16日6		93	125
	12	98	127
	18	95	127
	24	93	127

警戒状況

7月 9日	湖上気象情報発表	16時30分
10日	大雨注意報発表	16時45分
11日	大雨洪水注意報発表	07時15分
11日	大雨情報第1号発表	22時00分
12日	大雨洪水注意報発表	10時00分
12日	大雨情報第2号発表	16時50分
12日	大雨警報, 洪水注意報発表	20時15分
13日	大雨洪水注意報発表	08時45分
13日	大雨情報第3号発表	08時45分
13日	大雨情報第4号発表	18時00分
14日	大雨洪水注意報解除	06時30分

被害状況

(1) 人的被害

7月12日19時頃、大津市山中町480番地(土建業の運転手)奥野栄一氏の裏山が高さ20m巾10mにわたってくずれ、木造平屋33㎡の同家を押しつぶした。一家4人は下敷となったが、奥野栄一氏は自力で脱出付近住宅に救助を要請した。

通報を受けた大津市消防長以下12名と救急車、消防車各1台が現場に急行、京都消防本部ならびに大津警察署、地元消防団に出動を要請した。

20時頃、奥野氏長男 東太郎、長女 洋子が救出されたが、妻とし子は柱に足をはさまれ救出作業難航、21時12分ようやく救出されたが全身圧で救急車で根本病院に運ばれる途中21時20分頃死亡した。

また7月13日5時10分頃、草津市の北川堤防決壊により、応急復旧工事に出動中の草津市建設課職

員、中島直樹、草津市消防団員 中野保治が軽傷を負い、済生会病院で手当を受けた。

死者 1名 奥野とし子(39才)

軽傷 5名 奥野 栄一(46才) 奥野東太郎(15才) 奥野 洋子(11才)

中島 直樹(21才) 中野 保治(28才)

(2) 家屋の被害

区 分		被 害			おもな被害地
		棟	世 帯	人 員	
住	全 壊	1	1	4	大津市山中町
	半 壊	2	2	11	信楽町
家	一部損壊	7	7	30	信楽町, 虎姫町
	床上浸水	36	36	131	近江八幡市, 水口町
	床下浸水	719	719	2,839	近江八幡市, 長浜市, 虎姫町, 今津町
非 住 家		40			

7月15日、20時00分南郷洗堰全閉により、附近の河川が逆流し、大津市稲津地区に床上浸水1世帯、平津地区で1世帯、床下浸水は、千町2世帯、稲津で8世帯、平津で4世帯の被害があった。

(3) 公共土木施設被害

土木事務所	区分	河川	砂防	道路	橋梁	土木事務所	区分	河川	砂防	道路	橋梁	
大 津 草 津 水 口 八 日 市 彦 根		110	9	43		長 浜 木 之 本 今 津 合 計		40	14	9		
		52	3	24	4			38	2	70	1	
		282		133	4				41	4	16	1
		101	3	55								
		49	8	13	1			713	43	363	11	

(4) 農林関係

区 分	数 量	主な被害地	区 分	数 量	主な被害地
水 稻 浸 冠 水	4,984.8ha	近江八幡市, 能登川町,新加町	農用道路被害	107ヶ所	信楽町
工 芸 作 物 (タバコ)	22 ha		揚水施設被害	4ヶ所	永源寺町
野 菜 浸 冠 水 (大豆を含む)	482.58ha	彦根市,八日市市	橋 流 失	8ヶ所	余呉町
花 き 等 浸 冠 水	1.73ha	八日市市 近江八幡市	農地保全被害	2ヶ所	
茶 畑 浸 水	52.2ha	土山町	堤 防 被 害	5ヶ所	
桑 園 浸 冠 水	72.3ha	湖北町,びわ町	山 地 崩 壊	541ヶ所 38.72ha	甲賀町, 甲南町 信楽町
果 樹 園 浸 水	80.8ha	日野町,マキノ町 安曇川町	林 道 被 害	22路線 3.6ヶ所	余呉町, 永源寺町
飼 料 作 物 浸 水	41.0ha	安土町	立 木 被 害	13.15ha	甲賀町, 甲南町
農地流失埋没	386ヶ所 29.8ha	甲南町	その他(林産物)	3.77ha	甲西町, 甲南町
た め 池 被 害	24ヶ所	野洲町	そ の 他	18ヶ所	
頭 首 工 被 害	33ヶ所	土山町	水産関係被害	6ヶ所	彦根市,マキノ町 今津町, 中主町
水 路 被 害	79ヶ所	今津町			

・うち、びわ湖水位上昇による浸冠水田 3,377ha

(5) 鉄道関係

信楽線 7月11日 5時40分 信楽町岩倉地先(土砂くずれ) 11日13時20分復旧
 草津線 7月11日 7時40分 甲賀町五反田地先(路肩くずれ) 11日12時20分復旧
 信楽線 7月12日13時09分 全 線(路盤ゆるみ) 14日 5時44分復旧
 草津線 7月12日16時00分 石部町落合川橋(橋脚のゆるみ) 13日11時30分復旧

(6) 通信関係

7月11日6時頃、大津市大石東町一带の公社電話1回線(30世帯)が電柱が倒れ不通となったが、9時20分復旧した。

(7) 電力関係

7月11日9時頃、甲南町磯尾の全世帯ならびに杉谷地区の一部世帯約80世帯が送電線の切断により停電、同日12時00分復旧した。

(8) 水道関係

信楽町、余呉町、西浅井町、マキノ町の645世帯が水道障害を受けたが7月15日現在被害全町復旧した。

(9) 観光関係

琵琶湖水位の上昇によって、琵琶湖汽船、近江マリナンドサービス、飯の浦、各マリーナの栈橋が水没し定期船は全面欠航となった。

(10) その他

7月12日11時頃、竹生島で土砂くずれがあり、重要文化財宝厳寺五重塔（高さ18.3m）が全壊し、舟つき場等が土砂で埋った。

消防職団員の活動状況

47.7豪雨で滋賀県下の消防職（団）員4,853名が出動防災活動に従事した。

自衛隊の出動状況

7月11日、23時00分今津町大字桂の境川が決壊し床下浸水がでたので、今津町長より、自衛隊出動の要請があり、知事は今津駐とん地司令に出動を要請した。

23時10分今津駐とん地部隊33名が出動、境川堤防の防護工事ならびに被災地の住民の救助を行い、24日0時40分作業を完了した。

7月12日23時20分、際川3丁目アカネ地区住宅街に浸水防止のため、大津駐とん地より21名が出動、土俵積作業を実施、24時30分完了した。

その他

7月12日22時10分草津市橋岡地区住民26世帯が北川決壊のおそれがあるため、老上小学校と橋岡地区隣保館に避難した。

7月12日16時30分信楽町多羅尾地区40世帯、神山地区10世帯が、がけくずれの危険があるため、多羅尾小学校、神山地区集会場に避難した。

7月13日17時30分の南郷洗堰4門閉鎖ならびに7月15日20時00分の全門閉鎖時に沿岸各町村に防災パトの強化を通報する。

被害推定額

推定総額	5,415,037,000円
住宅関係	1,650,000円
農林関係	1,775,744,000円
土木関係	3,622,793,000円

防災体制

(1) 県の体制

7月10日	16時45分	水防第1配備
7月11日	17時00分	警戒1号体制
7月12日	20時15分	水防第2配備
7月12日	20時15分	警戒2号体制
7月13日	8時45分	水防第2号配備, 警戒2号体制 解除
7月13日	8時45分	水防第1配備
7月13日	8時45分	警戒1号体制
7月14日	6時30分	警戒1号体制解除
7月19日	11時30分	水防第1配備解除

(2) 市町村災害対策本部設置状況

市町村名	設 置		解 散		備 考
	月 日	時 刻	月 日	時 刻	
信 楽 町	7月11日	5.00	7月14日	8.30	
甲 賀 町	7月11日	7.00	7月11日	12.00	
多 賀 町	7月12日	7.00	7月14日	8.00	
甲 南 町	7月12日	17.15	7月13日	4.00	
長 浜 市	7月12日	22.10	7月13日	3.30	
安 曇 川 町	7月13日	11.30	7月13日	18.00	

(3) 水防警報発表状況

7月11日	9時30分	第1号	野洲川沿岸地区	7月11日15時30分解除
7月12日	3時00分	第2号	姉川難波橋地区	7月13日17時00分解除
7月12日	3時00分	第3号	高時川川合地区	7月13日17時00分解除
7月12日	19時50分	第1号	淀川洪水警報	
7月13日	12時45分	第2号	//	7月19日11時00分解除

7月15日～16日 台風6号

7月7日、マーシャル群島の西で生れた6号は北西進して、14日ごろ父島の西を通過。さらに北西進して、15日20時ごろ知多半島北部に上陸。この時の勢力は、中心気圧985mb、最大風速30m/s、25m/s以上の暴風半径50km、小型で並の台風。上陸後は急速におとろえ、石川県の南部で23時ご

ろ低気圧となった。

本県では15日9時頃より雨が降り始めた。台風が知多半島に接近する頃に風雨が強まり夜半頃にはおさまった。降水量は南部で多く、120mmの所もあった。

被害は、47.7豪雨に上積されたので、台風6号による被害については判明しがたい。

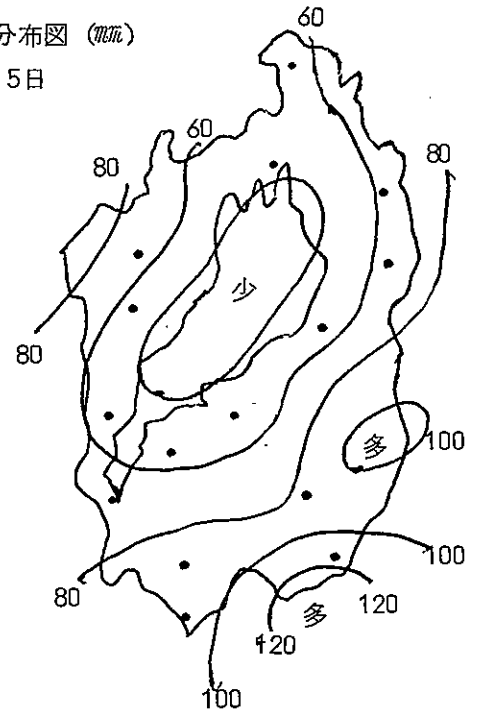
47.7豪雨と台風6号の降雨により、びわ湖の水位は上昇し、13日から数日にわたり平常水位を1m近く上回り、昭和40年以来の高水位を記録した。沿岸低地帯で洪水の被害がおきた。

降水量 (mm)

観測所	15日	観測所	15日	観測所	15日
彦根	57	政所	107	日野	88
木之本	40	中之郷	45	瀬田川	70
竹生島	32	吉槻	58	安曇川	42
今津	43	市場	61	油日	118
大津	71	北小松	34	信楽	87
多羅尾	98	堅田	49	柏原	68
水口	74	土山	98	柳ヶ瀬	52
八幡	43	治田	67		

降水量分布図 (mm)

7月15日



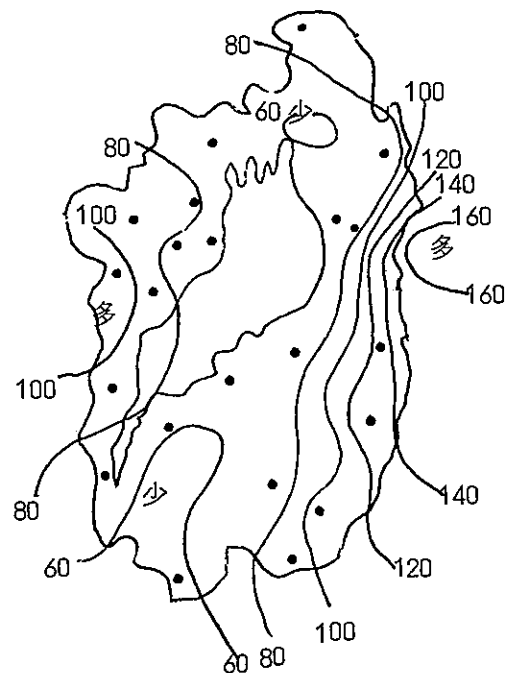
9月8日～9日 大雨

降水量 (mm)

観測所	8日	9日	観測所	8日	9日
彦根	39	32	北小松	52	43
木之本	23	46	堅田	52	85
竹生島	29	33	土山	70	37
今津	44	36	治田	40	1.6
大津	55	21	日野	58	21
多羅尾	40	18	瀬田川	44	15
水口	49	23	安曇川	49	24
八幡	40	26	油日	60	31
政所	84	50	信楽	40	21
中之郷	23	34	柏原	82	71
吉槻	33	46	柳ヶ瀬	38	32
市場	67	36	長浜	29	34

降水量分布図 (mm)

9月8日～9日



6日弱い熱帯低気圧が四国の南海上に接近するにともない、瀬戸内にかかる前線がしげきされ、中国、四国南部、近畿南部を中心に局地的豪雨となった。

本県でも8日16時より雨が降り始め平野部で50mm~80mm、東部山岳地帯では150mmに達する雨となった。被害はなかった。

847

9月16日~17日 台風20号

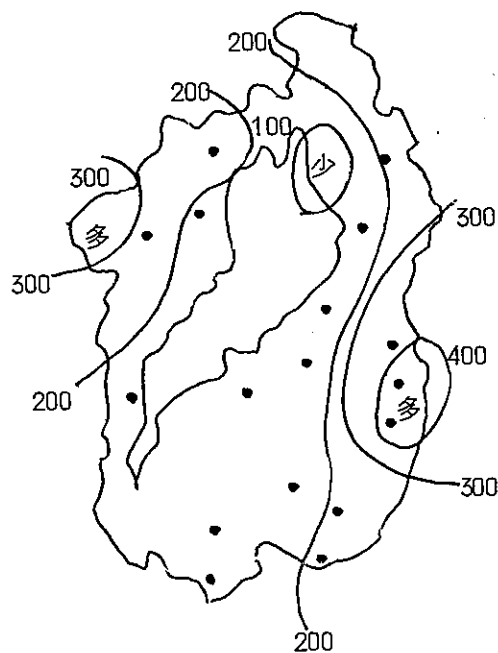
9月13日フィリピンの東方海上で発生した熱帯低気圧が12時台風20号(ヘレン)となり、16日9時四国の南方およそ300kmの洋上に迫り、日本は台風と低気圧を含む大きな気圧の谷の中に入った。16日18時30分潮岬付近に上陸、22時から23時30分にかけて滋賀県東部を通過してさらに北北東に進み、17日未明富山湾にぬけた。台風20号は中型、並の台風であったが、特徴として最盛期の強い勢力を保持しながら紀伊半島に上陸、その後、勢力も衰えることなく本県を通過したため、本県は全般に暴風雨となり、最大瞬間風速は30~35m/s、雨は東部山間部で最も多く400mm以上、西部山間部で300mm以上に達した。このため県下にはかなりの被害がでた。

降水量 (mm)

降水量分布図 (mm)

9月16日

観測所	16日	観測所	16日
彦根	185	市場	303
伊吹山	187	北小松	172
荒川	286	堅田	125
柏原	329	安曇川	147
政所	476	油日	266
土山	217	治田	161
信楽	165	君ヶ畑台地	400
柳ヶ瀬	144	マキノ	212
木之本	99	大河原	278
今津	136	中河内	200
大津	184	瀬田川	174
多羅尾	150	高時川	122
水口	145	草野川	171
中之郷	104	黄和田	324
吉槻	235	中村	221



彦根の気象

極 値 表

観測種目		観測値		起 時	
気圧 (海面)	最 低	968.4 mb		16日 22時30分	
	最 大	風向 E	風速 18.7 m/s	16日 22時20分	
風	最 大 瞬 間	風向 E	// 33.4 m/s	16日 21時54分	
	風向順転又は逆転	逆 転	風速10m/s以上の持続した時間	16日 20時50分から 17日 01時30分まで	
	総 降 水 量	192.0mm		16日 02時20分から 17日 09時30分まで	
	日降水量の最大値	181.0mm		16日 24時まで	
雨	1時間降水量の最大値	47.5mm		16日 21時10分まで	
	10分間降水量の最大値	11.0mm		16日 21時00分まで	

各河川の水位状況 (16日~17日)

河川名	警戒 通報 水位	位 置		16日					17日						
		町村	字, 目標	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時
和邇川	1.50 1.00	志 賀	和邇川橋	0.8	2.0										
真野川	1.50 1.00	大津市 堅 田	真野川橋	0.9	1.5										
安曇川	1.20 0.80	// 中 村	中村橋	0.0	0.35	1.2									
葉山川	1.30 1.00	栗 東	上 鈎 池 導 水路	1.70	1.80			1.75			1.20				
童子川	1.50 1.00	野 洲	童子川橋	1.8		2.00	2.15	2.20		2.30	2.20				2.30
日野川	3.00 2.00	//	仁保橋			2.9	3.65	4.0 以上			3.40				2.30
野洲川	1.35 0.65	水 口	水口橋 上流右岸				1.0	1.20		1.20		0.2			
//	2.50 1.50	甲 西	横 田 橋		2.96			3.12	2.92		2.55				1.93
杣 川	3.00 2.00	水 口	北 杣 橋 上流右岸	3.0	3.3	3.6	3.7	3.3		2.6	2.4	1.8			
愛知川	2.20 1.90	永源寺	紅葉橋		1.8					1.90					
//	1.50 1.00	愛知川	御幸橋			1.23		1.40	1.20	1.40					1.00
宇曾川	2.00 1.50	//	歌 詰 橋	1.80				2.50							1.10
犬上川	1.60 0.90	彦根市 高 宮	高 宮 橋	0.55				1.60							
天野川	1.50 0.80	山 東	天野川橋 左 岸	2.10			2.20	2.40	2.60						
//	1.50 0.80	近 江	飯 村 橋 左 岸	1.20		2.1									
姉 川	2.00 1.50	伊 吹	関西電力 排水口左岸			2.6									
安曇川	1.50 1.00	安曇川	常 盤 木 常 安 橋				1.50	2.50	2.40	2.40			1.5	1.4	

警戒状況

9月16日	台風情報第1号発表	11時40分
16日	大雨強風注意報発表	14時30分
16日	暴風雨警報・洪水注意報発表	17時10分
16日	台風情報第2号発表	18時50分
16日	台風情報第3号発表	20時10分
16日	暴風雨・洪水警報発表	21時05分
17日	風雨・洪水注意報発表	02時00分
17日	洪水注意報発表	06時40分
17日	〃 解除	11時50分

被害状況

被害総額 10,625,993円

(1) 人的被害

軽傷者 5名 (大津市, 彦根市, 日野町, 能登川町)

(2) 家屋の被害

区 分		棟 数	り災世帯数	り災者数	被害額(円)
住 家	流 失	20	20	71	60,000
	半 壊	84	85	306	168,000
	一部損壊	887	896	3,390	44,350
	床上浸水	486	486	1,715	72,900
	床下浸水	6,509	6,552	23,753	325,600
	(小 計)	(7,986)	(8,039)	(29,235)	(670,850)
非 住 家	787	—	—	39,350	
合 計	8,077	8,039	29,235	710,200	

(3) 公共土木施設被害

種別	県・市町村工事		国直轄工事		合 計	
	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)
河 川	888	4,183,835	4	25,100	892	4,208,935
砂 防	97	719,350			97	719,350
道 路	369	584,754			369	584,754
橋 梁	28	196,600			28	196,600
合 計	1,382	5,684,539	4	25,100	1,386	5,709,639

(4) 農林水産関係被害

項目	内 容 と 数 量	被 害 額 (円)
農 地	田 (1,911ヶ所 134ha)	296,000
農業用施設	ため池 (25ヶ所) 頭首工 (58ヶ所) 水路 (405ヶ所) 農用道路 (231ヶ所) 橋梁 (73ヶ所) 揚水機 (6ヶ所) 農地保全 (2ヶ所) 計 2,711ヶ所	622,000
農畜産施設	ビニールハウス (10ha)	37,655
	畜舎, 鶏舎, 農舎 (337ヶ所)	16,850
	農協施設 (25ヶ所)	12,367
農畜産物	水稻 (25,736ha) 野菜 (1,222ha) 果樹 (290ha) 花き (4ha760千本) 茶 (170ha) 飼料 (102ha) 桑 (63ha) 計 27,587ha	1,125,312
林業施設	山地崩壊 (720ヶ所 95ha) 林道 (180ヶ所) その他 (9ヶ所) 計 909ヶ所	1,981,700
林産物	立木 (6ha)	15,170
水産施設	漁船 (31隻) 漁具 (78件)	78,960
水産物	こい (52t)	20,140
合 計		4,206,154

(5) 鉄道被害

東海道線をはじめ, 国, 私鉄併せて県下で7ヶ所の軌道被害があり, 9月18日12時現在全線復旧した。

(6) 通信関係

9月16日23時頃, 朽木村市場との公社電話が不通となり, 県下で12回線の通信施設被害が発生したが, 9月18日12時現在全回線復旧した。

(7) 電力関係

愛東町の1,234世帯をはじめ, 県下では21,133世帯が送電線の事故のため停電したが9月18日12時現在復旧した。

(8) 水道関係

志賀町の200世帯をはじめ, 県下では7,365世帯の水道障害が発生, 9月17日20時現在全施設復旧した。

(9) 有線放送関係

愛知川町有線放送をはじめ、県下で239世帯が不通となったが17日12時現在復旧した。

住民の避難

- 日野町豊田地区340戸のうち20世帯が文化館へ21世帯避難した。
- 安曇川町三矢，下小川地区35世帯100人が青柳小学校へ避難した。
- 永源寺町政所地区で裏山の崖くずれの恐れがあるため7世帯が避難した。
- 多賀町大君ヶ畑地区で“あんこ川”増水のため2世帯7人が大君ヶ畑分校に避難した。
- 朽木村市場地区は北川増水のため35世帯が朽木小学校に避難した。

なお、多賀町大君ヶ畑，朽木村市場は有線，道路が途絶一時孤立した。

県の体制

1. 16日14時30分大雨注意報発令と同時に県水防本部第1配備につき、水防情報の収集，連絡にあたった。
2. 16日16時00分台風が，本県へ襲来必至となったため，県は県災害警戒体制1号を発し災害関係部課の動員を行ない，警戒体制に入った。
3. 16日17時10分暴風雨警報および洪水注意報が発令されたため，県水防本部は第2配備に入り厳重な警戒体制に入った。
4. 16日21時05分暴風雨洪水警報が発令されたため，県災害警戒体制2号を発し，災害関係部課の動員をさらに増やし，警戒体制に万全を期した。
5. 市町村においても，それぞれ警戒体制に入った。
6. 県警察本部も16日17時45分三種災害警備体制，20時には湖東地区は乙種災害警備体制に入った。
7. 県警察本部三種，乙種災害警備体制，県災害警戒体制，県水防本部は，それぞれ17日2時40分，6時40分，7時，17時に各配備体制を解除した。
8. 知事は自衛隊今津駐とん地司令に対して次のとおり派遣要請をした。
 - (ア) 16日23時15分頃大津市坂本本町日吉神社の重要文化財三橋に木材が流れてきて破損したので木材を除去するために要請した。(隊員6名出動)
 - (イ) 17日 0時頃今津町椋川部落に消防団移送のため，車両4台と隊員6名を要請した。
 - (ウ) 17日1時30分頃安曇川町南古賀地区で安曇川が決壊するおそれが生じたため水防活動の応援を要請した。(隊員65名)
 - (エ) 17日3時頃今津町境川堤防が漏水したため応援を要請した。(隊員16名)
 - (オ) 永源寺君ヶ畑地区へ通ずる県道永源寺川相線が不通になり，17日朝から孤立状態となったため食糧品等が不足し9月19日物資の空輸を要請した。
(ヘリコプター1機，隊員7名が出動，食糧等2,500Kgを空輸した。)

(カ) 多賀町五僧、保月、杉の3地区へ通ずる県道上石津多賀線が不通になり、これら3地区は17日朝から孤立状態となったため食糧品等が不足し22日物資の空輸を要請した。

(ヘリコプター2機、隊員7名が出動、食糧等1,500Kgを空輸した。)

9. 水防活動等に出動した市町村消防職団員は6,884人に及んだ。

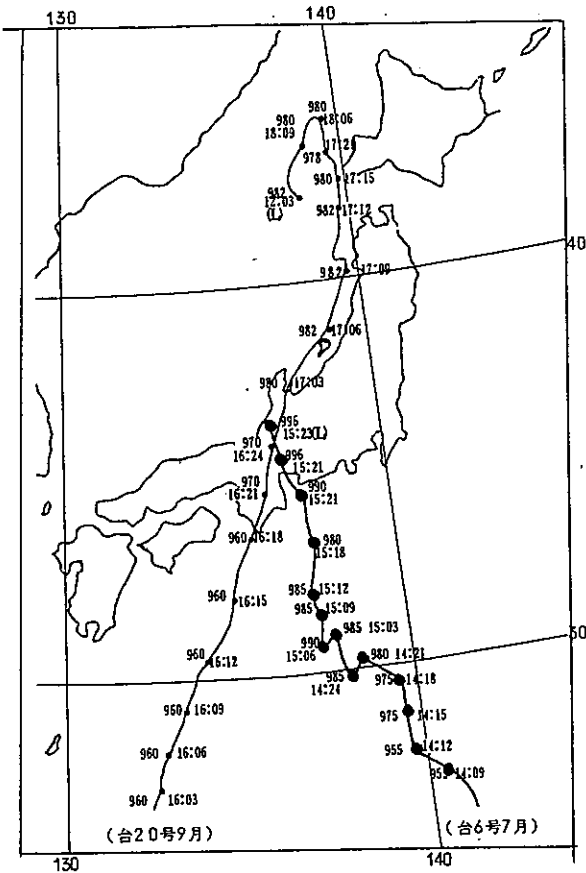
市町村災害対策本部設置状況

市町村名	設 置		解 散		備 考
	月 日	時 刻	月 日	時 刻	
米原町	9月16日	20.00	9月17日	1.00	
近江町	"	20.05	9月17日	3.00	
伊吹町	"	20.00	9月17日	17.00	
安土町	"	19.00	9月17日	1.00	
蒲生町	"	19.15	9月16日	23.35	
永源寺町	"	16.00			
能登川町	"	20.00	9月17日	4.30	
五個荘町	"	16.00	"	17.00	
竜王町	"	16.20	"	12.00	
八日市市	"	12.00	9月18日	19.00	

なお、県水防本部は、水位の上昇に伴い次の河川に水防警報を発令した。

発令日時		河 川 名	警 情	解 除 日 時	
日	時 刻			日	時 刻
16	19時30分	杣 川 (北杣橋)	水防警報1号	17	07時00分
"	21時20分	野 洲 川 (横田橋)	" 2号	17	07時00分
"	23時30分	愛 知 川 (八千代橋)	" 3号	17	07時00分
17	00時30分	安 曇 川 (常安橋)	" 4号	17	07時00分
"	00時30分	日 野 川 (仁保橋)	" 5号	17	07時00分

滋賀県に影響を与えた台風経路図 (昭47)



昭和48年 (1973年)

5月2日の大雨

低気圧が発達しながら日本を通過し、全国的に雨となった。県下でも南部を中心に激しい雨が降り、南部は1000mm前後の降雨となり、土砂崩れによる道路の通行止め草津市内では家屋の浸水被害が出た。

降水量 (mm)

観測所	2日	観測所	2日
彦根	55	堅田	81
今津	36	治田	92
大津	78	瀬田川	73
八幡	83	安曇川	52
北小松	64	市場	35

警戒状況

5月2日 風雨注意報発表 12時30分

2日 // 解除 16時30分

被害状況 4,800戸

(1) 住家被害

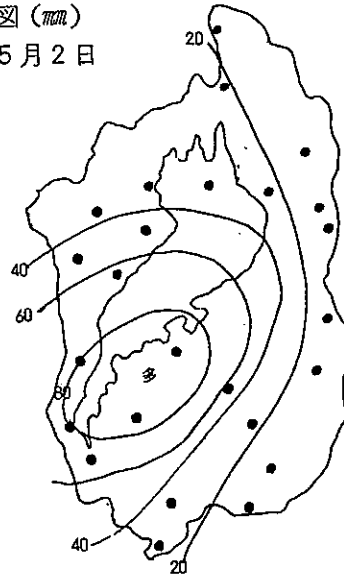
市町村名	被害程度	戸数	被害金額
草津市	床下浸水	60	1,800円

(2) 農業被害 3,000戸

査定額 2,149円

区分	箇所	被害金額
農業用施設 (小 路)	1	3,000円

降水量分布図 (mm)
昭和48年5月2日



6月8日 大雨

気象概要

西日本南岸を低気圧がゆっくりと東進しその後前線が停滞し5日から「つゆ入り」となり6日は県下全域雨となり7日、8日の朝まで断続的に雨が降り続いた。このため排水の悪い地区で床下浸水程度の被害がでた。

降水量 (mm)

観測所	5日	6日	7日	観測所	5日	6日	7日
彦根	2	9	7	市場	2	32	6
今津	2	21	5	土山	3	23	10
大津	6	15	1	瀬田川	5	12	4
政所	3	24	13	信楽	4	20	6

被害状況

住家被害 1,220軒

市町村名	被害程度	世帯数	棟数	人数	被害金額(円)
大津市	床下浸水	18	18	} 152	540
志賀町	〃	21	21		630
計		39	39	152	1,170

その他非住家浸水 1棟 (大津市)

注) 雨は5日から降っていたが被害が出たのは8日の朝

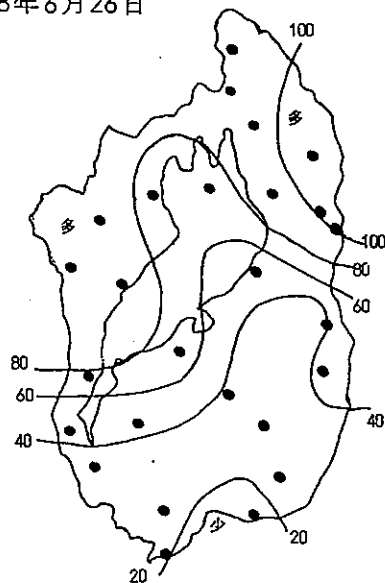
6月26日の雨

降水量 (mm)

観測所名	26日	観測所名	26日
彦根	56	堅田	81
木之本	98	土山	24
竹生島	77	治田	55
今津	75	日野	21
大津	48	油日	20
多羅尾	21	瀬田川	37
水口	24	安曇川	77
八幡	62	信楽	26
政所	45	山東	101
中之郷	86	柳ヶ瀬	83
市場	83	長浜	88
北小松	92		

降水量分布図 (mm)

昭和48年6月26日



中国大陸から発達した低気圧が東進，26日，中国地方に接近，27日本州を横断し，関東東方海上に去った。この低気圧の影響で近畿地方も大雨をみた。本県でも本格的な雨となり，湖東，湖西で100mm前後の降雨となった。名神高速道路でスリップ事故があった。

警戒状況

6月26日 大雨注意報発表 16時30分
 27日 // 解除 10時50分

被害状況

公共土木施設被害 107,290円 (査定済額110,947円)

区分	河川	砂防設備	道路	計
箇所数	12	2	6	20
金額(円)	51,390	14,670	41,230	107,290

主な被害地域，国道303号線(木之本町)，勘定川(余呉町)，県道下鴨大津線

8月14日 湖南東部の大雨

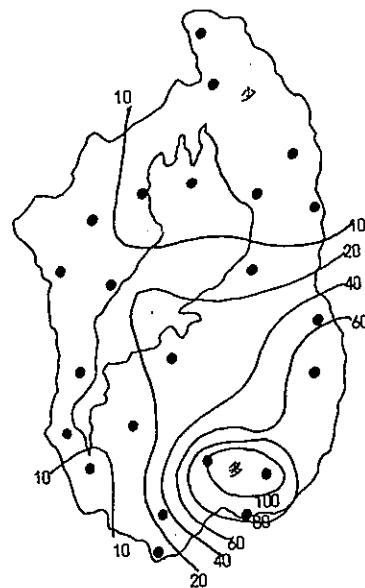
太平洋高気圧が根強く，好天・猛暑となり少雨が続いており，干ばつ，渇水の解消は台風の雨に期待する以外にないが，台風10号も南大東島の南海上より進路を北西にとり，東支那海に進んだので，本県では南東部の一部土山水口付近で100mm前後の雨が降ったが，その他の地域は全く少雨で，水不足解消にいたらなかった。

降水量 (mm)

観測所名	8月14日
彦根	15
水口	110
八幡	38
政所	68
土山	107
日野	47
油日	83
信楽	32
多羅尾	11
北小松	19
市場	19

降水量分布図 (mm)

昭和48年8月14日



ゆっくり東進したため終日降雨を観測した。このため、近江八幡市の一部では浸水、その他県下処々で堤防が次損する等の被害が出た。

なお、彦根の4月中の1日雨量としては、昭和21年4月24日の95.7mmにつぐ72.5mmと2位の記録となった。

被害状況 総額 133,190円

(1) 住家被害 3,780円

区分	市町村名		計	区分	市町村名				計	
	近江八幡市				草津市	近江八幡市	秦荘町	愛東町		
床上浸水	棟	3	3	床下浸水	棟	14	79	1	2	96
	世帯	3	3		世帯	14	79	1	2	96
	人員	11	11		人員	42	314	14	8	368

(2) 農地農業用施設被害 13,100円

(3) 農林産物被害 19,825円

被害対象		数量	被害金額(円)
農地	畦畔	2ヶ所	800
農業用施設	ため池	3 "	2,600
	水路	7 "	7,200
	道路	3 "	2,500
合計			13,100

種類名		面積等(ha)	被害額(円)
農作物	水陸稲	3.4	1,086
	麦類	9.5	560
	雑穀いも	0.3	30
	野菜	10.74	17,150
	飼料用作物	9.6	999
計		33.54	19,825

(4) 公共土木施設被害 96,485円

土木被害 66,485円

単位 円

被害箇所	種別	河川		砂防		道路		橋梁		計	
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
草津市	県	5	6,300							5	6,300
	市町村										
水口町	県	11	52,200			2	2,275			13	54,475
	市町村										
信楽町	県										
	市町村					3	2,300			3	2,300
木之本町	県	1	3,410							1	3,410
	市町村										
小計	県	17	61,910			2	2,275			19	64,185
	市町村					3	2,300			3	2,300
合計		17	61,910			5	4,575			21	66,485

林地荒廃防止施設

新生崩壊 1ヶ所 0.2 ha 30,000円

4月21日 強風

20日9時、揚子江下流域にあった低気圧は、その後、日本海に進み、台風並に発達した。このため、日本列島は、20日夜半から強風と雨に見舞われ各地で被害が続出、当県では湖北でピニールトンネル苗代に被害。琵琶湖上ではヨットの転覆が相次いだ。

降水量 (mm)

観測所	20日	21日	観測所	20日	21日
彦根	2	14	市場	56	22
木之本	4	12	北小松	27	31
今津	25	27	堅田	20	38
大津	19	45	瀬田川	7	32
中之郷	1	21	安曇川	36	28

彦根 日最大風速 SE 14.0 m/s 21日 11時00分
 日最大瞬間風速 W 21.7 m/s 21日 15時20分

警戒状況

4月21日 風雨注意報発表 06時40分
 21日 // 解除 20時50分

被害状況 総額 16,832円

(1) 住家被害 60円

被害場所	区分	棟数	世帯数	人員	被害金額
大津市	床下浸水	2	2	8	60円

(2) 農林被害 16,772円

農産被害 4,203円 単位 円

被害対象		被害数量	被害見込額
農作物	野菜	0.5 ha	1,054
	花卉	0.0 ha	15
	小計	0.5 ha	1,069
非利用施設同設	育苗ハウス	30ヶ所	900
	ピニールハウス	76ヶ所	2,234
	小計	106ヶ所	3,134
合計			4,203

農林水産業施設被害

12,569棟

被害対象		被害数量	被害見込額(円)	被害地域
共用 施設	育苗ハウス	36ヶ所	1,569	伊吹町
農業 用設	橋 梁	1ヶ所	11,000	
合 計		37ヶ所	2,569円	

6月17日～18日 大雨

東シナ海の低気圧が東進したため、県下各地で50～150mm前後の雨が降り、かなりの被害がでた。

降水量 (mm)

観測所	17日	18日	観測所	17日	18日	観測所	17日	18日
彦根	97	1	北小松	147	2	安曇川	70	2
大津	88	2	堅田	167	2	山東	73	4
多羅尾	62	5	治田	75	0	信楽	60	6
八幡	79	2						

警戒状況

6月17日 大雨注意報発表 20時30分

18日 // 解除 10時50分

被害状況 総額 547,612棟

(1) 住家被害 2,100棟

区分		大津市	彦根市	志賀町	計
床上 浸水	棟	1		4	5
	世帯	1		4	5
	人	3		15	18
床下 浸水	棟	8	3	9	20
	世帯	8	3	9	20
	人	32	12	39	83
非住家				4	4

(2) 農林被害(施設被害)

13,000冊

被害対象		被害数量	被害見込額(円)	被害発生地域
農地	田埋没	2ヶ所 0.7ha	1,300	大津市, 志賀町
	頭首工	2ヶ所	5,500	志賀町
農業用施設	水路	5ヶ所	5,100	大津市, 志賀町
	道路	1ヶ所	1,100	大津市
	小計	8ヶ所	11,700	
合計		10ヶ所	13,000	

(2) 公共土木施設被害

532,512冊

単位 冊

事務所名	種別	河川		砂防		道路		橋梁		計
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所 金額
大津	県	12	30,220			6	342,500			18 372,720
	市町村	36	150,914			7	7,978	1	900	44 159,792
合計		48	181,134			13	350,478	1	900	62 532,512

7月1日～2日 大雨

本州南岸沖の前線が北上し、停滞したため、30日から雨が降り始め2日まで降り続いた。3日間の雨量は県下各地で100mmをこえ、多いところで150mm前後となった。

降水量 (mm)

観測所	6月30日	7月1日	2日	観測所	6月30日	7月1日	2日
彦根	28	26	41	今津	24	19	35
大津	31	40	59	八幡	35	29	59
油日	32	39	41	水口	29	50	66
土山	44	38	49	多羅尾	33	42	52
信楽	44	39	62	堅田	30	62	50
瀬田川	38	38	67	日野	30	34	64

警戒状況

7月2日 大雨注意報発表 21時20分

3日 // 解除 06時50分

被害状況 90軒

住家被害 90軒

区 分		近江八幡市
床下 浸水	棟	3
	世帯	3
	人員	12

7月4日～8日の大雨

台風8号は東支那海に入り、進路を北北東に変え6日九州西方海上を北上、7日朝には対馬海峡附近から日本海にむけ進んだ。一方台風の接近で梅雨前線が刺激され、西日本は局地的豪雨に見舞われた。

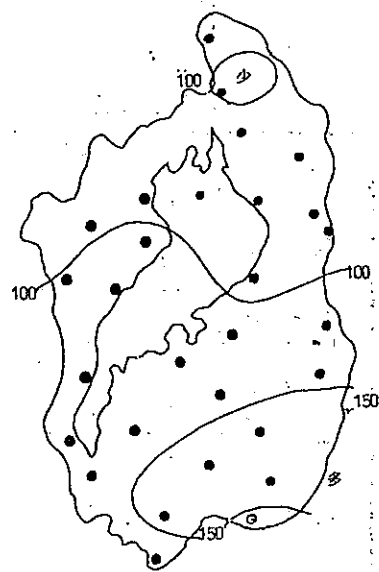
本県でも南部を中心に150mm前後の雨量となり、各地で床下浸水、山崖崩れ、冠水及び一部鉄道不通などもおきる被害がでた。

降水量 (mm)

観測所	4日	5日	6日	7日
彦根	14	8	39	10
木之本	11	13	38	10
竹生島	14	10	32	12
今津	15	5	50	9
大津	51	4	43	10
多羅尾	40	3	31	29
水口	72	14	41	29
八幡	56	18	45	4
中之郷	18	19	44	8
市場	13	4	64	10
北小松	14	13	70	21
堅田	39	12	51	10
土山	46	7	73	30
日野	91	15	39	22
油日	55	4	50	31
瀬田川	54	4	36	10
安曇川	46	5	50	12
信楽	112	4	39	16
山東	9	6	48	13
柳ヶ瀬	32	25	43	9

降水量分布図 (mm)

7月4日～8日



警戒状況

7月4日 雷雨注意報発表 15時20分

4日 大雨雷雨注意報発表 18時20分

5日 // 解除 06時20分

7日 大雨注意報発表 05時30分

7日 // 解除 15時45分

被害状況

○7月4日～5日の被害 432,807冊

(1) 住家被害 6,450冊

被害地区	一部破損			床下浸水		
	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員
信楽町	1	1	4	55	55	235
水口町				44	44	193
近江八幡町				59	59	193
八日市市				3	3	12
石部町				15	15	62
計	1	1	4	176	176	695

(2) 農林被害

農産物被害 8,167冊

被害対象	被害状況	被害面積(ha)	被害額(円)	被害地域名
水稲	冠水	43	1,582	水口町, 信楽町
〃	土砂流入	2	144	信楽町
〃	埋ぼつ	0.0	41	竜王町
トマト	花房落下	5	6,400	信楽町
計		50	8,167	

農林施設被害 80,230冊

被害対象		被害数量	被害見込額(円)	被害発生地	
農地	田	埋没 2ヶ所 1.2ha	2,000	土山町	
	畑	流失 1ヶ所 0.2ha	500	〃	
	畦	畔 7ヶ所	1,500	水口町	
	計	10ヶ所	4,000		
農業用施設	ため池	1ヶ所	3,000	水口町	
	頭首工	6ヶ所	25,000	甲西(2), 水口(1), 信楽(3)	
	水路	13ヶ所	14,300	水口(1), 甲南(1), 信楽(7)	
	道路	10ヶ所	9,700	石部(1), 水口(5), 土山(5), 信楽(3)	
	橋りょう	2ヶ所	3,000	水口(1), 土山(1)	
計	32ヶ所	55,000			
林業用施設	林地崩壊	21ヶ所 2.06ha	15,430	甲賀, 甲南, 水口,	
	山地治山施設	2ヶ所	2,500	甲西町, 甲賀町	
	林道	17ヶ所	3,300		
	計	40ヶ所	21,230		
合計	82ヶ所	80,230			

公共土木
施設被害
へ繰入れ

(3) 公共土木施設被害 337,960冊

単位 冊

事務所名	種類	河川		砂防		道路		橋梁		計	
		個所	金額	個所	金額	個所	金額	個所	金額	個所	金額
水口	県	59	166,360			6	4,800			65	171,160
	市町村	8	2,870			5	3,150			13	6,020
八日市	県	23	145,000			6	8,780	1	7,000	30	160,780
	市町村										
合	計	90	314,230			17	16,730	1	7,000	108	337,960

7月6日～7日の被害

住家被害 30冊

被害箇所	床下浸水		
	棟	世帯	人員
彦根市	1	1	3

7月24日～25日の大雨

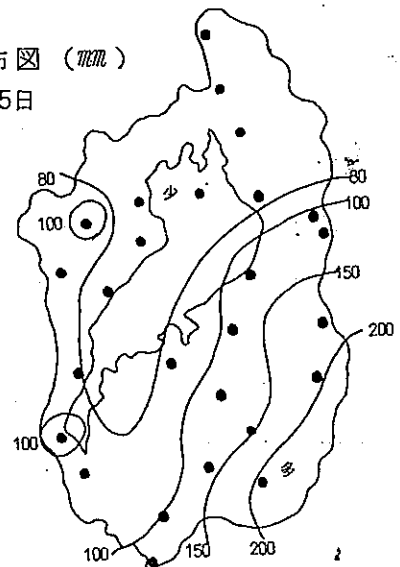
台風くずれの熱帯低気圧は24日夕方紀伊半島からゆっくり北上をはじめ、紀伊半島東部から滋賀、東海地方は24日夜から25日にかけて集中豪雨に見舞われた。本県でも東部鈴鹿山系で特に雨が強く200mmをこす豪雨となった。

このため土山町では山崩れのため主婦1人が死亡。また各所で床上・床下浸水、堤防決壊、水田、畑の流水、冠水などかなりの被害が出た。

降水量 (mm)

観測所	24日	25日	観測所	24日	25日
彦根	110	8	土山	202	12
大津	77	44	日野	145	1
多羅尾	99	15	黄和田	235	15
八幡	75	8	水口	85	18
今津	50	17	油日	147	14
北小松	57	17	山東	95	16

降水量分布図 (mm)
7月24日～25日



警戒状況

7月25日 大雨注意報発表 02時30分
 25日 大雨洪水雷雨注意報発表 08時30分
 25日 洪水注意報発表 11時00分
 25日 // 解除 15時30分

被害状況 総額 2,673,475円

(1) 人の被害

土山町黒滝249 森田成子(32才)死亡

(2) 住家被害 3,1340円

区分 被害地	半壊			床上浸水			床下浸水			非住家 棟	被害額 円
	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員		
近江八幡町				29	29	129	137	137	564		12,810
土山町	1	1	4	10	8	35	90	72	292		8,600
日野町				2	2	9	153	153	684		5,190
八日市市							9	9	35	3	270
蒲生町							2	2	9		60
永源寺町							29	29	123		870
五個荘町							3	3	14	5	90
愛東町							10	10	43		300
湖東町							28	28	121		840
秦荘町							29	29	123	3	870
愛知川町							4	4	18		120
豊郷町							1	1	4		30
甲良町							21	21	88		630
栗東町							10	10	43		300
水口町							11	11	48		330
甲賀町							1	1	5		30
安土町										1	
計	1	1	4	41	39	173	538	520	2214	12	31,340

(3) 農林被害 271,562冊

農産物被害 66,423冊

被害対象		被害状況	被害数量 (ha)	被害見込額 (円)	被害地域
農作物	水稲	冠水	528.5	} 36,169	} 甲賀, 蒲生, 神崎, 愛知郡
		埋没流失	14.4		
	野菜	浸冠水	53.3	} 28,334	} 蒲生, 神崎, 愛知郡
		埋没流失	1.0		
	飼料	流失	6	1,920	日野町
計			604.2	66,423	

農林用施設被害 205,139冊

被害対象		被害数量 (ヶ所)	被害見込額 (円)	被害地域
農地施設	田埋没	} 104	36,000	八幡, 八日市, 土山, 安土, 水口, 愛東, 秦荘町
	畑埋没			秦荘町, 土山町
	ため池	9	12,300	八日市, 蒲生, 秦荘, 甲良, 草津, 甲西
	頭首工	10	43,500	日野, 栗東, 土山, 甲賀
	水路	39	41,200	甲西, 水口, 土山, 甲賀, 蒲生, 日野, 永源寺, 秦荘, 栗東, 中主
	農道	21	14,500	蒲生, 日野, 秦荘, 土山, 甲賀, 永源寺
	橋りょう	2	1,500	永源寺, 秦荘
	計	185	149,000	
林業	林道	139	52,347	土山, 永源寺, 日野, 八幡, 多賀, 山東, 大津
	橋りょう	2	3,792	土山
	計	141	56,139	
合計		326	205,139	

(4) 公共土木施設被害 2,370,573円

土木被害 2,163,643円

単位 円

事務所	区分	河川		砂防		道路		橋梁		計	
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
大津	県										
	市町村	21	96,290			7	5,400			28	101,690
草津	県	15	49,225			1	2,000			16	51,225
	市町村										
水口	県	148	886,322			12	19,360			160	905,682
	市町村	18	49,700			9	18,550	1	2,000	28	70,250
八日市	県	109	695,790	6	17,500	16	41,740			131	755,030
	市町村	11	12,375			4	1,471			21	13,846
彦根	県	26	189,430	1	2,000	2	25,300	2	3,300	31	220,030
	市町村	1	8,000			1	600			2	8,600
長浜	県	12	31,350	5	5,940					17	37,290
	市町村										
小計	県	310	1,852,117	12	25,440	31	88,400	2	3,300	355	1,969,257
	市町村	51	166,365			21	26,021	1	2,000	73	194,386
合計		361	2,018,482	12	25,440	52	114,421	3	5,300	428	2,163,643

林地荒廃防止施設 206,930円

被害対象		被害数量	被害見込額(円)	被害地域
林	林地崩壊(新規拡大)	139ヶ所	147,630	土山, 甲賀, 近江八幡, 日野, 永源寺, 愛東
	溪流崩壊	3ヶ所	15,300	土山町
業	山地治山施設	6ヶ所	44,000	土山町, 甲賀町
計			206,930	

8月25日～26日の大雨

11日に発生した台風14号は西進を続け中国大陸に上陸、いったん熱低となったが、その後逆戻りして24日沖繩付近の海上で台風となり、四国沖から紀伊半島沖を北東進、26日朝浜名湖付近に上陸した。

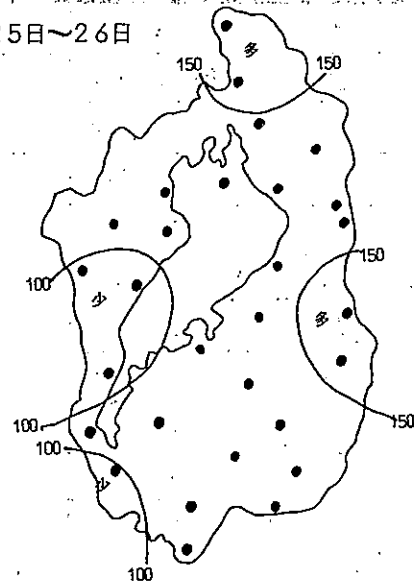
この台風の影響で、本県は、25日午後から、26日朝にかけて湖北の一部、湖南地方を中心に100mmをこえる大雨が降り、各所で床上、床下浸水、崖崩れなどの被害が発生した。

降水量 (mm)

降水量分布図 (mm)

観測所	25日	観測所	25日
彦根	147	高時川	149
大津	103	黄和田	121
今津	101	木之本	120
近江八幡	112	多羅尾	110
土山	114	市場	126
柳ヶ瀬	170	中之郷	176
荒川	115	油日	106
信楽	118		

8月25日~26日



警戒状況

8月25日 大雨雷雨注意報発表 14時00分
 25日 大雨洪水注意報発表 23時10分
 26日 // 解除 10時30分

被害状況 総額 1,560,919円

(1) 住家被害 627戸

区分 被害地	床上浸水			床下浸水			備考
	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	
近江八幡市	3	3	12	81	81	324	長福寺町, 床上1, 床下7, 浅小井町 床上1, 床下19, 馬淵町 床上1, 床下32
彦根市				5	5	21	鳥居本町
虎姫町				22	22	88	本町
五個荘町				1	1	4	
計	3	3	12	109	109	436	

(2) 農林被害 148,472円

農産物被害 102,849円

被害対象	被害状況	被害面積(ha)	被害数量(t)	被害見込額(円)	被害地域名	
農産物	水稲	倒伏	379.5	248	58,441円	彦根市, 愛知郡, 犬上郡
		冠水	40	61	14,391	彦根市
		埋没土砂流入	0.6	1.8	324	浅井町
		浸水	160	81	19,110	彦根市
野菜	浸水	9.5	190	10,583	八日市市, 日野町	
合計		589.6	581.8	102,849		

農林施設被害

4 5, 6 2 3 冊

被害対象		被害数量	被害見込金額(円)	被害地域名
農地	田 埋没	2ヶ所 0.25ha	2,000	浅井町, 大津市
	畦 畔	1ヶ所	1,000	大津市
	計	3ヶ所	3,000	
農業用施設	ため池	4ヶ所	14,000	草津市, 八日市市, 野洲町, 大津市
	頭首工	5ヶ所	8,500	蒲生町, 甲西町, 甲南町
	水路	6ヶ所	4,000	大津市, 伊吹町, 草津市, 土山町
	道路	3ヶ所	1,500	彦根市, 八日市市, 蒲生町
	橋りょう	1ヶ所	5,000	信楽町
	計	19ヶ所	33,000	
林道	5ヶ所	9,623	土山町, 多賀町, 伊吹町	
合計		27ヶ所	45,623	

(3) 公共土木施設被害 1,411,820円

単位 円

事務所	区分	河川		砂防		道路		計	
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
大津	県	27	165,500	3	31,000			30	196,500
	市町村								
草津	県	4	8,300			2	920	6	9,220
	市町村	3	4,700			3	3,810	6	8,510
水口	県	54	204,850					54	204,850
	市町村	6	5,800					6	5,800
八日市	県	36	395,200					36	395,200
	市町村	2	1,800			16	36,500	18	38,300
彦根	県	7	400	3	6,500	4	13,600	14	20,500
	市町村	1	4,200					1	4,200
長浜	県	13	243,000			2	3,300	15	246,300
	市町村								
木之本	県	19	180,000			16	31,350	35	211,350
	市町村								
今津	県	7	49,250			11	21,840	18	71,090
	市町村								
小計	県	167	1,246,500	6	37,500	35	71,010	208	1,355,010
	市町村	12	16,500			19	40,310	31	56,810
合計		179	1,263,000	6	37,500	54	111,320	239	1,411,820

昭和50年(1975年)

7月4日の大雨

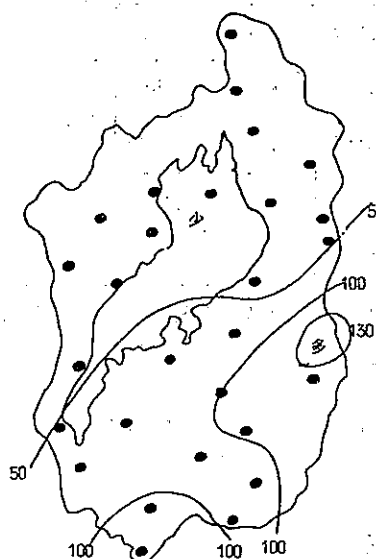
梅雨前線上九州の南海上にあったうごきのおそい低気圧が北東進し、上高層天気図では南系の気圧の谷の下層暖湿気の上に北系の冷たい気圧の谷に伴う乾燥気塊が重なって対流不安定を起し、大雨となった。県内では南東部に雨が多く(君ヶ畑131mm)北西部に少なかった。(50mm以下)

降水量 (mm)

観測所	3日	観測所	3日
彦根	47	市場	47
木之本	44	北小松	45
竹生島	38	堅田	56
今津	49	土山	92
大津	52	日野	128
多羅尾	106	油日	71
水口	107	瀬田川	84
八幡	95	安曇川	45
中之郷	38	柳ヶ瀬	48

降水量分布図 (mm)

7月3日



警戒状況

7月4日 大雨注意報発表 3時30分

4日 // 解除 8時20分

被害状況

(1) 人的被害 軽傷 1名

(2) 住家被害

農林水産関係被害

区分	棟	世帯	人員	
住家	床上浸水	4	4	16
	床下浸水	360	359	1,410
非住家	9	—	—	

区分	被害額(円)	備考
農林水産施設被害	93,351	
農産被害	693	水稻
畜産被害	240	

(3) 公共土木施設被害

単位 冊

事務所名	種別	河川		砂防		道路		橋梁		計	
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
大津	県	37	96,960	4	44,000	5	5,750			46	146,710
	市町村	15	23,203			20	21,060	1	3,000	36	47,263
草津	県	18	72,900			7	10,600			25	83,500
	市町村	3	19,600			2	1,410			5	21,010
水口	県	75	503,140			15	538,830	1	3,000	91	1,044,970
	市町村	3	11,340			5	1,770			8	13,110
八日市	県	137	1,682,300	6	20,800	12	8,870			155	1,711,970
	市町村	19	169,500			22	40,050	2	4,800	43	214,350
彦根	県	15	83,600	2	3,500	3	6,900			20	94,000
	市町村					2	1,100			2	1,100
長浜	県	10	35,800			2	6,500			12	42,300
	市町村					1	9,000			1	9,000
木之本	県	2	56,000	1	10,000	3	6,300			6	72,300
	市町村										
今津	県					10	63,150			10	63,150
	市町村										
小計	県	294	2,530,700	13	78,300	57	646,900	1	3,000	365	3,258,900
	市町村	40	223,643			52	74,390	3	7,800	95	305,833
合計		334	2,754,343	13	78,300	109	721,290	4	10,800	460	3,564,733

8月6日・7日の大雨

6日、日本海南部に停滞していた寒冷前線が南下して雷を伴い、県下全域に20～30mmの雨を降らせた。寒冷前線が彦根を通過の際21.6m/sの突風が吹き、梅雨明け以来雨らしい雨となった。

7日には南下した寒冷前線が停滞し、一方、早朝から日本海南部にあった強い帯状エコーが1時間20km程度で南下し各個のセルは東進していた。このような状況で県内各地に10～30mmの降雨があり、特に多羅尾地区の極く限られた地域に100mmを越す豪雨が短い時間に降りこの地区に被害が発生した。なお7日09時45分ごろ彦根市松原町で彦根水上署2名の者が竹生島方面で高さ約500メートル位に達する竜巻を観測した。竜巻は湖面付近で直径約10m位、湖面上は泡立っていた。彦根では09時20分最大瞬間風速南の風7.6m/sで、その後風向は南から北西に転じ雨が次第に強く降りだし10時ごろから

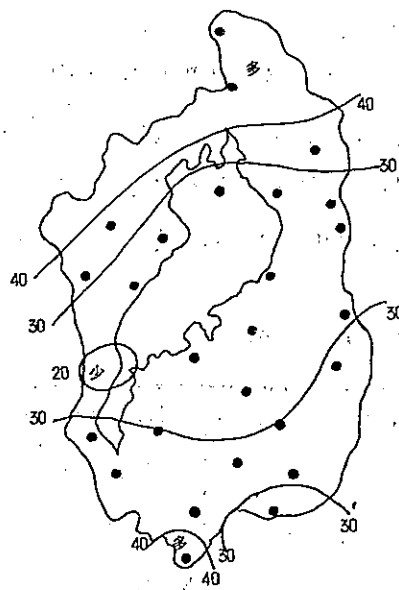
は強雷を伴う豪雨となった。

降水量分布図 (mm)

8月6日~8月7日

降水量 (mm)

観測所	6日	7日	観測所	6日	7日
彦根	26	15	市場	40	23
木之本	40	8	北小松	22	18
竹生島	27	6	堅田	15	9
今津	30	11	土山	31	31
大津	35	9	日野	30	15
多羅尾	44	140	油日	25	61
水口	31	9	瀬田川	34	10
八幡	28	22	安曇川	28	9
中之郷	45	11	柳ヶ瀬	54	23



警戒状況

8月6日	雷雨注意報発表	15時30分
6日	解除	21時10分
7日	大雨雷雨注意報発表	08時40分
7日	大雨警報・雷雨注意報発表	11時50分
7日	解除	14時50分

被害状況

(1) 住家被害

区分	棟	世帯	人
床下浸水	3	3	12

(2) 農林水産被害

被害対象		被害数量		被害金額(円)	備考
農作物	水稲	10.0h	14.8t	3,333	冠水, 土砂流入
	野菜	2.0	23.2	2,497	浸水, トマト
	小計	12.0	38.0	5,830	
農林施設	林道	1ヶ所		677	
	田	1ヶ所	0.1ha	1,000	埋没
	畦畔	55ヶ所	4.1ha	27,000	崩壊
	水路	13ヶ所	134m	14,000	〃
	道路	4ヶ所	51m	4,000	〃
	橋りょう	1ヶ所		5,000	護岸崩壊
小計	74ヶ所		51,000		
合計				57,507	信楽町多羅尾

(3) その他の被害

水道施設 1ヶ所 2,000冊

8月16日～18日 台風5号の大雨

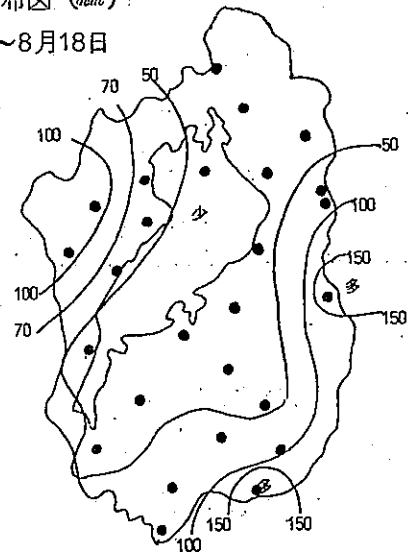
南洋上から北西進した台風5号は宿毛市付近に上陸し佐田岬の南端を通過山口県に再上陸してすぎた。この台風は本年初の上陸台風となったが、本県には殆んど被害はなかった。降雨状況は県東部に多く、京都府との境は中央部より多くの降雨をみた。

降水量 (mm)

観測所	16日	17日	18日	観測所	16日	17日	18日
彦根	7	20	1	市場	8	106	9
木之本	7	24	1	北小松	4	59	4
竹生島	6	30	1	堅田	1	40	3
今津	12	51	3	土山	42	66	25
大津	3	51	4	日野	14	21	2
多羅尾	26	57	6	油日	51	96	44
水口	8	55	13	瀬田川	10	33	1
八幡	7	26	0	安曇川	17	45	4
中之郷	5	29	1	柳ヶ瀬	5	28	1

降水量分布図 (mm)

8月16日～8月18日



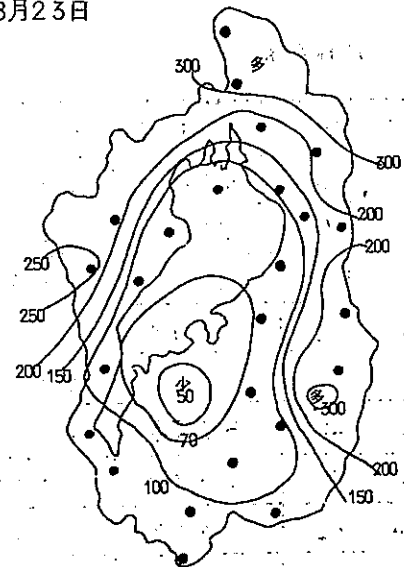
8月21日～23日 台風6号

降水量 (mm)

観測所	21日	22日	23日	観測所	21日	22日	23日
彦根	10	57	23	市場	11	164	43
木之本	11	113	59	北小松	13	58	14
竹生島	7	44	31	堅田	24	44	9
今津	4	63	26	土山	42	86	17
大津	30	67	29	日野	25	39	23
多羅尾	13	55	28	油日	20	84	15
水口	14	61	22	瀬田川	13	54	44
八幡	12	44	14	安曇川	3	72	18
中之郷	16	98	90	柳ヶ瀬	12	195	121

降水量分布図 (mm)

8月21日～8月23日



8月16日台湾の東沖にあった熱帯低気圧はその後19日9時には台風6号となり、室戸岬をかすめ徳島県蒲生田岬に上陸、勢力も衰えることなく明石付近から滋賀県西の京都府側を北々東進して能登半島に向かった。

県内では23日9時ごろが最も風雨が強く、最大瞬間風速は南南東23.7m/sを観測した。また被害は軽微だったとはいえ全県下に拡がり、負傷者2、家屋の被害128戸、非住家37を数え、土木関係では河川263件、砂防61件、道路116件、橋梁7の計447件、農林水産被害は水稻の冠水、倒伏、埋没、生菜、果樹、桑、飼料作物にも被害をこうむり農業施設、林地林道、水産関係にもそれぞれ被災した。

台風6号の極値表

区 分		彦 根		伊 吹 山	
最低気圧		982.1 mb	23日06時50分	835.7 mb	23日05時50分
最大風速		SSE11.5m/s	23日09時00分	SE36.1m/s	23日03時50分
最大瞬間風速		ESE23.7m/s	23日05時10分	SE50.8m/s	23日02時50分
降 水 量	総 量	89.5mm	22日1時30分~23日05時50分	226.0mm	21日17時40分~23日20時40分
	10分間最大	4.5mm	23日07時40分~07時50分	7.0mm	22日19時20分~19時30分
	1時間最大	18.0mm	23日07時30分~08時30分	20.0mm	23日12時30分~13時30分
	24時間最大	61.5mm	23日17時00分	114.0mm	23日24時00分

警戒状況

8月22日	大雨注意報発表	10時45分	8月23日	台風情報第3号発表	04時30分
	台風情報第1号発表	14時20分		暴風雨警報	} // 06時30分
	大雨強風注意報 //	16時50分		洪水注意報	
	暴風雨警報 //	20時40分		台風情報第4号 //	09時00分
	台風情報第2号 //	23時00分		風雨洪水注意報 //	10時40分
				台風情報第5号 //	14時30分
				風雨洪水注意報解除	16時00分

被害状況

(1) 人的被害 軽傷者 2名(彦根市)

(2) 住家被害

		棟	世帯	人	被 災 市 町 村
住 家	全 壊	1	1	2	大津市
	一部破損	24	24	106	彦根市, 長浜市, 永源寺町, 豊郷町, 米原町, 朽木村, 安曇川町, 高島町
	床上浸水	2	2	13	大津市
	床下浸水	101	93	336	大津市, 愛東町, 豊郷町, 多賀町, 伊吹町, 米原町, 朽木村, 安曇川町, 近江町, 浅井町, 虎姫町, びわ町, 木之本町, 西浅井町, 高島町
非住家	37	—	—	八日市市, 永源寺町, 豊郷町, 甲良町, 米原町, 近江町, 浅井町, 西浅井町, 朽木村, 安曇川町, 高島町, 余呉町	

(3) 農村水産関係被害

被害対象		被害数量		被害金額(円)	備考
農作物	水 稻	2,552.6 ha	1,396.0 t	362,132	冠水(4ha),埋没(10ha),倒伏(2500ha) 湖東,湖西,湖北
	野 菜	146.0	520.0	46,896	湖東,湖北を中心に夏野菜および秋野菜
	果 樹	129.0	66.0	14,629	落果,甲西,伊吹,草津,愛東
	桑	116.0	1,150.0	23,024	びわ,虎姫,湖北,安曇川,汚水冠水,損傷
	施 設	17 件			ビニールハウス破損
	飼料作物	18 ha	229.0	2,290	汚水冠水等
	小 計	2,978		471,250	
林業施設	林地崩壊	38ヶ所	4.1 ha	277,000	伊香郡,高島郡等 11市町村
	治山施設	4ヶ所		15,000	日野町,永源寺町,大津市,今津町(護岸工流出)
	林 道	39路線	116ヶ所	72,000	鈴鹿,伊吹等山麓
	橋 梁	1ヶ所		1,000	
	小 計			365,000	
農業施設	農 地	59ヶ所	11.52 ha	51,800	埋没・流出(湖北・高島地区志賀町など14町村)
	畦 畔	35ヶ所		14,370	栗東,朽木ほか6町
	ため池	3ヶ所		13,000	大津市,長浜市,湖北町
	頭首工	40ヶ所		85,800	余呉町,朽木村,マキノ町ほか5町 流失等
	水 路	51ヶ所		49,310	大津市,伊吹町ほか10市町 欠壊・埋没
	道 路	8ヶ所		18,400	伊吹町,志賀町ほか3町
	橋 梁	5ヶ所		9,300	伊吹町,今津町,マキノ町,朽木村,橋台洗掘流失
	小 計	201ヶ所		241,980	
水産業関係	漁 船	8 隻		6,000	マキノ町 大破2 沈没6
	漁 具	26 件		14,014	草津市(鮎,ヤナ破損)
	漁業施設	3ヶ所		10,400	びわ町(ヤナ小屋,小割鉄棚沈没)
	養 殖		10,500kg	7,000	守山市,草津市(小割のコイ,ウナギ流出)
	そ の 他	1 件		800	大津市
	小 計			38,214	
総 計			1,116,444		

(4) 公共土木施設被害

区 分		箇 所	被 害 額 (円)
河 川	県	255	2,076,204
	市町村	47	174,620
砂 防	県	78	321,412
	市町村		
道 路	県	94	314,188
	市町村	34	79,148
橋 梁	県	1	6,000
	市町村	8	31,339
合 計		517	3,002,911

非常警戒体制

8月22日 23時30分 県災害対策本部設置
 23日 13時00分 // 解散

県本部配置人数

総務部	37名
企画部	22名
生活環境部	23名
厚生部	37名
商工労働部	18名
農林部	23名
土木部	62名
教育委員会	23名
出納局	4名
計	249名

地方本部配置人数

水口	121名
八日市	119名
彦根	90名
長浜	121名
今津	54名
計	505名

その他地方機関

大津土木	32名
草津土木外	24名
計	56名

県警	900名
自衛隊 { 今津	360名
{ 大津	140名
計	1,400名

合 計 2,210名

市町村災害対策本部等開設状況

災害対策本部に係るもの	6市22町1村	992名
その他の警戒体制等に係るもの	1市20町	184名
合計	7市42町1村	1,176名

9月23日の大雨

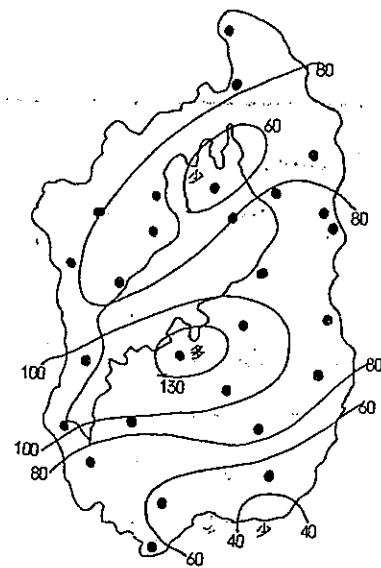
日本海側から南下した寒冷前線は近畿南部に停滞し、前線付近の処々で雷雨をみたが、その後日本海側と太平洋側の高気圧にはさまれて停滞し四国沖の熱低の発生もあって県下中央部に大雨を降らせた。その後太平洋側の高気圧の後退により県下の大雨も解消した。

降水量 (mm)

降水量分布図 (mm)

9月23日～9月24日

観測所	22日	23日	観測所	22日	23日
彦根	48	82	市場	42	71
木之本	13	90	北小松	28	77
竹生島	25	49	堅田	35	117
今津	32	64	土山	16	47
大津	41	87	日野	18	99
多羅尾	17	63	油日	31	40
水口	15	76	瀬田川	42	66
八幡	20	121	安曇川	41	64
中之郷	2	75	柳ヶ瀬	3	81



警戒状況

9月23日	雷雨注意報発表	18時35分
	大雨雷雨注意報発表	19時30分
24日	// 解除	00時00分

被害状況

(1) 農林水産関係被害

被害対象		被害数量	被害額(円)	備考
農業施設	畦畔	1ヶ所 4m	500	崩壊 栗東町
	水路	3ヶ所 89m	2,500	欠壊 能登川町, 竜王町, 永源寺町
	小計		3,000	
林業施設	林道	5ヶ所	4,976	崩壊(路体)
総計			7,976	

(2) 公共土木施設被害

千

区 分		箇所	被害額
河 川	県	48	329,470
	市町村	32	87,610
砂 防	県	1	14,300
	市町村		
道 路	県	18	23,380
	市町村	7	11,555
橋 梁	県	1	26,404
	市町村		
計		107	492,719

主な被災河川

草津市 : 草津川

五個荘町 : 大同川

昭和51年(1976年)

6月9日 梅雨前線豪雨

日本海側から南下してきた梅雨前線は、早朝大津地区に局地的大雨を降らせ、その後もゆっくり南下が続いた。一方上層では大きく寒気が流れこんで対流不安定となり所々で雷も発生した。午後には蒲生地区で時間量60mmの大雨が降り警報も発令された。

このため県下のところどころで浸水被害、農業施設に被害が発生した。

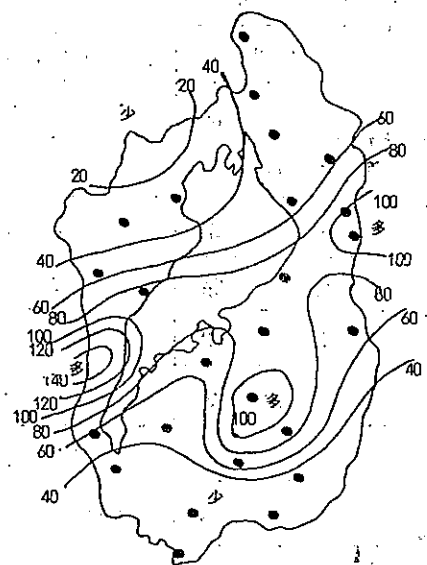
その他土木関係では河川・砂防・道路等にも災害が生じた。

降 水 量 (mm)

観測所	8日	9日	10日	観測所	8日	9日	10日
彦根	60	32	65	市場	20	19	45
木之本	17	35	42	北小松	73	35	57
竹生島	26	17	42	堅田	79	37	62
今津	13	15	43	土山	5	27	19
大津	30	30	63	日野	3	67	13
多羅尾	15	53	27	油日	7	39	21
水口	2	41	25	瀬田川	13	66	16
八幡	64	44	27	安曇川	25	15	44
中之郷	26	25	49				

降水量分布図 (mm)

6月9日



警戒状況

6月9日	大雨注意報発表	06時00分
	大雨洪水注意報発表	15時00分
	大雨警報 {洪水注意}	// 16時30分
	大雨注意報	// 21時20分
10日	// 解除	09時45分

被害状況

(1) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村
床上浸水	8	8	30	八日市市, 大津市, 石部町, 竜王町
床下浸水	611	611	2,444	大津市, 長浜市, 近江八幡市, 八日市市, 志賀町, 石部町, 甲西町, 水口町, 蒲生町, 竜王町, 能登川町, 愛東町, 農郷町, 多賀町, 近江町

(2) 農林関係被害

被害対象		被害数量	被害額(円)	被災市町村
農作物	水稲	186.4 ha	10,488	栗東町, 石部町, 甲西町, 水口町, 蒲生町, 竜王町, 虎姫町, 彦根市, 多賀町, 長浜市, 山東町, 近江町, 浅井町, 湖北町
	きゅうり	1.7 ha	4,450	長浜市
	キャベツ	0.3 ha	140	長浜市, 彦根市
	牧草	1.0 ha	40	日野町
	とうもろこし	2.0 ha	60	日野町
	小計	191.4 ha	15,178	
家畜等	ブロイラー	150羽	90	甲西町
合計			15,268	
農業用施設	田畑埋没	138ヶ所22.69 ha	109,450	大津市, 近江八幡市, 志賀町, 栗東町, 野洲町, 石部町, 甲西町, 水口町, 蒲生町, 竜王町, 愛東町
	ため池	11ヶ所	3,0300	
	頭首工	21ヶ所	52,500	
	水路	61ヶ所	70,740	
	道路	48ヶ所	21,140	
	橋梁	7ヶ所	10,800	
	揚水機	1ヶ所	1,000	
合計		287ヶ所	295,930	
林業施設	林道	19路線 58ヶ所	16,549	大津市, 栗東町, 石部町, 土山町, 日野町, 永源寺町, 安土町
総計			327,747	

(3) 公共土木施設被害

(円)

区 分	箇所	被害額	
河 川	県	249	1,271,211
	市町村	51	291,601
砂 防	県	11	69,349
	市町村		
道 路	県	42	128,730
	市町村	35	55,075
橋 梁	県		
	市町村	2	2,834
合 計	390	1,818,800	

主な被災河川

大津市 : 真野川, 和邇川

甲西町 : 長谷川, 落合川

竜王町 : 租父川

多賀町 : 小森池川

9月 台風17号と前線による大雨

9月3日カロリン諸島に発生した低気圧は、その後発達して4日15時には998mbの台風17号に

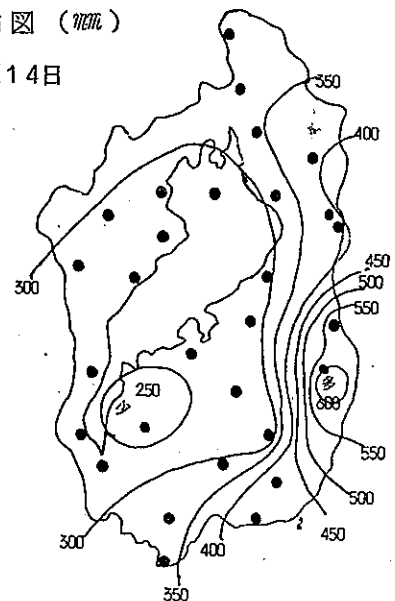
降 水 量 (mm)

観測所	8日	9日	10日	11日	12日	13日
彦 根	100	43	99	20	20	11
木之本	93	43	135	14	13	52
竹生島	80	39	105	11	14	45
今 津	79	59	100	13	11	38
大 津	68	57	64	17	15	44
多羅尾	120	55	96	23	41	13
水 口	110	51	82	25	29	11
八 幡	69	33	86	20	24	13
市 場	82	65	71	16	20	48
北小松	89	53	84	14	15	36
堅 田	67	56	75	18	16	36
土 山	196	33	100	57	38	19
日 野	104	34	64	30	24	8
油 日	171	27	86	43	72	13
瀬田川	71	61	71	23	24	24
安曇川	86	53	100	14	11	34

なり、北西進を続け8日9時には、沖縄の南東およそ500kmの海上に達し、中心気圧が910mbとなった。この頃から近畿地方も所々でわか雨が降り始め、とくに8日午後からは兵庫県西部で雨が強くなってきた。9日15時頃には沖縄の東海上を北上し、10日6時には奄美大島の西部をかすめて北上したが、11日の朝から大陸の高気圧が

降水量分布図 (mm)

9月8日~9月14日



日本海方面に張り出してきたので、11日6時頃から鹿児島県の西およそ200kmの海上で停滞した。12日4時頃から再び北上を始め速度を速め13日1時40分には9.6.0m.bとなり長崎市付近に上陸、0.5時には福岡県糸島半島から海上に去った。その後日本海を北東に進み14日0.6時には津軽海峡西方で990mbの温帯低気圧となった。17号台風の大きな特徴は、台風が九州に近づくとつれて速度が遅くなり、11日朝から12日朝にかけて、まる1日間九州南西海上で迷走したことも加わり、西日本で同じような気圧配置が長期間続いたことである。県内でも多大の降水があって住家浸水、水稻の倒伏、田畑埋没、ため池法面崩壊、また土木関係にも多くの被害が起った。

極 値 表

区 分	彦 根	伊 吹 山
最 低 気 圧	1,000.0mb 13日 15時00分	848.9mb 13日 12時40分
最 大 瞬 間 風 速	19.1m/s SE 13日 14時10分	44.4m/s SE 13日 10時40分
最 大 風 速	9.3m/s SE 13日 14時20分	33.6m/s SE 13日 10時50分
降り始めからの降水量	29.1mm 8日12時10分~14日3時30分	43.5mm 8日8時40分~14日6時20分
1時間降水量の最大	27mm 10日 20時~21時	29.0mm 9日0時50分~1時50分
10分間降水量の最大	10mm 10日20時37分~47分	12.0mm 12日3時10分~20分
10m/s以上の風の期間	—	7日 23時20分~ 8日 19時30分 10日 1時50分~10日 16時10分 11日 9時00分~11日 18時30分 12日 20時40分~13日 9時40分

警戒状況

9月 8日	大雨注意報発表	17時40分
9日	解除	13時30分
9日	大雨洪水注意報発表	19時00分
10日	大雨警報 { 洪水注意報 } //	19時00分
11日	大雨洪水注意報 //	07時10分
12日	// 更新	14時40分
13日	強風注意報発表	08時30分
13日	風雨注意報 //	18時30分
	大雨・強風注意報発表	21時35分
14日	// 解除	06時20分

被害状況

(1) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村
一部破損	1	1	5	水口町
床上浸水	16	16	59	近江八幡市, 竜王町, 豊郷町, 米原町
床下浸水	507	505	1,980	大津市, 長浜市, 近江八幡市, 安土町, 日野町, 竜王町, 能登川町, 甲良町, 米原町, 浅井町, 虎姫町, 湖北町, びわ町, 高月町, 木之本町, 余呉町, 西浅井町

(2) 農業関係被害

被害対象		被害数量	被害見込額(円)	被災市町村	
農地	田	埋没	25ヶ所 1,855ha	8,500	甲賀町, 近江八幡市, 安土町, 日野町, 安土町, 長浜市, 余呉町, 大津市
	畑	流失	3ヶ所 0.023ha	700	水口町
		埋没	1ヶ所 0.01ha	200	
	畦	畔	286ヶ所 26,587ha	75,600	土山町, 大津市
	計		315ヶ所 28,475ha	85,000	
農業用施設	ため池		23ヶ所	29,000	草津市, 水口町, 野洲町, 日野町
	頭首工		15ヶ所	49,000	今津町, 草津市, 日野町
	水路		90ヶ所	85,000	水口町, 甲賀町, 近江八幡市, 浅井町, 大津市, 日野町
	堤防		1ヶ所	3,000	安土町
	道路		59ヶ所	33,000	水口町, 近江八幡市, 日野町
	橋りょう		4ヶ所	6,000	米原町
	揚水機		1ヶ所	1,000	
	計		193ヶ所	206,000	
合計		508ヶ所	291,000		
林地	新生崩壊		92ヶ所 2.87ha	195,800	高月町
	山地治山施設		4ヶ所	40,700	
	道路		102ヶ所	43,600	
	橋りょう		1ヶ所	1,137	
合計		199ヶ所	281,237		
農産被害	水稲		2,079.2ha	282,992	草津市, 守山市, 甲賀町, 水口町, 土山町, 甲南町, 信楽町, 近江八幡市, 日野町, 竜王町, 永源寺町, 能登川町, 彦根市, 秦荘町, 豊郷町, 甲良町, 山東町, 湖北町 他
	かんしょ		1.0ha	1,960	守山市

被害対象		被害数量 (ha)	被害見込額 (円)	被災市町村
農 産 被 害	だいず	2.7	225	彦根市
	きゅうり	2.5	200	日野町
	なす	0.5	100	
	キャベツ	15.2	6,970	
	ほうれんそう	8.1	3,246	
	だいこん	42.3	15,079	
	その他野菜	24.0	11,365	
	なし	6.0	3,870	甲西町, 秦荘町
	牧草	2.0	480	日野町
	切花類	2.0	3,924	守山市
	茶	2.0	100	日野町
	合計	2,187.5	330,511	

(3) 公共土木施設被害

区分	箇所	被害額 (円)
河川	県	425
	市町村	66
砂防	県	62
	市町村	
道路	県	110
	市町村	96
橋梁	県	2
	市町村	5
合計	766	3,837,670

主な被災河川

草津市：堺川
水口町：思川・里川
甲南町：浅野川
湖東町：ドン川
余呉町：高時川
マキノ町：御堂川

昭和52年(1977年)

3月30日 大雨

30日から31日にかけては低気圧が発達し、近畿地方を通過して天気は大きくくずれ、県下全般に40～90ミリの雨が降った。

降水量 (mm)

観測所	29日	30日	観測所	29日	30日	観測所	29日	30日	観測所	29日	30日
彦根	19	44	大津	35	48	市場	30	39	日野	25	31
木之本	15	28	多羅尾	37	58	北小松	29	60	油日	39	54
竹生島	17	34	水口	34	49	堅田	30	54	瀬田川	31	48
今津	20	40	八幡	27	49	土山	32	44	安曇川	20	51

警戒状況

3月30日	風雨注意報発表	09時30分
	大雨強風注意報発表	15時30分
	強風注意報発表	21時15分
31日	// 解除	05時30分

被害状況

公共土木施設被害

区分	箇所数	被害額 (円)
河川	県	1 3,500
	市町村	
砂防	県	1 50,000
	市町村	
道路	県	1 4,000
	市町村	3 6,650
橋梁	県	
	市町村	1 2,100
合計	7	66,250

主な被災箇所

大津市 : 三舞谷 (砂防)
草津市 : 草津川

9月8日～9日 台風9号

先月末より再び太平洋の高気圧が勢力を次第に強め、上旬末から中旬頃が最も強かった。このため大型の強い台風9号も九州西方海上まで北上したが、その後進路を西寄りにとり中国大陆に上陸したので、本土への災害は免がれた。

降水量 (mm)

観測所	8日	観測所	8日	観測所	8日	観測所	8日
彦根	15	大津	24	市場	52	日野	14
木之本	13	多羅尾	19	北小松	25	油日	65
竹生島	8	水口	17	堅田	20	瀬田川	10
今津	9	八幡	9	土山	109	安曇川	17

警戒状況

9月8日 大雨洪水雷雨注意報発表 16時30分

9日 // 解除 10時30分

被害状況

公共土木施設被害

区分	箇所	被害額 (円)
河川	県	21 217,600
	市町村	2 13,826
砂防	県	1 1,400
	市町村	
道路	県	8 104,000
	市町村	2 4,926
橋梁	県	
	市町村	
合計	34	341,752

主な被災箇所

永源寺町 : 愛知川
 多賀町 : 犬上川, 多賀醒ヶ井線
 愛東町 : 川相永源寺線
 土山町 : 田村川

雪・凍霜害編

昭和41年(1966年)

1月19日～21日の風雪

この冬は、低気圧が日本付近をひんぱんに通過し、北日本付近で急激に発達するケースが目立った。1月16日から17日にかけて、低気圧が日本海と太平洋沖合を東進し、18日には千島東方海上で発達した。

一方、大陸から優勢な高気圧が張り出してきて、日本付近は典型的な冬型気圧配置になり、強い寒波が襲来した。

本県では、19日から季節風が吹出し、18日からのしぐれは雪に変わり、北部一帯ははげしい風雪となった。

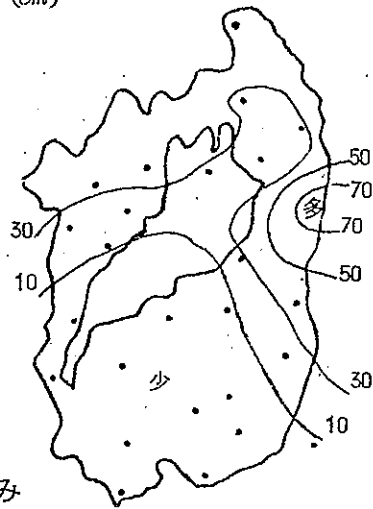
この風雪は、21日までつづき、積雪は、湖北や湖西の山沿い、山間部で100～150cmとなった。このため、国鉄、私鉄バスのダイヤは大きく乱れ、各道路はかなりの交通障害をきたし、臨時休校したところもあった。

積 雪 (9時・cm)

観測所	19日	20日	21日	22日	観測所	19日	20日	21日	22日
彦根	2	27	40	38	吉 槻	50	80	100	130
木之本	15	48	75	103	市 場	10	37	58	51
竹生島	10	40	45	55	北小松	—	10	17	10
今 津	10	42	43	59	堅 田	0	1	10	5
大 津	1	1	0	—	土 山	—	0	7	3
多羅尾	0	—	—	—	治 田	—	—	—	—
水 口	—	0	3	0	日 野	—	1	9	0
八 幡	—	1	7	0	瀬田川	—	—	—	—
政 所	2	26	47	38	安曇川	2	15	25	30
中之郷	45	63	93	132	油 日	—	—	2	0
愛知川	—	10	25	10	柏 原	15	80	85	93
					信 楽	0	—	—	—

新積雪分布図 (cm)

昭和41年1月19日



2月8日の冷えこみ

8日朝、西日本一帯は移動性高気圧におおわれ、早朝の冷えこみが強く、彦根の最低気温は -8.8°C に下った。この気温は2月の最低気温としては、明治29年(1896)2月17日の -8.9°C 以来70年振りの最低気温であった。

このため、彦根市・大津市内の家庭の水道管の破裂したものが多数あり、彦根港湾が一時的に結氷した。

各地の最低気温 $^{\circ}\text{C}$

彦根	- 8.8	北小松	- 4.4	政所	-12.2
木之本	-10.5	大津	- 2.8	八幡	- 7.8
今津	- 8.7	多羅尾	-11.1	愛知川	-11.4
市場	-12.5	水口	- 8.1		

4月17日~18日の寒波

17日、低気圧が北海道東方海上で発達し(中心気圧982mb)日本付近は冬型気圧配置になった。このため、北西の季節風が強まり気温が下り、北部では「あられ」が降り、南部では「ひょう」を観測した。この時ならぬ気象異変で、満開のさくらも散りを急いだ。

各地の最低気温 $^{\circ}\text{C}$

観測所	16日	17日	観測所	16日	17日	観測所	16日	17日
彦根	10.9	6.4	八幡	12.0	6.4	堅田	13.1	5.5
木之本	11.4	5.6	政所	9.7	4.4	土山	10.5	3.1
竹生島	11.0	6.1	中之郷	9.5	5.6	治田	13.4	6.8
今津	11.5	5.5	愛知川	10.5	5.4	日野	10.5	4.5
大津	13.2	6.2	吉槻	11.5	5.5	安曇川	11.2	5.0
多羅尾	8.5	3.0	市場	9.9	4.3	油日	11.5	2.5
水口	11.1	4.5	北小松	11.4	6.0	信楽	10.5	3.8

また、伊吹山には雪が降り、15cmの新積雪を観測した。

4月17日 湖上の事故

北西の季節風が吹走する17日の昼すぎ、琵琶湖上では、ヨットが強風にあおられて6隻が漂流3隻が転覆したが、乗員は救助された。

彦根の最大風速 NNW 13.0m/s 18日00時30分
 // 最大瞬間風速 N 17.9m/s 18日00時27分

5月17日・18日の晩霜

14日、モンゴル方面から南東に進んだ冷たい高気圧が中国大陸の中部から黄海を経て、17日から18日にかけて日本全般をおおった。このため、両日とも天気よく、夜間の冷えこみがきびしく南部の山間部では早朝の気温が1～5℃下って、甲賀郡では晩霜があり、つぎの被害があった。

被害状況

市町村 区分	土山町		信楽町		大津市		計		備考
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
茶	102.7 224.3	16,822	77.9 26.5	24,672	10 30.5	2,440	190.6ha 519.8t	(円) 43,934	
茶苗木	0.1	70					0.1ha	70	
合計		16,892		24,672		2,440		44,004	

12月の寒波

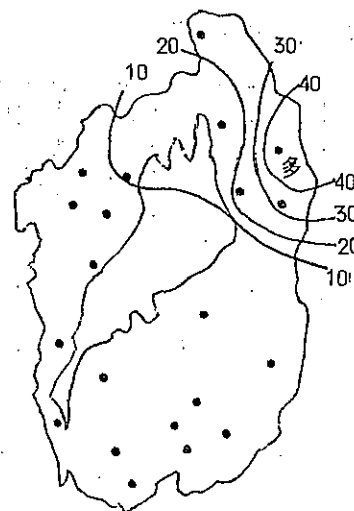
a. 11月末に至り、日本付近は今冬二度目の寒波が襲来し、12月1日朝の積雪は伊吹山麓吉槻で45cmが最深、北部平野部で20cm未満、湖西及び湖東は一帯が白くなり、名神高速道路や国道8号線では交通が乱れた。

積雪 (9時・cm)

観測所	1日	2日	観測所	1日	2日
木之本	3	20	吉槻	10	55
今津	3	5	柏原	3	5
中之郷	4	19			

新積雪分布図 (cm)

昭和41年12月1日



b. 12月12日9時，日本海，九州西部，南西諸島に現われた低気圧が日本付近をとおり，13日9時には関東東方洋上で発達し典型的な冬型気圧配置になった。湖西地方では，13日午後から全般に雪が降り出し，夜に入って風・雪ともに強まり，14日09時の積雪は，近江八幡から日野，土山に至り，神崎郡一帯は20～40cmで最も多く，高島郡山地で20～30cm，湖南一帯及び彦根から木之本に至る湖岸一帯は10cm未満で少なかった。この大雪で各交通機関は大混乱し，山間地では休校する学校もあった。

風雪注意報発表 13日 16時50分

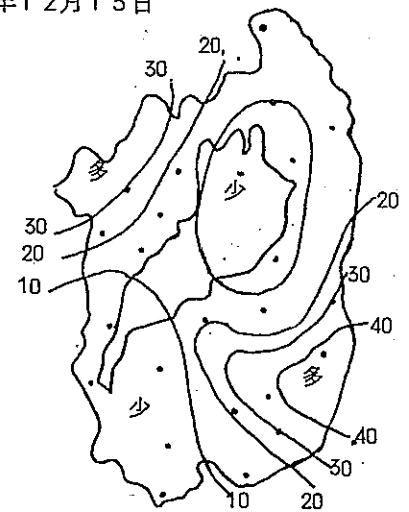
解除 14日 16時10分

積 雪 (9時・cm)

観測所	14日	15日	観測所	14日	15日
彦根	5	2	市場	33	30
木之本	9	5	北小松	17	8
竹生島	6	4	堅田	6	0
今津	21	20	土山	24	23
大津	5	0	治田	3	0
多羅尾	7	3	日野	38	28
水口	18	0	瀬田川	4	0
八幡	20	11	安曇川	20	17
政所	45	40	油日	12	5
中之郷	10	10	柏原	17	7
愛知川	12	6	信楽	5	0
吉槻	15	10			

新積雪分布図 (cm)

昭和41年12月13日



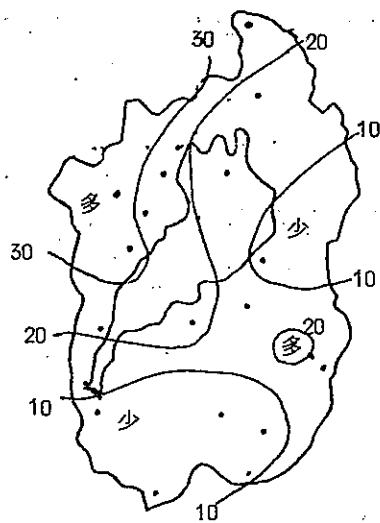
c. 12月26日から，大陸の優勢な高気圧が日本に張り出してきたので，日本付近は典型的な冬型気圧配置となった。このため，本県全域は，27日未明から風雪が強まり，27日朝9時の積雪は，湖西の

積 雪 (9時・cm)

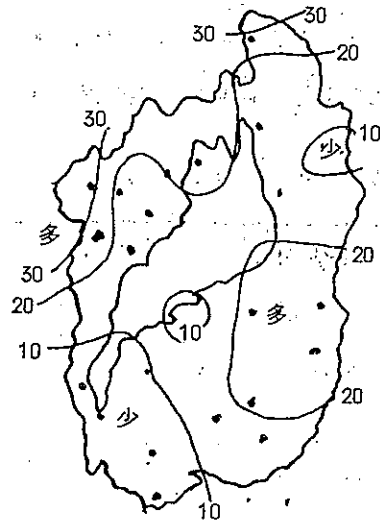
観測所	27日	28日	29日	観測所	27日	28日	29日	観測所	27日	28日	29日
彦根	9	20	11	政所	19	38	35	治田	6	10	5
木之本	12	21	28	中之郷	13	22	41	日野	7	24	11
竹生島	16	28	9	愛知川	13	35	19	瀬田川	—	3	0
今津	25	38	42	吉槻	11	21	39	安曇川	26	37	30
大津	10	0	—	市場	36	42	50	油日	16	25	13
多羅尾	3	7	2	北小松	35	37	20	柏原	5	17	15
水口	7	25	15	堅田	20	34	20	信楽	3	4	0
八幡	23	32	15	土山	8	21	16				

山地で30~40cm, 八幡から政所付近を結ぶ地帯では20cm内外, その他は10cm内外であった。27日も冬型がつづき, 風雪がややつよく, 27日の新積雪は湖東地方に20cm, 湖西の山地で20~30cmであった。28日から冬型気圧配置は次第にゆるんだが, 29日は小雪が降ったり止んだりした。

新積雪分布図 (cm)
昭和41年12月26日



新積雪分図 (cm)
昭和41年12月27日



この大雪で, 路線バスの運休遅れが続出, 新幹線では米原—京都間にラッセル車が初出動した。

彦根	最大風速	NW	13.0 m/s	27日	12時00分
	最大瞬間風速	NW	19.3 m/s	27日	11時54分

警戒状況

12月27日	風雪注意報発表	07時15分
28日	// 解除	10時30分
//	// 発表	16時50分
29日	// 解除	06時30分

昭和42年 (1967年)

1月の大雪

2日~5日, 8日~10日, 15日~17日の大雪, 本年の寒波の第一波は2日から5日にかけて襲い新潟県上信越方面に3mをこえる豪雪を降らせた。本県では北部木之本で3日朝25cm, 中之郷35cm, 吉槻38cm, 中河内150cmを観測した。(彦根—最大風速NW15.2 m/s: 2日13時10分)。

第2波は8日から10日にかけて日本海側に豪雪を降らせ, 本県北部, 中部でも風雪となり, 平野部で50cm内外, 山沿地方で60~80cmの降雪があり, 中部地帯に多い中雪型で, 北部国道で数千台の車が立往生するなど各所で雪の事故がつづいた。

第3波は15日から17日にかけて降雪の範囲は, 北海道から奄美大島までの広範囲で, これ程南まで雪が降ったのは, 昭和38年1月豪雪以来のことである。

本県でも北部を中心にして風雪となり50cm内外の降雪(中河内310cm)があり交通は麻痺し、臨時休校も続出した。

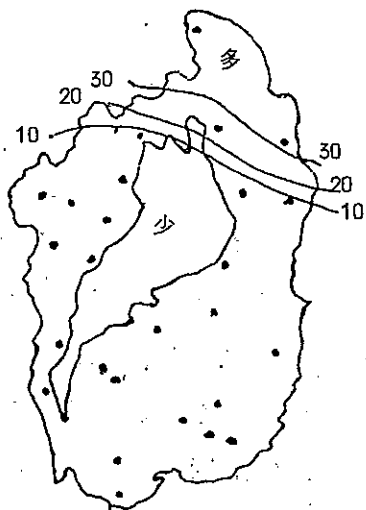
また、17日朝彦根の最低気温は、-7.9℃に下り。山間部では、-10℃を下回った所もあり、今冬の最低を示し、各地で水道管が破裂した。

積雪 (9時・cm)

観測所	3日	9日	10日	17日	18日	観測所	3日	9日	10日	17日	18日
彦根	—	32	53	39	44	吉槻	38	40	65	82	95
木之本	25	34	55	65	74	市場	13	61	82	97	99
竹生島	1	欠	欠	55	58	北小松	—	55	60	35	50
今津	2	35	49	55	62	堅田	—	26	39	0	9
大津	—	2	3	—	0	土山	—	28	25	16	21
多羅尾	0	3	2	7	7	治田	—	3	2	—	1
水口	—	33	35	15	19	日野	—	35	32	14	22
八幡	—	45	45	22	29	瀬田川	—	0	0	—	0
政所	0	45	73	56	70	安曇川	—	38	44	40	45
中之郷	42	60	75	91	97	油日	—	24	13	5	7
愛知川	—	38	45	34	33	柏原	3	9	42	45	53
						信楽	—	3	3	—	0

新積雪分布図 (cm)

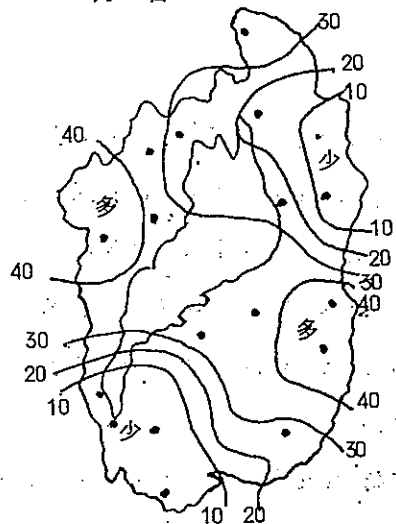
1月2日



中河内積雪 3日 1.5m

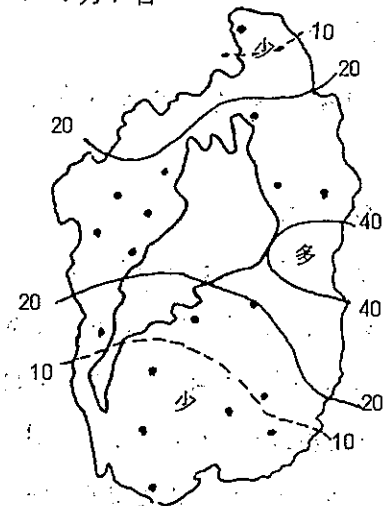
新積雪分布図 (cm)

1月8日



新積雪分布図 (cm)

1月9日



中河内積雪 10日 2.8m

(中河内の積雪は新聞記事による)

被害状況 新積雪分布図 (cm) 最低気温分布図 (°C)

公共土木施設被害

県工事 4ヶ所

4, 9 6. 1 冊

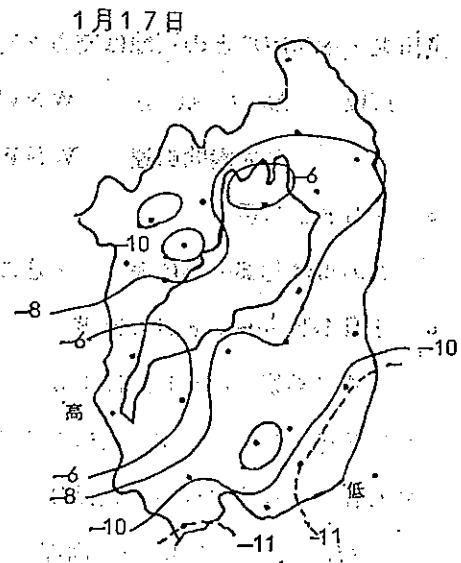
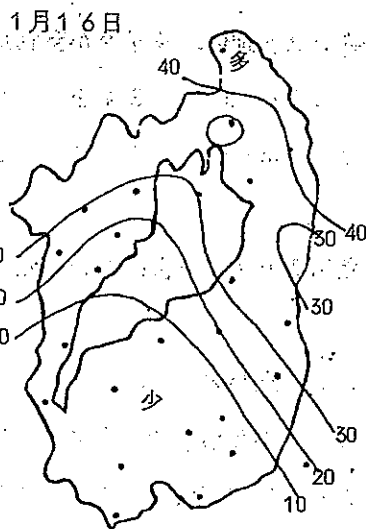
6月30日～7月1日

低温による稲作の冷害

日本海に中心をもつ高気圧が日本をおおったので、冷えこみ、6月30日と7月1日の朝方は、彦根で最

低気温が15.2°C (6月30日) 及び15.4°C (7月1

日) に下り県下各地でもかなりの低温を示した。このため、早期栽培の稲作 (明星) が冷害を受けた。



中河内積雪 17日 3.8m

昭和43年 (1968年)

1月～2月の雪害

○ 1月8日～9日の風雪

季節風の吹き出しにより、8日未明から降り出した雪は、昼ごろから断続的に降りつづき、湖北、湖西、湖東地方では今冬の最深積雪となった。このため国道8号、21号、161号線などでは交通が混乱し、名神高速道路は速度制限、国鉄新幹線は一部に運転遅延が起った。

また、近江八幡市、甲賀郡、大津市などの山間部の学校で臨時休校した。

彦根 最大風速 NW 1.4.3 m/s 8日15時00分

最大瞬間風速 NNW 2.2.2 m/s 8日14時35分

○ 1月26日～27日の大雪

25日から冬型気圧配置となり、26日朝から降りだした雪は殆んど終日続き、湖西地方は平地で10～30cm、山間部で50～150cmと今冬一番の大雪となった。

このため、今津土木事務所、建設省などで除雪車7台を出動して国道などの除雪に当った。また、国鉄バス敦賀線の一部は折り返し運転、湖岸線・びわ湖線は不通となった。

彦根 最大風速 WNW 1.0.2 m/s 26日06時30分

最大瞬間風速 WNW 1.4.6 m/s 26日06時31分

○ 1月31日～2月1日の大雪

季節風の吹き出しにより、31日夜から再び降り出した雪は、伊香郡山間部で200cmを越し、余呉村奥川並・中河内などの辺地は交通と絶、国鉄バスも運休、タイヤが乱れた。

彦根 最大風速 WNW 13.7m/s 31日 22時10分

最大瞬間風速 WNW 20.2m/s 31日 22時13分

○ 2月8日の雪

この雪は北部のみに多く、中之郷で新積雪30cmで被害はなかった。

○ 2月15日～16日の風雪

14日早朝、台北付近に1015mbの低気圧が発生し、15日9時には九州南端で982mbと異常に発達しながら日本の南岸沖を通過した。このため九州から東北地方南部までの一帯が暴風雨雪にみまわれ、これらの地方の大部分で積雪があり、各地で積雪による大きな被害が発生した。

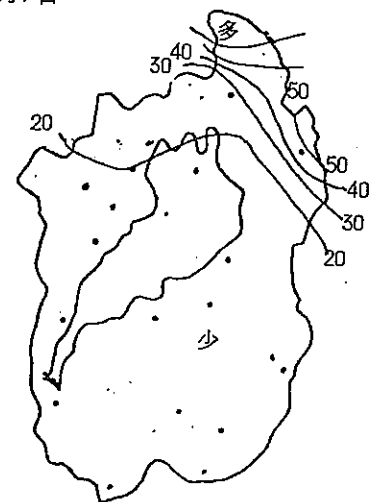
近畿、中国、四国地方も南部太平洋沿岸の一部を除いて積雪があり、特に徳島では17年ぶり、高松

積雪 (9時・cm)

観測所	1月8日	1月9日	1月27日	1月28日	2月1日	2月8日	2月16日	2月17日
彦根	3	10	20	9	0	4	3	0
木之本	22	21	36	25	44	79	67	58
今津	22	21	69	54	40	32	40	55
大津	—	2	—	—	—	—	0	2
多羅尾	—	4	3	1	—	—	40	41
水口	—	30	8	10	—	—	20	5
八幡	0	30	9	10	—	—	3	12
政所	6	37	27	32	10	16	47	40
中之郷	31	33	63	53	80	150	140	125
愛知川	0	7	11	8	—	1	15	9
吉槻	50	45	47	40	67	120	105	110
市場	11	34	97	97	72	55	112	132
北小松	—	30	25	33	3	0	5	20
堅田	—	25	10	8	—	—	1	10
土山	—	27	11	11	—	0	27	22
治田	—	8	2	2	—	—	5	7
日野	—	26	8	10	—	—	16	13
瀬田川	—	5	0	0	—	—	3	2
安曇川	5	20	65	53	24	10	27	40
油日	—	18	4	5	0	—	30	21
柏原	18	22	25	18	8	26	42	27
信楽	—	5	0	0	—	—	31	30

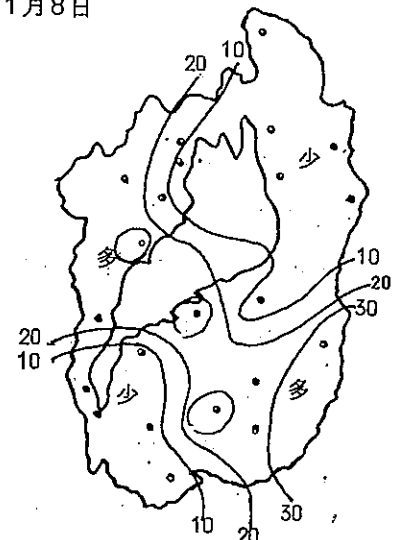
新積雪分布図 (cm)

1月7日



新積雪分布図 (cm)

1月8日

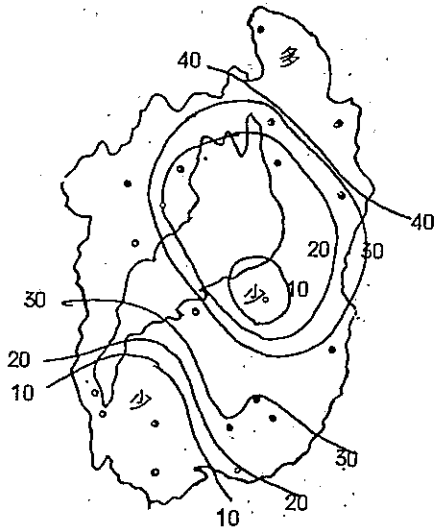


・多度津ではいずれも開設以来3位の記録の積雪で、徳島県・香川県の積雪による被害が顕著であった。
彦根地方では15日早朝から雪で時々みぞれが交り、夕刻より風雪強まり、被害が発生した。

彦根 最大風速 NNW 14.2 m/s 16日 02時00分
最大瞬間風速 NNW 21.3 m/s 16日 01時48分

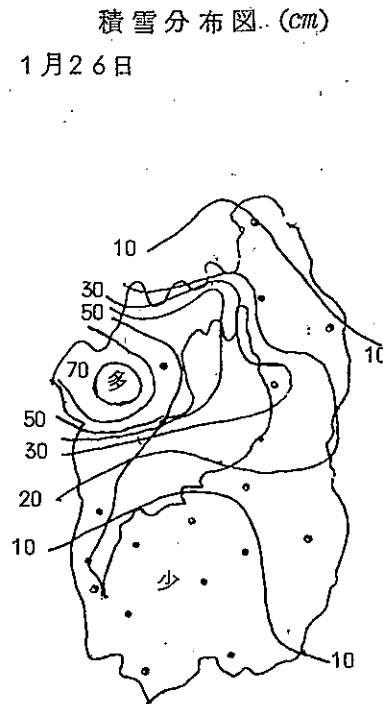
積雪分布図 (cm)

1月9日



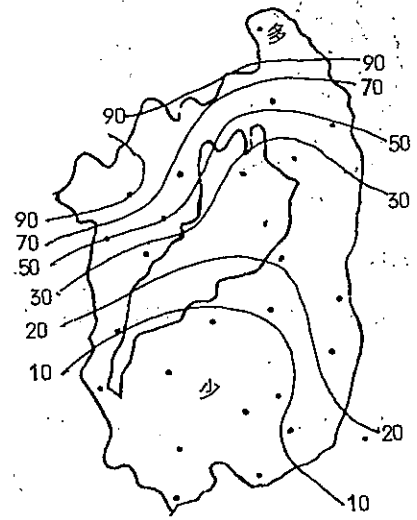
積雪分布図 (cm)

1月26日



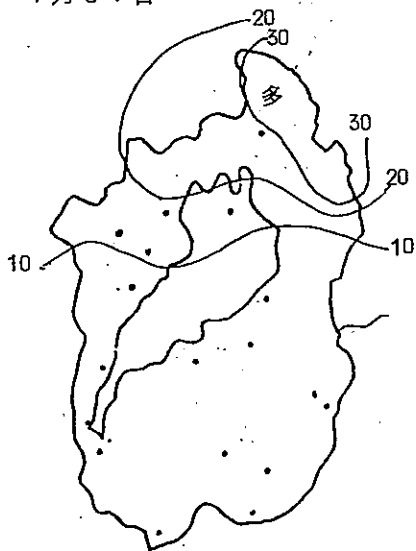
積雪分布図 (cm)

1月27日



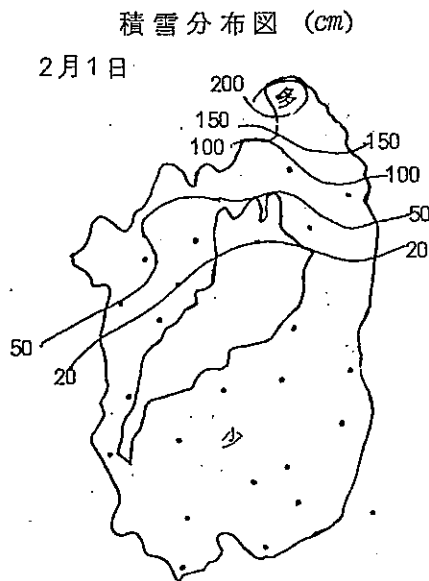
新積雪分布図 (cm)

1月31日



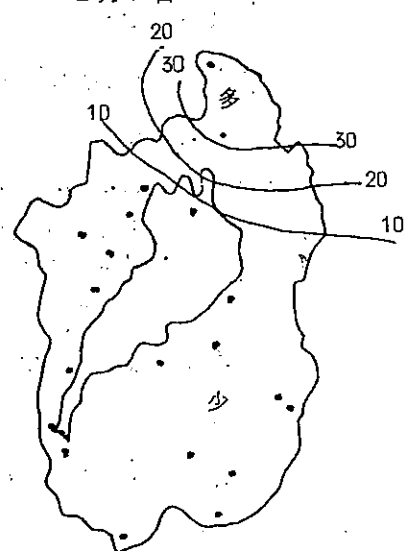
積雪分布図 (cm)

2月1日



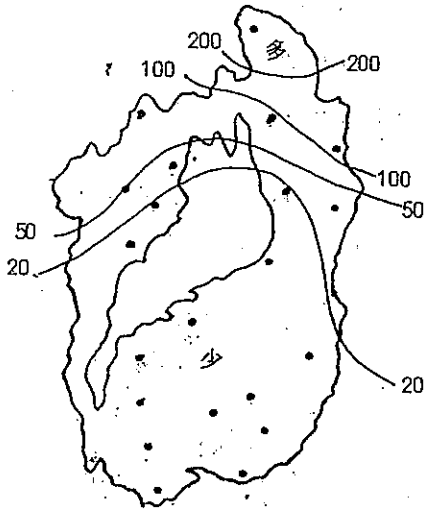
新積雪分布図 (cm)

2月7日



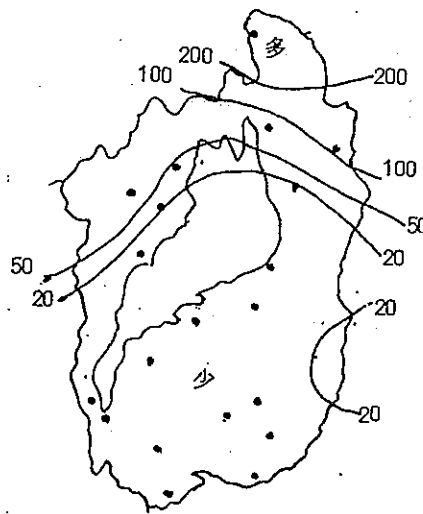
積雪分布図 (cm)

2月8日



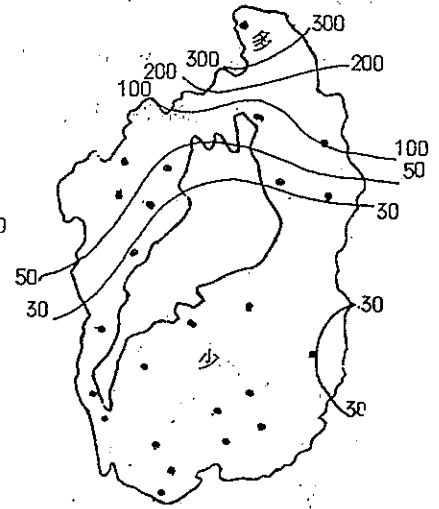
積雪分布図 (cm)

2月11日



積雪分布図 (cm)

2月12日

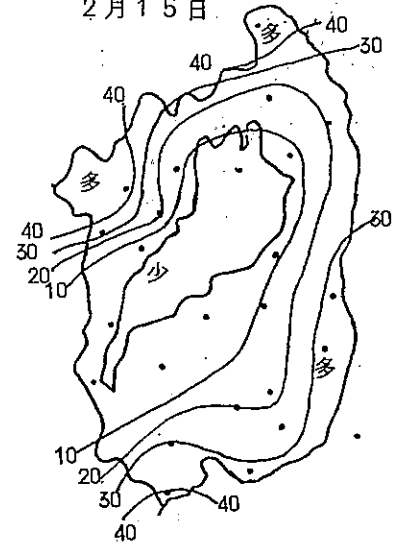


警戒状況

42年12月30日	風雪注意報発表	13時40分
31日	// 解除	08時00分
43年1月3日	強風注意報発表	08時20分
4日	// 解除	08時00分
7日	強風注意報発表	16時50分
8日	風雪注意報発表	09時00分
9日	// 解除	11時00分
13日	強風注意報発表	11時30分
14日	風雪注意報発表	19時30分
15日	風雪情報発表	09時20分
16日	風雪注意報解除	17時30分
2月1日	風雪(北部)注意報発表	09時15分
1日	風雪(北部)注意報発表 強風(南部)注意報発表	16時50分
2日	// 解除	16時40分
4日	風雪(北部)注意報発表	06時50分
//	// 解除	17時15分
9日	風雪注意報発表	10時20分
//	// 解除	16時50分
11日	// 発表	11時30分
12日	// 解除	11時30分
15日	風雪電線着雪 なだれ(北部)注意報発表	10時00分

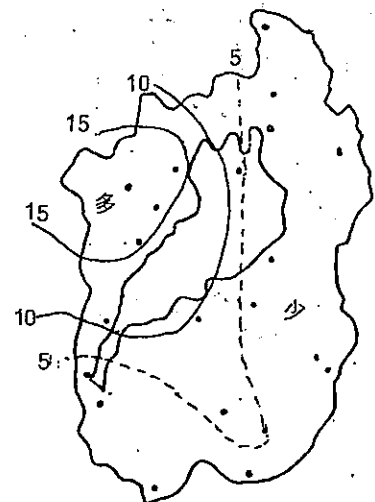
新積雪分布図 (cm)

2月15日



新積雪分布図 (cm)

2月16日



43年 2月16日	強風 なだれ(北部)	注意報発表	07時40分
"	"	解除	18時30分
22日	風雪なだれ(北部)	注意報発表	12時10分
	強風注意報	"	16時40分
23日	風雪注意報	"	09時50分
26日	"	解除	08時15分
29日	なだれ(北部)	注意報発表	19時50分
3月 2日	"	解除解除	11時10分

なだれの発生状況

2月4日伊吹山のなだれ

4日21時頃伊吹山になだれが発生した。

〔天気変化〕

山頂では、1月31日以来2月2日まで連日猛吹雪で、風は平均20m/s前後、最低気温も毎日氷点下13℃ぐらいで雪面は冷たく締っていたと思われる。3日から気温は氷点下8℃ぐらいに上昇したが、18時頃から再び風速22m/sぐらいの猛吹雪となり、4日朝やや衰え始め、しだいに並雪となり、夕方まで30cmぐらいの新雪が積った。風は18時頃NN1.9m/sとなった後、急速に衰え、なだれのあった21時前後は13m/sぐらい、風の息も弱い。最深積雪は3日4.95m、3日5.30m、5日5.40mでこの頃としては積雪、新積雪ともに特に多いとは言えない。ただ冷たい固雪面に多少暖かい新雪が積もり、また連日の強風で相当長く発達した雪庇がバランスを失ってなだれたもので、典型的な表層なだれと考えられる。

〔なだれの状況〕

なだれは山頂西側峻線行動岩上方の雪庇から発生し、次第にその範囲と規模を広め、6合目当所の新待期小屋東方15m位を東縁として、その両側約300mの巾にわたってつぱしり、その主流は5合目の茶店2軒を押しつぶし、その端末は3合目の元当所避難小屋の下方にまで達しその縁辺につぶれた山小屋の資材を吹き飛ばし、押し流した。又、6合目の当所新待期小屋の東側を流下したなだれは、6合目の新設リフト終点の鉄塔・小屋等を押し流し、新開発のスロープに沿って多少分流の形をとりつつ、下方の次のリフト鉄塔脚部ポルトを折損して鉄塔を5合目下方まで押しした。

4合目でテント露営中のスキーヤーの話によると、ドンという音を5分位の間をおいて2回聞き、2回目に聞いたと思った瞬間雪に埋まっていたということで、伊吹山としてこの未曾有の大なだれは、2段階のなだれのように考える。

〔事故対策〕

2月4日午後7時30分頃、伊吹山5合目で発生したなだれ遭難事故の知らせを受けた伊吹山遭難対策

協議会は直ちに救助隊（消防団員、スキークラブ員、地元住民ら102名）を動員、遭難現場の伊吹山5合目に5日午前9時30分頃到着、なだれにより押しつぶされた山小屋の雪を掘りはじめたところ約1時間後に2人が見つかった。2人は並んで寝ていたが、1人は倒れた柱で圧死、他の1人は奇跡的に助かったが、重傷、直ちに救出した。

また、山小屋経営者の吉田夫婦は2人とも死んでいた。

午後1時頃、遺体が本部に収容された。

〔被害〕

死傷者 4名（5合目茶店2軒流失、中にいた4名のうち圧死3名、重傷1名）

6合目のリフト 鉄塔2基倒伏押流される。（昭和42年秋完成したもの）

気象台新設6合目待期小屋、なだれは小屋屋上を飛越したようで未完成の窓から雪が浸入屋内板壁折損。

〔過去のなだれの例〕

大正11年（1922）	12月28日	8合目～5合目まで	山小屋流出
昭和6年（1931）	1月16日	〃	〃
昭和9年（1934）	1月19日	〃	1人行方不明
昭和13年（1938）	2月20日	小規模	
昭和13年（1938）	12月29日	8合目～6合目	吉田氏遭難
昭和38年（1963）	1月20日	〃	被害なし

2月11日の中河内のなだれ

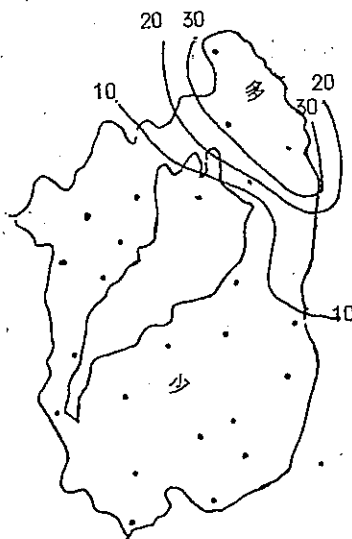
11日22時30分頃、中河内向山（標高550m）でなだれが発生した。

11日は、北部山沿いでは、朝から風雪となり、山間部では30cm以上の降雪があり、22時30分頃頂上近くより巾100mにわたってなだれが発生、高時川上流（川巾6mぐらい）を堰き止め、部落（戸数約50戸）に水が流入し、次の被害を出した。

県では余呉村村長の要請により三重県明野航空学校の大型ヘリの出動をうけ、現地で被災者の救援に当たった。

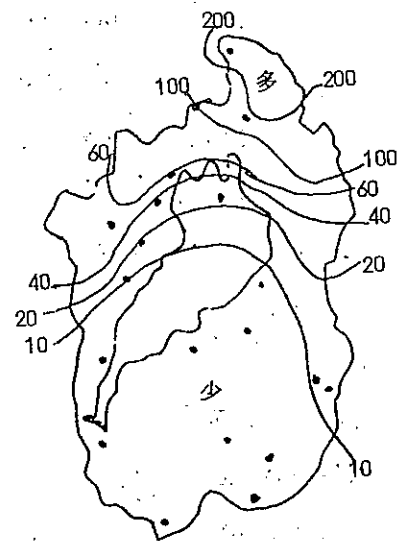
新積雪分布図 (cm)

2月4日



積雪分布図 (cm)

2月5日



〔事故対策〕

2月11日22時30分頃発生した余呉村中河内のなだれ事故については、12日10時過ぎ余呉村（長浜県事務所経由）より被害報告と共に村長より自衛隊ヘリコプターの出動要請があった。

11時30分 今津自衛隊にヘリを要請した。

三重県明野航究学校の大型ヘリが途中、大津駐とん部隊で県消防防災課長 他1名を乗せ、16時余呉村に到着、若干の医薬品を積み込み、村長、助役、木ノ本警察署長らが乗り込んで、16時15分中河内に到着し、現地で約40分間状況調査のうえ、負傷者1名を乗せ、中之郷に到着17時過ぎ、中之郷診療所に到着した。

ヘリは当日中之郷で一泊、13日9時30分、昨日の負傷者、中河内小学校校長、医者、看護婦を乗せ、中河内へ出発した。医師は中河内、半明部落民28名を診察治療して、12時30分中之郷に帰った。ヘリは無事任務を終え、大津駐とん部隊を経由13時過ぎ、明野基地へ向った。

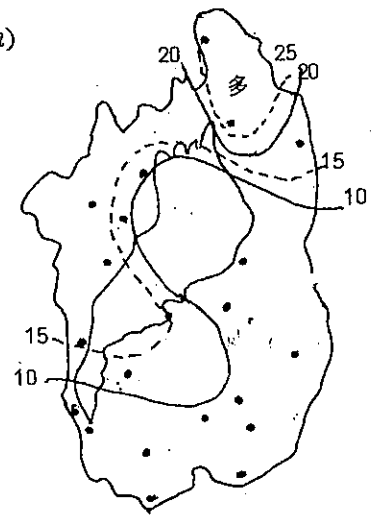
〔被害〕

負傷者（軽傷） 3名
 住家半壊 一戸
 住家床上浸水 4戸
 // 床下浸水 7戸
 非住家床下浸水 7棟

なだれにより高時川流水を
 せき止めたため。

新積雪分布図 (cm)

2月11日



2月25日 比良山なだれ

23日から25日にかけて気圧配置は強い冬型となって、北部・西部を中心に雪が降ったり止んだりし、特に西部山間部で降雪量が多くなった。

なだれは25日14時45分頃比良山系堂満岳で表層なだれが発生、6人が巻き込まれて生き埋めとなった。（なだれの現場は積雪3～5mで40度近い急傾斜の岩場）約5分後に登山者2人が通りかかり、これを発見遭難者のうち4人を救助したが、3人は重傷、1人無事、2人は後日（3月2日）遺体となって発見された。

〔事故対策〕

25日、志賀町山岳遭難対策協議会が消防団員など約50人で遭難救助隊を編成、捜索に当たったが、みつからなかった。

翌26日は捜索隊を100人に増員、早朝から捜索に当たったが、発見されなかった。27日も引き続き約50人で続けられたが確認できず、捜索はこの日で打ち切られた。

1月～2月 雪の被害状況

本年の雪は西日本および関東地方にかなりの雪をもたらし、多大の被害を出しているが、本県は幸いにも湖南地方に積雪量が少なかったため、園芸作物および裏作におよぼす損害はなかったが、立木その他に若干の被害を受けた。

特に本年は、例年になかったなだれによる人的家屋被害が発生し、これらの概況は次のとおりである。

被害額 444,955冊

内訳

家屋関係 2,300冊

公共建物関係 14,085冊

林業関係 428,570冊

被害内容

(1) 人的被害

死亡者 5人 (伊吹山 3人, 比良山 2人)

重傷者 4人 (伊吹山 1人, 比良山 3人)

軽傷者 3人 (中河内 3人)

(2) 家屋被害

全壊(非住家) 6棟 (伊吹山2, 朽木村4)

半壊(住家) 1棟 (中河内)

床上浸水(") 4戸 (")

床下浸水 住家 6戸 13戸 (")

非住家7棟

2,300冊

(3) 公共建物被害

全壊(学校体育館) 1棟 9,960冊

一部損壊(学校) 3校 4,125冊

(4) 山林被害

A. 造林地被害(立木折損, 立木割れ)

被害区域面積 3,805ha } 427,500冊

被害材積 1,750ha }

B. 炭がま施設被害

全壊 3基 } 1,070冊

半壊 48基 }

(5) 交通不能路線(昭和43年2月末現在)

麻生古屋梅ノ木線 能家～小入谷～平良 2月2日から

朽木小浜線	木地山～県境	2月 2日から
武生木之本線	椿坂～県境	2月29日から
中河内木之本線	中河内～菅並	12月16日から
岐阜揖斐川木之本線	金居原～県境	1月16日から
本巣山東線	曲谷～甲津原	1月 9日から

昭和44年(1969年)

1月の大雪

昭和43年末には大陸に1080mbをこす優勢な高気圧があり、オホーツク海には982mbまで深まった低気圧があり、日本付近は典型的な冬型の気圧配置になり、1月3日以後10日間にわたって連日きびしい寒波が大陸から押しよせた。

このため本県でも3回にわたって大雪に見舞われた。

○ 1月3日～4日の大雪

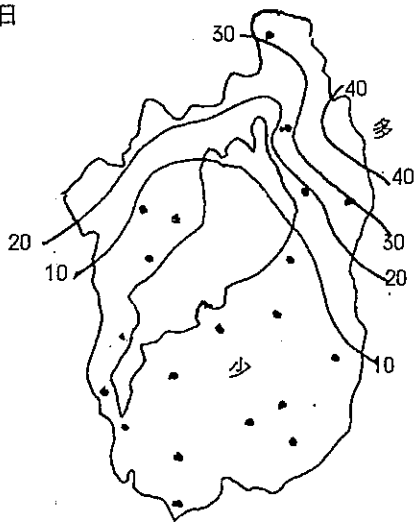
2日佐渡沖に小低気圧が発生し、北陸地方に大雪をもたらし、北陸地方には初の大雪警報が出され、高田では24時間に125cmの積雪があり、国鉄のダイヤは大混乱となった。

本県では3日夜から雪が降り出し伊香山間部で120cm、平地木之本町、西浅井村などでは25～40cmの積雪となり、余呉村を中心に国鉄バスの運休が相次ぎ、新幹線では除雪車を出動し、列車ダイヤは大きく乱れた。

また、3日朝の冷え込みが強く-5℃を下回った所も多く、大津付近では水道管の破裂した所も多かった。

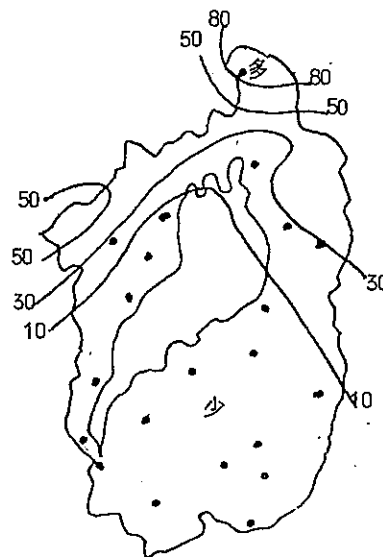
新積雪分布図 (cm)

1月3日



積雪分布図 (cm)

1月4日

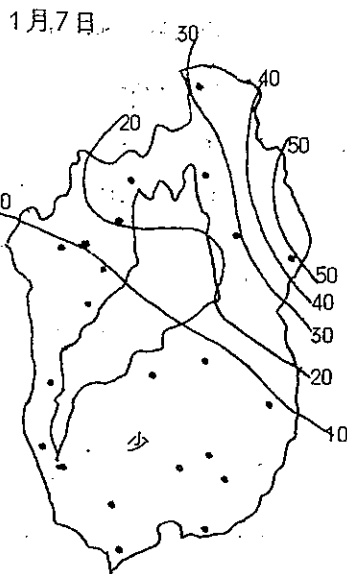


○ 1月7日～9日の大雪

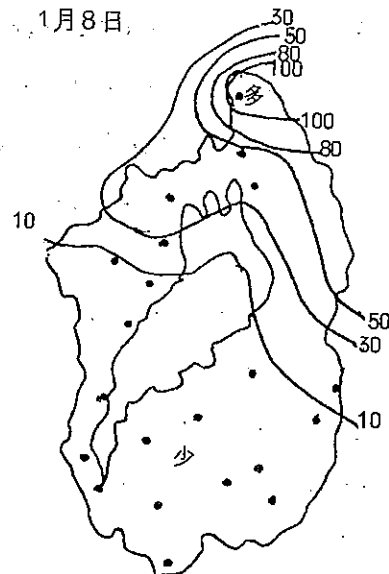
日本付近は冬型気圧配置が強まり（5,500mの上空で-42℃の寒気が日本海に南下）本県では7日夜から雪が降り出し、9日まで降ったり止んだりした。

この雪は伊吹山系付近で50cmぐらい、彦根以北では20～40cmの積雪で国道8号、21号、161号線などで路面が凍結、一部バスの運休などがあった。

新積雪分布図 (cm)



積雪分布図 (cm)

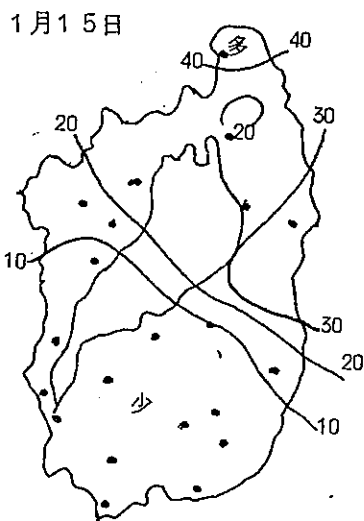


○ 1月15日～16日の大雪

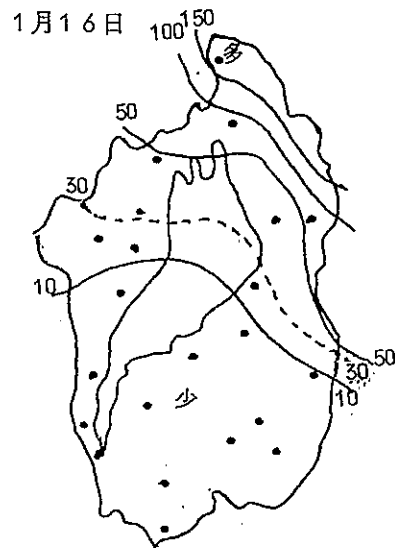
一時的に崩れた冬型気圧配置は再び強まり、本県湖北地方では15日未明から吹雪となり、終日降り続き、夕方までに長浜、米原、木之本などで20～30cm、山間部余呉村中河内、木本町金居原などで150～170cmの積雪があった。

国鉄・私鉄バスダイヤは大幅に乱れた。

新積雪分布図 (cm)



積雪分布図 (cm)



積 雪 (9時・cm)

観 測 所	1月3日	1月4日	1月7日	1月8日	1月9日	1月15日	1月16日
彦 根	—	5	—	22	5	1	26
木 之 本	0	27	8	32	36	25	45
今 津	—	8	—	30	16	9	32
中 之 郷	14	16	16	40	47	44	61
吉 槻	0	40	20	60	73	45	70
市 場	—	12	3	9	3	16	22
安 曇 川	—	2	—	10	3	0	13
柏 原	—	27	9	51	43	16	50

警戒状況

1月	3日	風雪注意報 (北部) 強風 " (南部)	} 発表	22時50分
	4日	"		
	7日	強風注意報	発表	09時00分
	"	風雪注意報 (北部) 強風 " (南部)	} 発表	16時50分
	8日	"		
	15日	強風注意報	発表	06時30分
	"	風雪注意報 (北部) 強風 " (南部)	} 発表	11時40分
	16日	"		

被害状況

公共土木施設被害

河川県工事 1ヶ所 17,290㎡
被害箇所 長浜市 : 琵琶湖

2月の大雪

○ 2月5日～6日の風雪

3日台湾の北方海上に低気圧が発生し、日本の南岸を東進、6日には、オホーツク海に進み960mbに発達した。この間5日～6日にかけて海や陸に多大の事故をひき起し、遭難した船舶10隻、航空機1機、死者、行方不明84人に達した。

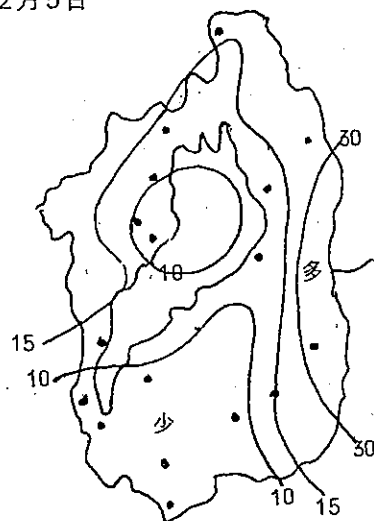
本県でも全般に風雪が強まり、北部で10～30cmの積雪があり、各交通機関が乱れ、積雪と凍結でスリップ

積雪 (9時・cm)

観測所	2月6日	2月7日
彦根	11	16
木之本	18	28
今津	10	12
政所	35	48
中之郷	16	35
吉槻	25	28
市場	15	19
北小松	15	12
柏原	30	36

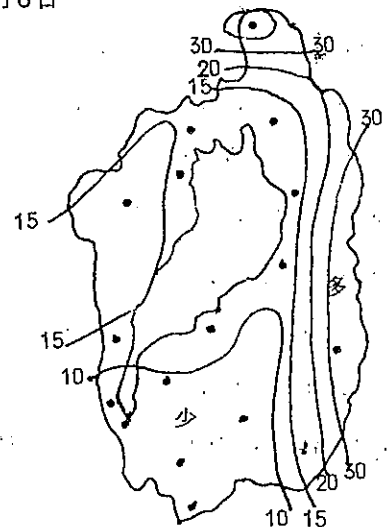
新積雪分布図 (cm)

2月5日



積雪分布図 (cm)

2月6日



事故が続出，山間部では雪のため臨時休校もでた。

彦根 最大風速 NW 14.7 m/s 5日14時50分

最大瞬間風速 NNW 24.9 m/s 5日14時38分

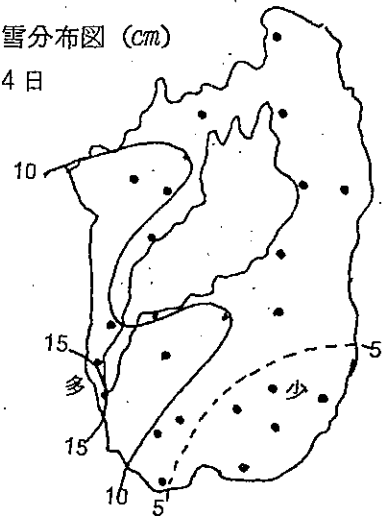
警戒状況

2月5日 風雪注意報発表 10時50分

6日 // 解除 21時30分

新積雪分布図 (cm)

3月4日



3月の雪

○ 3月4日の雪

3日九州南西海上に発生した低気圧が，4日には2つ玉低気圧となつて日本近海を北東進した。この低気圧に向つて三陸沖にあった冷たい高気圧から寒気が吹き込み雨が雪に変わり京阪神に10cm内外，東海，関東地方にかけても10～20cm山間部で30cm内外の降雪があり，東京地方には大雪警報が発令され，各交通機関は大きく混乱した。

この雪は県南部大津付近で10～15cmの降雪があり，市内でスリップ事故が続出した。

警戒状況

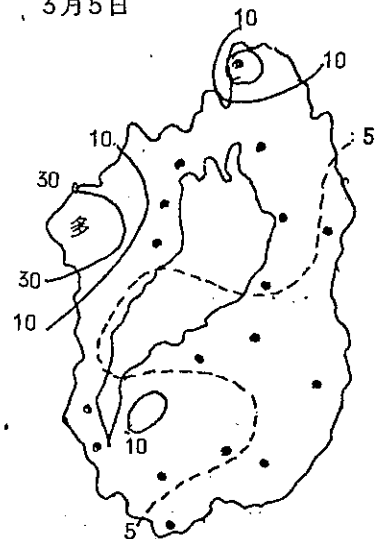
3月4日 風雪注意報発表 07時30分

// // 更新 16時40分

5日 // 解除 13時30分

積雪分布図 (cm)

3月5日



○ 3月12日～13日の風雪

11日9時，台湾北東海上に低気圧が発生し，発達しながら北東進した。この頃大陸の高気圧が北日本に張り出し日本の南海上には前線が停滞しており，低気圧の日本接近とともに前線の活動が活発となった。低気圧は発達しながら東北東に進み12日3時には四国南方洋上に進み994mbを示し，なお発達をつづけ毎時70kmぐらいの速さで房総沖を北東進した。この低気圧の東進により四国，関東，東北地方では風雪となり，交通機関その他に大きな被害があった。この雪は関東地方や四国北部で3月としては記録的な大雪となり東京では3月として気象庁開設以来の最深積雪30cmを記録し，国電，私鉄が数時間にわたって全面休止となる等大きな被害があった。

彦根地方では，11日夜半すぎから降り出した雨は12日午後には雪を交え，13日朝には全般に雪となり鈴鹿山系で10～20cmの積雪となった。

彦根 平均最大風速 NW 12.0 m/s 13日 02時10分

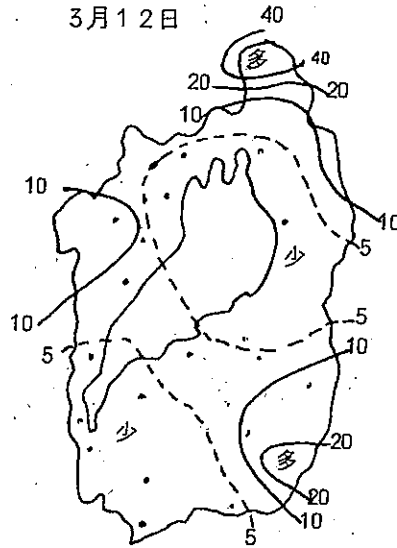
最大瞬間風速 NW 18.1 m/s 13日 02時09分

本県でも交通機関は、一時的にかなりの支障をきたし、湖西の学校では臨時休校もでた。

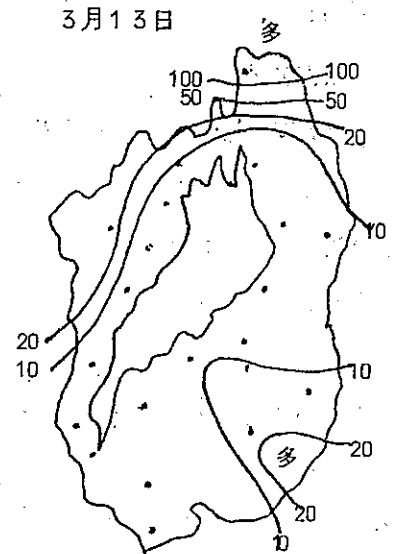
積雪 (9時・cm)

観測所	3月4日	3月13日
彦根	9	—
木之本	11	2
今津	12	3
大津	15	0
多羅尾	5	0
水口	4	4
八幡	10	9
政所	5	13
中之郷	12	7
吉槻	10	10
市場	29	29
北小松	2	6
堅田	13	4
土山	1	23
治田	12	3
日野	3	18
愛知川	5	3
瀬田川	8	0
安曇川	11	3
油日	1	2
信楽	7	0
柏原	8	3

新積雪分布図 (cm)



積雪分布図 (cm)



警戒状況

3月12日 強風注意報発表 07時30分
 " 風雪注意報 " 17時00分
 13日 " 解除 14時00分

5月7日の晩霜

5月6日顕著な寒冷前線が日本を通過した後、強い寒気が流入し、彦根では終日平均7~8 m/s (平均最大風速12.5 m/s)の北西の風が吹き続いたが、22時頃には弱まった。7日早朝、日本は高気圧におおわれてかなり冷えこみ、晩霜があった。特に本県南部地帯は気温が下り、茶の新芽が1~2cmぐらいに伸びて一番茶の摘採期

に入っていたため、甚大な霜害が発生した。

被害のあった地区は、甲賀郡土山町、信楽町、水口町、甲南町、愛知郡愛東町(鯉江・曾根・中戸・妹の各部落)などである。

当日の気象及び霜害状況

○ 甲賀郡信楽町朝宮地区

6日午前中は雨が降り、風もかなり強かった。午後は曇から次第に晴となり、風も次第に弱まった。気温は16時12℃ぐらい、夜半頃から急に下り、7日2時頃には氷が張っており、朝6時の気温は

-4℃、茶畑では-4~-6℃ぐらいだったと思われる。氷の厚さは早朝5mmぐらいであった。

朝宮地区の茶園面積は150ha、年間売上げ1億8,000万円で標高300~400mの丘陵地一帯に栽培されている茶は、全面的に被害を被り、3日後の10日に実地踏査した時は茶の新芽が黒く焦げたようになっており、手で触るとポロポロとくだけた。また、いたどり、わらびなどの植物も黒く焦げて折れ曲り、山つつじ、柿の新芽、或は4~5mもある八重桜の葉まで霜害を受けて変色し縮んでいた。

○ 愛知郡愛東村鯉江、妹、中戸、曾根部落の茶は面積20haで、朝宮地区ほどではないが、妹部落が特に被害が大きく大半が霜害を受けている。

このような霜害は過去40年来記憶にないと現地の農夫は語っており、またこの霜害の後は、赤タニが発生して、次に出る芽を食い荒すので、一層被害が大きくなるということである。

被害の状況(茶)

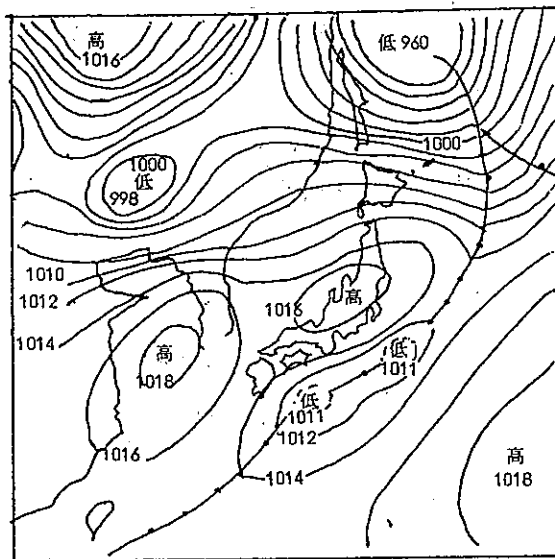
茶は5月に入り、一番茶の摘採に入るが降霜による被害をうけ易い。今後一番茶の製造による県下の生葉、生産量は約2,800トンであって、これより製造される一番茶は650

トンが見込まれている。従って生産地における奥地の生葉の被害は甚大で被害は次のとおりである。

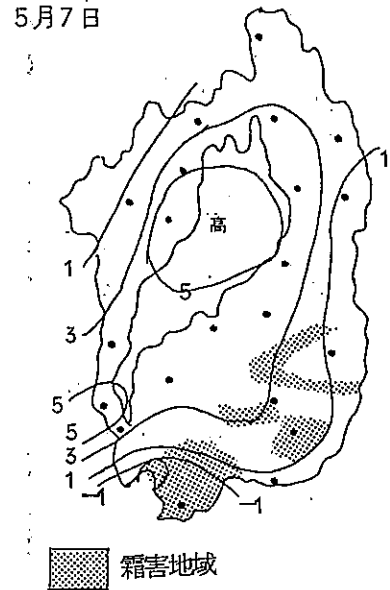
被害表

被害市町村名	被害面積(ha)	減収量(t)	被害額(円)
土山町	200	560	84,000
信楽町	154.4	297.9	65,537.5
大津市	19.2	92.64	16,296
水口町	18	70	7,000
愛東村	11.7	26.12	3,395.8
甲南町	3	4.5	675
計	406.3	1,051.16	176,904.3

晩霜当日の地上天気図(昭44.5.7 3時)



最低気温分布及び霜害地域図 5月7日



昭和45年(1970年)

1月6日の雪

今年初めての寒波の襲来で4日から季節風が吹き出し(最大風速4日13時40分 WNW 12.0m/s 5日には吹雪になり、湖東山沿地方で20~30cm、平地で10cm内外の積雪があった。

このため、名神高速道路で一時閉鎖、新幹線遅延などの事故があった。

警戒状況

1月4日 強風注意報発表 13時30分
 5日 風雪注意報 // 11時50分
 6日 // 解除 08時40分

○ 1月14日の大雪

12日から13日にかけて低気圧が春一番型に東進、発達した後、日本付近は冬型気圧配置に戻り、季節風が吹き（最大風速NW12.7m/s 13日16時50分）3日夜から風雪が強まった。

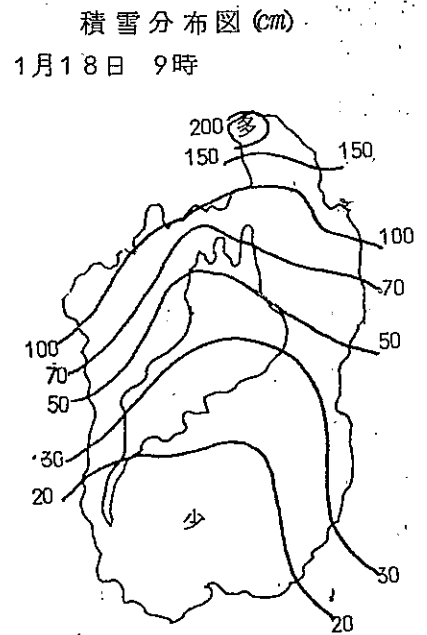
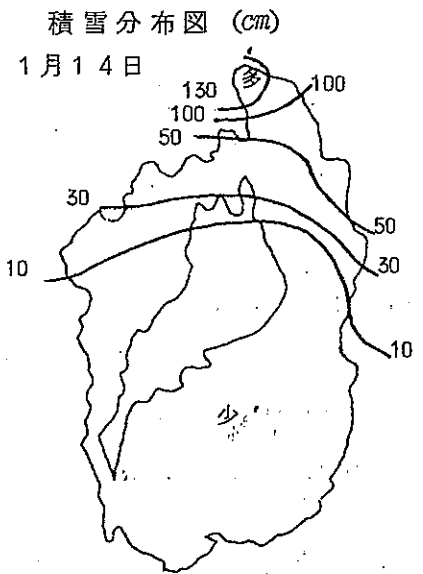
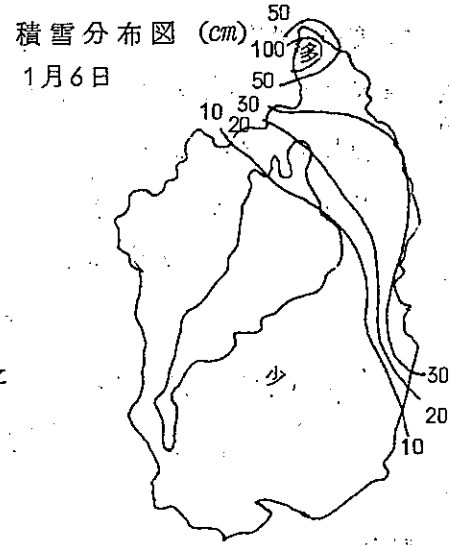
この雪は北部山間地帯で30cmを越す大雪になった。

このため、湖北地方のバスダイヤは大幅に乱れ、名神・新幹線などが遅延した。

○ 1月16日～18日の大雪

積雪（9時・cm）

観測所	1月6日	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	1月18日
彦根	3	0	—	1	15	24
木之本	26	35	25	21	72	75
竹生島	8	5	13	23	35	50
今津	5	10	25	30	40	50
大津	—	—	—	2	0	5
多羅尾	—	—	—	2	4	5
水口	1	—	—	2	2	5
八幡	5	—	—	6	9	18
政所	7	1	0	3	32	43
中之郷	24	15	27	32	80	80
吉槻	35	60	40	40	80	90
市場	8	9	25	51	78	86
北小松	5	5	15	27	35	40
堅田	4	—	0	19	24	25
土山	4	—	—	1	9	14
治田	—	—	—	12	7	8
日野	3	—	—	0	6	18
愛知川	0	—	—	1	14	19
瀬田川	—	—	—	2	0	3
安曇川	4	3	15	20	34	43
油日	0	—	—	1	4	5
信楽	—	—	—	3	5	4
柏原	23	13	4	1	33	55



強い寒波の襲来で、16日未明から降り出した雪は17日も降り続いた。このため18日には県下全域に積雪多く、北部山間部で100～200cm、南部平野部で5～20cmになった。このため各地でスリップ事故が相次いで起きた。

警戒状況

1月15日	風雪注意報（北部）発表	23時10分
16日	風雪注意報発表	10時20分
17日	大雪・強風注意報（北部） 強風注意報（南部）	}発表 10時50分
//	//	

被害状況（1月16日～18日の雪によるもの）

- 県道不通箇所 6路線
- 休校状況

大津市立堅田中学校葛川分校	今津町立今津西小学校
朽木村立朽木小学校	高島町立高島小学校
同 朽木中学校	同 高島中学校

2月9日～10日の大雪

9日から10日にかけて冬型の気圧配置になり、季節風の吹き出しで北部を中心に風雪となり、北部平野部で20cm内外、山間部で30～70cmの降雪があった。

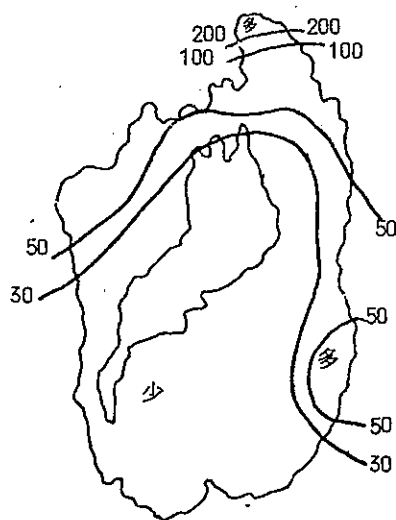
この雪のため、国鉄新幹線、名神高速道路をはじめ各交通機関に若干の支障をきたした。

積雪（9時・cm）

観測所	2月11日	観測所	2月11日
彦根	18	北小松	17
木之本	42	堅田	0
竹生島	5	土山	4
今津	30	治田	0
大津	0	日野	4
多羅尾	1	愛知川	6
水口	3	瀬田川	0
八幡	5	安曇川	17
政所	70	油日	4
中之郷	62	信楽	0
吉槻	55	柏原	34
市場	62		

積雪分布図（cm）

2月11日



3月5日～7日の大雪

積雪 (9時・cm)

3月2日、東支那海に発生した低気圧は、3日から4日にかけて太平洋側をN Eに進み、急速に発達して5日千島方面に去り、952 mb になり、日本付近は冬型気圧配置に逆戻りした。

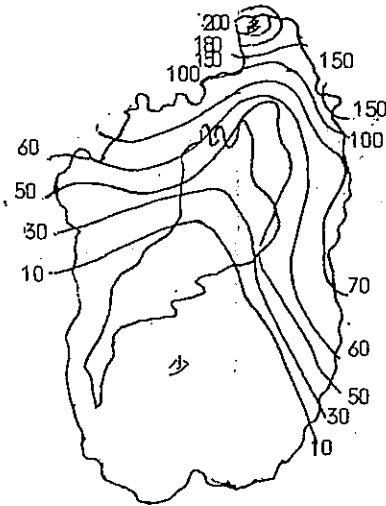
このため4日夜から北部一帯は雪になり、5日、6日は降ったり止んだり、6日夜半すぎから7日早朝まで大雪となり、7日朝9時

現在、湖北、湖東、湖西地方は平地で20～50cm、山間部で70～100cm、彦根で57cmの積雪を観測した。この大雪は、彦根以東の山間部で多雪地帯となり、彦根地方の3月の積雪としては創立以来の最深となった。彦根地方气象台では、7日5時35分大雪警報を発表して警戒した。大雪警報の発表は昭和38年1月豪雪以来であった。

観測所	3月6日	3月7日	3月8日	観測所	3月6日	3月7日	3月8日
彦根	24	57	38	北小松	2	5	7
木之本	40	52	61	堅田	-	-	-
竹生島	26	38	40	土山	0	-	-
今津	38	68	70	治田	-	-	-
大津	-	-	-	日野	0	-	0
多羅尾	2	2	0	愛知川	6	8	9
水口	0	-	-	瀬田川	-	-	-
八幡	-	-	-	安曇川	15	23	45
政所	18	40	65	油日	0	-	-
中之郷	28	36	54	信楽	-	-	-
吉槻	55	65	70	柏原	40	72	62
市場	43	49	74				

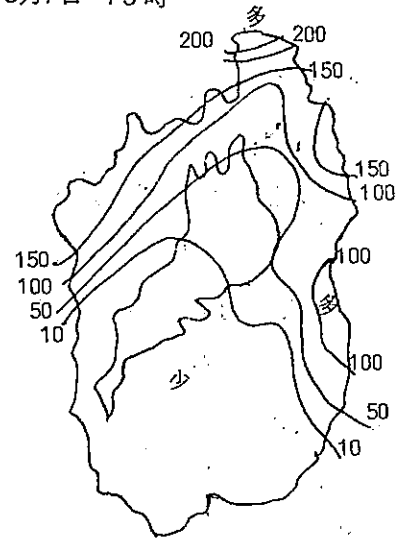
積雪分布図 (cm)

3月7日



積雪分布図 (cm)

3月7日 15時



警戒状況

3月4日	強風注意報発表	13時50分
〃	風雪注意報 (北部)	} 発表 17時25分
〃	強風 〃 (南部)	
5日	風雪注意報発表	09時40分
〃	〃 更新	16時50分
6日	大雪強風注意報 (北部)	} 発表 16時40分
	強風注意報 (南部)	

3月 7日	大雪警報（北部）	}	発表	05時35分
	強風注意報（〃）			
	なだれ 〃（〃）			
	強風注意報（南部）			
〃	大雪・強風・なだれ注意報（北部）	}		18時10分
	強風注意報（南部）			
8日	なだれ注意報（北部）			06時40分
〃	〃		解除	15時10分

被害状況

(1) 道路状況

名神高速道路 黒丸～養老…………チエン着装
 大垣～八日市…………50km/h制限
 国道161号線 北部国境付近(7日)…………通行不能12時間

県道不通箇所

(2) 休校状況

この雪のため、山間部の小中学校および同分校等10校が休校した。なお、休校は次の各校である。

マキノ北小学校、同路原分校、今津西小学校、同椋川分校、多賀小学校芹谷分校、同霊仙分校、多賀中学校、柏原小学校、鳥居本小学校、同武原分校

(3) 交通状況

山間部に路線をもつ交通機関の定期バスは運休または折り返し運転をした。ほか各交通機関の各路線で遅延した。

なお、運休折返し状況は次のとおりである。

国鉄関係

- 運休 東海道本線 上下線 8本
- 北陸本線 7本（急行1本）
- 遅延全般的に1時間以内

路線名	不通区間
麻生古屋梅ノ木線	梅ノ木～市場
大浦沓掛線	山門～国道8号線境
武生木之本線	椿坂～県境
中河内木之本線	菅並～県境
杉本余呉線	上丹生～杉本
岐阜揖斐川木之本線	金居原～県境
本巣山東線	吉槻～県境
久徳米原線	全線
津彦根線	佐目～県境
百済寺甲上岸本線	百済寺～佐目

バス路線

機関名	路線名	運行状況	機関名	路線名	運行状況
近江鉄道	上山田線	運 休	近江鉄道	法楽寺線	野村止
"	東浅井線	"	"	醒ヶ井線	米原止
"	大垣線 (長浜駅発)	高番止	"	多和田線	金屋止
"	吉槻線	上板並止	"	甲良線	多賀止
"	谷口線	高畑止	"	大君ヶ畑線	米原止
"	田根線	木尾止	江若交通	大垣線 (彦根駅発)	保坂止
"	尾上線	南富田止	国鉄バス	保坂線	運 休
"	布勢加田線	加田止	"	椿坂中河内線	"
"	八木浜線	南浜止	"	中之郷線	"

3月の低温

3月はしばしば冬型の気圧配置になり、北部では雪の日が多く（彦根で雪日数19日、積雪日数16日）真冬のような天候が続いた。とくに5日から8日にかけては冬型気圧配置が続き、北部では50～80cmの積雪となり、彦根で7日9時に57cmを観測した。これは3月の積雪としては、彦根地方気象台創立以来の最深であった（前述）。またきびしい寒さが続き、彦根では最低気温0℃以下の日が21日で、月平均気温は2.9℃（平年6.0℃）で、3月としては第1位の低温であった。

3月の日最高気温	7.0℃
日最低気温	-0.5℃
日平均気温	2.9℃

3月の平均気温の最低値（順位）

1 位	2.9℃	1970年
2 位	3.9℃	1936年
3 位	4.0℃	1924年
4 位	4.2℃	1957年
5 位	4.3℃	1947年

11月30日～12月1日の大雪

11月28日から日本付近は冬型気圧配置になり、強い寒波（5000m上空で-42℃）が襲来し、29日夜半すぎから北部では風雪が強まり、30日朝、山間部で30cm、彦根で5cmで彦根の11月の最深を記録した。

翌12月1日は伊吹山系で50～70cm、彦根は20cmで12月1日としては彦根の最深であった。

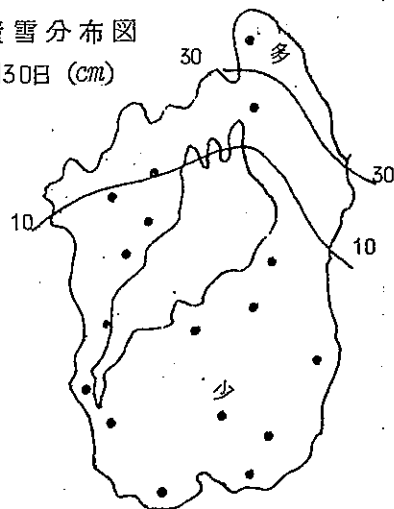
このように初雪から大雪が降ったことは珍らしく、まだ冬期の準備態勢の整っていない各交通機関は、不意打ちの大雪に混乱状態で名神高速では1日午前6時50分から午後3時45分の9時間にわたって全面閉鎖、国鉄東海道本線、新幹線では積雪や架線の故障等の為、タイヤが大きく乱れ、電線着雪による電線の切断、樹木の切損の被害も大きく、野菜値段の高騰、湖北辺地分校で臨時休校もでた。

積 雪 (9時・cm)

観測所	11月30日	12月1日	観測所	11月30日	12月1日
彦根	5	20	北小松	—	—
木之本	9	29	堅田	—	—
竹生島	3	10	土山	—	—
今津	13	18	治田	—	—
大津	—	—	日野	—	—
多羅尾	—	—	愛知川	3	0
水口	—	—	瀬田川	—	—
八幡	—	—	安曇川	—	5
政所	2	25	油日	—	—
中之郷	25	30	信楽	—	—
吉槻	30	75	柏原	13	57
市場	7	21	柳ヶ瀬	30	45

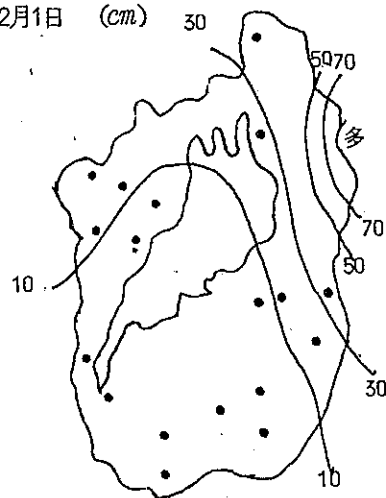
積雪分布図

11月30日 (cm)



積雪分布図

12月1日 (cm)



警戒状況

11月29日	強風注意報発表	10時45分
"	気象情報 "	17時30分
30日	風雪注意報 (北部)	} 発表
	強風 " (南部)	
12月1日	"	解除
2日	強風注意報発表	17時00分
4日	"	解除

被害状況

(1) 道路状況 (1日16時現在)

路線名	規制区間	規制内容
国道 303号線	金居原岐阜県境間	除雪中
306号線	大君ヶ畑佐目線	〃
県道 中河内木之本線	中河内木之本間	〃
〃	中河内菅並間	〃
〃	中河内椿坂間	〃
名神 下り	養老S.A. ~多賀S.A.	チェーン着装
上り	米原B.S.T. ~関ヶ原I.C.	50km制限

(2) 定期バス運行状況

交通機関名	路線名	規制区間	運行状況
国鉄	敦賀線	柳ヶ瀬~刀根	運休
	中河内線	椿坂~中河内	〃
近江鉄道	醒ヶ井線	米原~多和田	〃
	吉槻線	全線	〃
	田根線	〃	〃
	東浅井線	〃	〃
	上山田線	〃	〃

(3) 休校状況

丹生小学校 小原分校
 同 尾羽梨分校
 多賀小学校 芹谷分校
 同 霊仙分校

昭和46年(1971年)

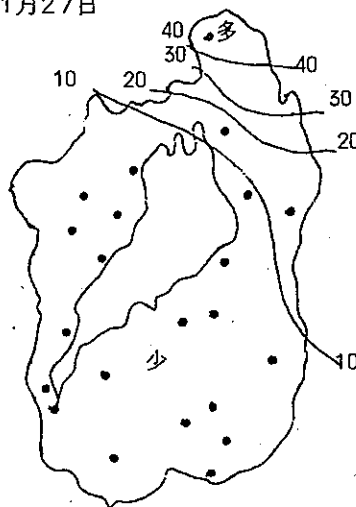
1月27日~28日の大雪

26日から日本付近は冬型気圧配置になり、26日早朝から雪が降ったり止んだり、28日朝北部で20~50cmの積雪になった。

このため、木之本土木事務所では除雪車6台を出動して道路の除雪に当たった。

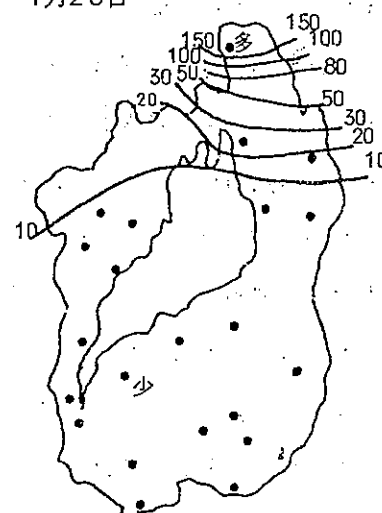
新積雪分布図 (cm)

1月27日



積雪分布図 (cm)

1月28日



警戒状況

1月26日	強風注意報発表	06時40分
"	" 解除	16時40分
28日	雪情報発表	09時40分

1月30日～31日の大雪

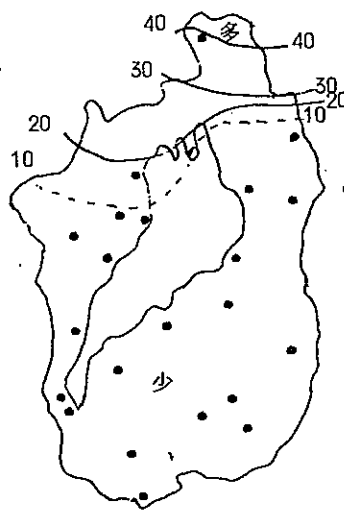
29日に一時的ゆるんだ冬型気圧配置は30日から再び強まり、湖北地方では、今冬3度目の大雪に見舞われ、30日夕刻から降り出した雪は、31日朝、北部で30～100cmの積雪があった。このためバスタイヤが乱れた。

積雪 (9時・cm)

観測所	1月28日	1月29日	1月30日	1月31日
彦根	—	0	—	2
木之本	20	11	7	16
大津	—	—	—	—
政所	10	8	6	5
中之郷	26	20	15	45
吉槻	18	20	14	20
市場	9	40	30	38
北小松	—	10	3	11
安曇川	0	12	4	15
柳ヶ瀬	55	50	46	70

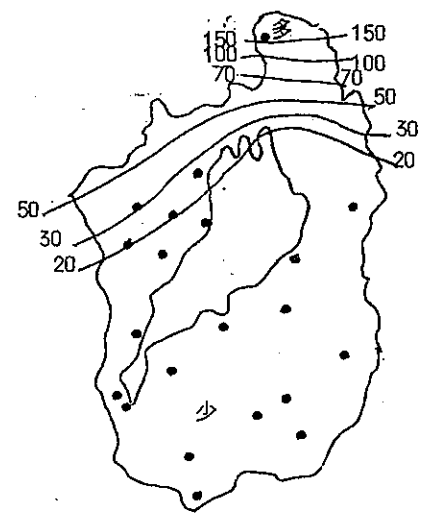
積雪分布図 (cm)

1月30日



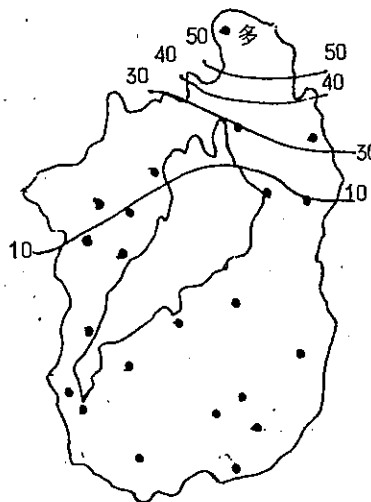
積雪分布図 (cm)

1月31日



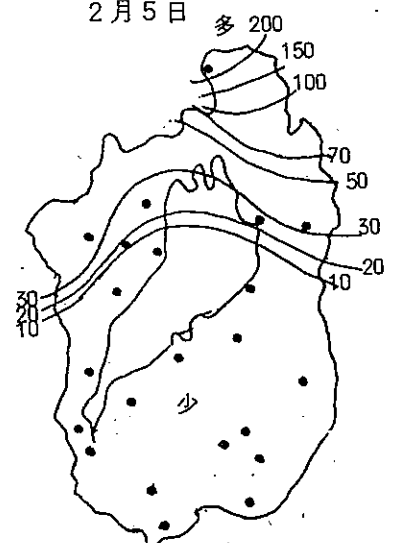
新積雪分布図 (cm)

2月4日 (cm)



積雪分布図 (cm)

2月5日



2月4日～5日の大雪

1月下旬からの冬型気圧配置は依然として続き、また日本海に小低気圧が発生する傾向が続き、山陰地方では降雪が続いていた。3日夜には山陰地方に大雪警報が発表され、松江市などで100cmの大雪になった。

県北部では4日夜から5日にかけて大雪になり、湖北奥地は200cmを越し、交通が杜絶して孤立した。

この雪で、名神高速道路は彦根～関ヶ原間を速度制限し、国道8号線ではスリップ事故が相次いで起こり、国鉄バスも遅延、運転中止などがでた。

警戒状況

2月 4日	大雪注意報（北部）発表	16時30分
5日	雪情報	// 16時40分
6日	大雪注意報（北部）解除	15時20分

2月9日～10日の大雪

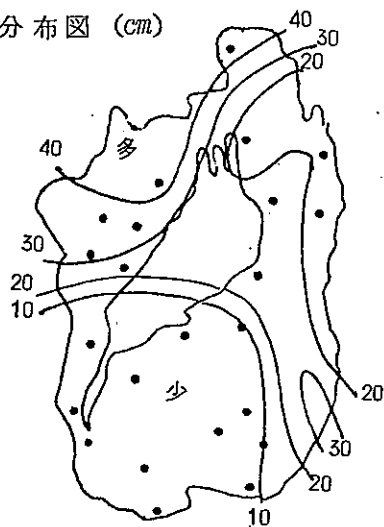
7日に一時的におさまった降雪も強い寒波の襲来で、9日朝から再び雪が降り出し、北部を中心に大雪となった。この降雪の分布は北西山岳地帯から南東に伸び、鈴鹿山系で新積雪20～30cmの大雪になった。積雪は、10日朝、北部で30～100cm、中河内では200cmを越した。

積雪（9時・cm）

観測所	2月5日	6日	9日	10日	観測所	2月5日	6日	9日	10日
彦根	2	5	2	26	北小松	0	10	10	30
木之本	51	52	33	39	堅田	0	5	0	0
竹生島	20	15	1	30	土山	0	14	0	10
今津	21	16	22	67	治田	2	3	0	0
大津	0	4	0	0	日野	0	14	0	5
多羅尾	0	5	0	—	愛知川	0	8	0	5
水口	0	6	—	1	瀬田川	—	3	0	0
八幡	—	9	—	3	安曇川	2	6	16	47
政所	3	30	20	50	油日	1	5	0	4
中之郷	72	72	55	72	信楽	0	5	—	—
吉槻	50	60	40	60	柏原	28	25	8	25
市場	34	41	48	85	柳ヶ瀬	115	125	105	125

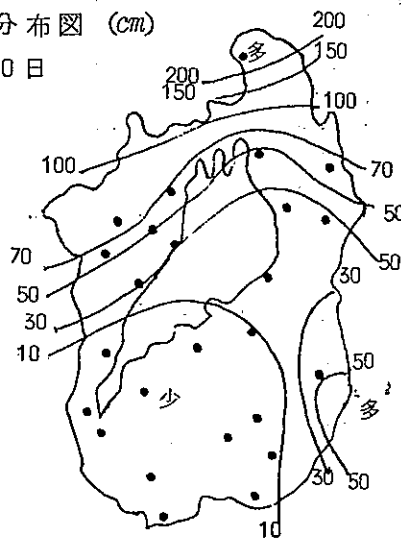
新積雪分布図 (cm)

2月9日



積雪分布図 (cm)

2月10日



警戒状況

2月 9日	大雪注意報(北部)発表	09時10分
"	" 解除	22時40分
10日	" 発表	11時10分
"	" 解除	16時50分

3月6日～8日の大雪

3月2日から3日にかけて、発達した低気圧が日本付近をとおる、その後、大陸から優勢な高気圧が、日本に張り出し、冬型気圧配置に戻り、強い寒気が日本付近に流入した。

このため本県では4日ごろから雪が降り出し、彦根で6日10cm、7日27cm、8日43cmと今冬の最深を記録し、政所70cm、湖西今津47cmと、本県の北西部から南東に伸びる地域が多雪地帯となった。

この雪は、しばらく暖冬が続き春の兆しがみえ始めた頃の大雪だっただけに被害も多かった。

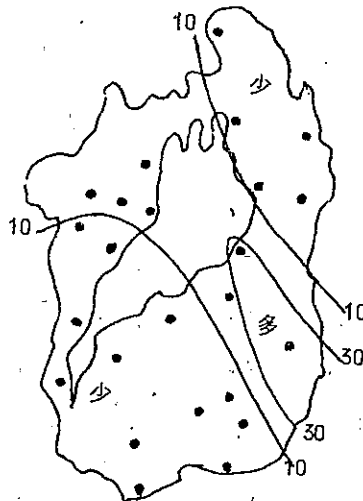
また彦根43cmは、3月の積雪としては第2位である。

積雪(9時・cm)

観測所	7日	8日
彦根	27	43
木之本	5	9
竹生島	14	16
今津	22	47
政所	45	70
中之郷	30	30
吉槻	40	45
市場	6	42
北小松	5	13
愛知川	4	12
安曇川	17	46
柏原	14	27
柳ヶ瀬	27	30

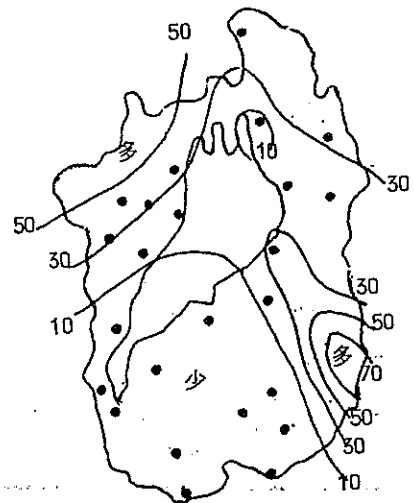
新積雪分布図(cm)

3月7日



積雪分布図(cm)

3月8日



警戒状況

3月 6日	大雪注意報(北部)発表	11時40分
"	風雪注意報(北部) "	17時00分
8日	" 更新	06時10分
9日	" 解除	06時30分

被害状況

名神高速道路では50cmの積雪を記録、今冬最高で除雪車、薬剤散布車など18台を運転し、路線確保に当たった。

またこの雪の影響で7日朝から8日朝までに、彦根インター付近を中心に23件のスリップ事故が続発し、8人が軽傷を負った。

また、湖西、湖東山間部の学校で臨時休校6校、その他始業時間の繰り下げが相次いだ。

(1) 道路状況

県道	麻生古屋梅木線	……能家・小入谷間	} 通行不能
	武生木之本線	……椿坂県境間	
	中河内木之本線	……菅原・中河内間	
国道	303号線	……金居原県境間	

(2) 公共土木施設

河川 4箇所 被害額 80,500円

主な被害箇所 彦根市八坂、三浦尾、湖岸欠損

自衛隊出動状況（3月11日）

1. 概要

3日から7日にかけて降り続いた雪のため、伊香郡余呉町中河内では3m余りの積雪で通行不可能な状態にあった。

このため、中河内小学校（山本修校長43人）は毎年冬季期間通学不可能な地区の児童（15人）が寄宿生活を送っているが、その内の1人4年高村美智子（10才）が10日から39度の高熱が続き、寮母が売薬のカゼ薬を飲ませていたが、熱は上がったり下がったり、そのうえノドや耳の痛みを訴えた。同地区は無医地区であるため、校長は「もしものことがあっては」と、11日午後零時40分頃木之本署に窮状を訴えた。

木之本署は県消防防災課に自衛隊の要請をして来た。県はただちに陸上自衛隊今津駐とん地にヘリコプターの出動を要請したが、伊香郡地方は吹雪で視界が悪く飛べないので、同駐とん地は岡田芳朗一等陸尉以下9名（うち2名の救護隊）が雪上車を出動し、今津警察署のパトロールカーの先導で余呉町椿坂までトラックで雪上車を運び、そこで町宮中之郷診療所長および木之本警察署次長を同乗させて、午後4時40分約8km積雪2.5mの小学校に向けて救助に出発した。

しかし、途中数ヶ所で雪崩が発生しており、隊員が除雪しながら3時間余りを要して19時30分小学校に着いた。

診療所長の診察の結果は軽い肺炎と判明した。しかし入院の必要はなく同医師の手当をうけたのみですんだ。

2. 余呉町地方の状況（13時現在）

降雪中で視界100メートル

積雪 2.5メートル

椿坂以北 通行不能

3. 隊員および装備

指揮官 岡田一等陸尉ほか9名(うち救護隊2名)

装 備	雪 上 車	1台	携 帯 無 線	一式
	4 tトラック	1台	救護具(担架等)	一式
	1/4 t ジョウ	2台	スキー, 雪ソリ等	一式

5月8日～9日 晩霜

北からの冷たい気流の南下にともない, 東部山間部では気温がさがり, 晩霜があり, 茶に被害がでた。

各地の最低気温(°C)

観測所名	9日	観測所名	9日	観測所名	9日
彦 根	5.0	多 羅 尾	-1.6	政 所	2.0
土 山	1.8	油 日	1.6	信 楽	-0.7
大 津	5.2	吉 槻	0.4	市 場	2.8

警戒状況

5月 8日 霜注意報発表 16時20分
 9日 " 解除 06時30分

被害状況 茶

市町村名	被害面積	被害額(円)
水口町	28.4(ha)	1,704
土山町	167	13,620
甲賀町	40.5	2,184
甲南町	31.8	1,622
信楽町	140.7	17,268
計	408.4	36,398

昭和47年(1972年)

5月3日 晩霜

低気圧が日本海南部を北東へ移動した。2日には移動性高気圧におおわれ, 3日朝にかけて東部山間部では気温が下り晩霜があった。このため茶に被害が出た。

警戒状況

5月2日 霜注意報発表 16時00分
 3日 " 解除 06時30分

各地の最低気温(°C)

観測所	3日	観測所	3日
彦 根	4.5	政 所	0.5
大 津	6.5	中之郷	1.0
多羅尾	-1.2	吉 槻	0.6
水 口	4.0	油 日	1.8
土 山	1.7	市 場	0.1

被害状況

茶 被害額 104,745冊

市町村名	被害面積(ha)	被害額(冊)
水口町	1.0	425
土山町	89.0	5,340
信楽町	138.0	83,500
日野町	12.0	6,480
永源寺町	22.8	9,000

積雪(9時・cm)

観測所	1月12日	13日	観測所	1月12日	13日
彦根	0	-	市場	25	26
木ノ本	1	0	北小松	10	3
竹生島	0	-	堅田	17	10
今津	15	5	土山	14	3
大津	10	0	治田	11	0
多羅尾	8	0	日野	22	12
水口	13	4	瀬田川	7	0
八幡	8	0	安曇川	7	2
政所	19	8	油日	15	6
中之郷	3	0	柏原	-	-
吉槻	4	3	柳ヶ瀬	5	2

2月7日~10日の大雪

大陸からこの冬一番の寒気が南下、7日から日本列島は暖冬から一変して、本格的な冬型の気圧配置となった。当県でも7日から雪が降り始め、8日は県下全般に雪をみた。県北部では、10日まで断続的に雪が降り続いた。山間部では150cmの大雪となった。この雪のため、国道(8号、161号)、名神高速道路は、一時通行止め、国鉄タイヤの乱れ、一部の学校は臨時休校などの被害がでた。

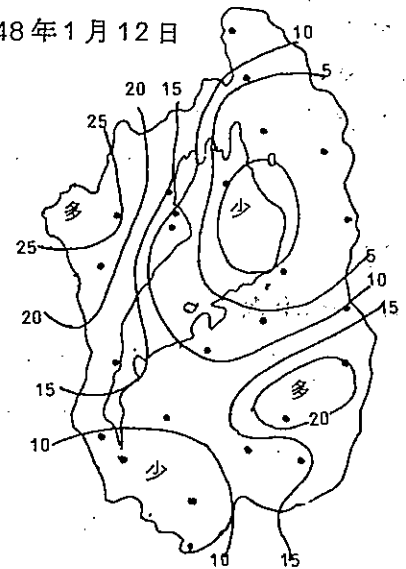
昭和48年(1973年)

1月12日~13日の雪

低気圧が日本海から東北地方をとおり三陸沖にぬけたところから弱い冬型となり、久しぶりに季節風が吹き出し、12日~13日にかけて中部山岳地帯は大雪となった。本県の湖西湖南地方ではかなりの雪が降り、大津市内で10cmの積雪をみた。このため国道1号線名神高速道路、新幹線など交通の混乱・臨時休校、停電事故などが出た。

積雪分布図(cm)

昭和48年1月12日

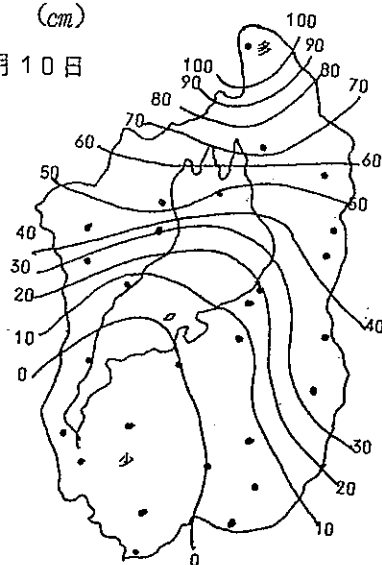


積 雪 (9時・cm)

観測所	2月7日	8日	9日	10日
彦 根	2	16	29	16
木之本	4	10	60	74
竹生島	5	25	35	44
今 津	5	25	59	57
八 幡	-	16	8	0
政 所	1	25	32	35
中之郷	3	13	70	80
吉 槻	9	15	46	57
市 場	4	30	50	48
北小松	3	25	10	8
土 山	-	13	3	1
安曇川	4	28	27	25
柏 原	5	16	32	42
柳ヶ瀬	5	20	90	100

積雪分布図 (cm)

昭和48年2月10日



警戒状況

2月 7日	風雪注意報発表	09時00分
8日	大雪注意報 //	13時40分
10日	// 解除	09時30分

被害状況

(1) 道路状況

2月 8日	長浜本巣山東線・高山長浜東野虎姫線 木之本浅井関ヶ原線 国道303号線(京都~大原, 小荒路~マキノ~蛭口) 武生木之本線(中河内~木之本)	} 9時までに除雪	
2月 9日	木之本303号線 9時までに除雪 中河内木之本線 9時30分 // 武生木之本線 10時 //		
2月10日	国道303号線(水坂峠~県境) 本巣山東線 (吉 槻~県境)		} 通行止

(2) 農林被害

被害箇所	被害対象	被害程度	被害面積	被害金額(円)	備考
マキノ町新保	ハウス(バラ栽培)	一部倒壊	56 m ²	170	倒壊1棟
"	"	全 壊	460	1,137	1棟
計			516	1,307	

2月24日～25日の雪

積雪(9時・cm)

北海道北部の低気圧が24日カムチャツカ方面に去った後、大陸から強い寒気をともなった高気圧が張り出し、冬に逆戻り。今冬一番の冷え込みとなり、彦根で-3.4℃を記録、湖北の山間部を中心に各地で積雪をみた。このため名神高速道路の二日続きの閉鎖、国道(8号, 21号)の混乱、国鉄ダイヤも乱れた。

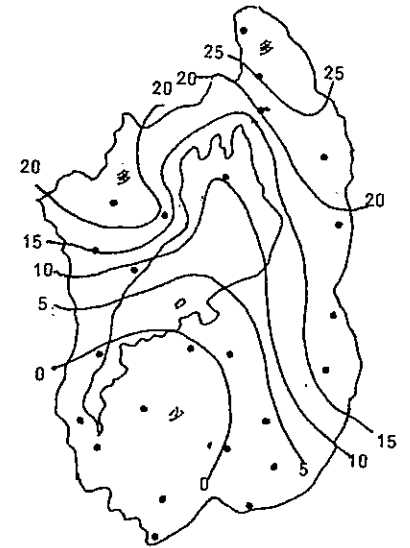
警戒状況

2月24日 風雪注意報発表
10時10分
25日 // 解除
11時00分

観測所	2月25日
彦根	11
木之本	15
竹生島	10
今津	15
政所	17
中之郷	15
吉槻	22
市場	24
北小松	9
安曇川	20
柏原	18
柳ヶ瀬	28

積雪分布図 (cm)

昭和48年2月25日



3月5日～6日の雪

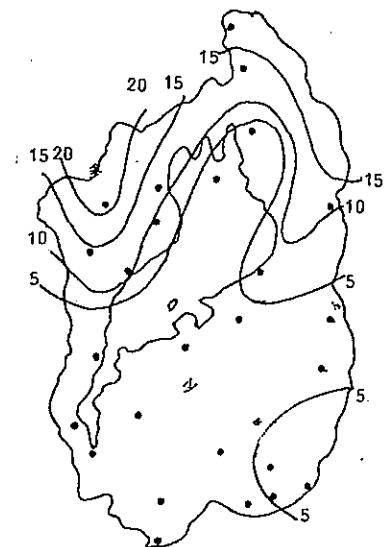
5日は大陸から真冬並みの寒気がおしよせ、季節風が吹き荒れた。県内全域は春雪が舞い名神高速道路ではスリップ事故が続出し、交通規制が行われた。

積雪(9時・cm)

観測所	3月6日	観測所	3月6日
彦根	8	市場	21
木之本	3	北小松	12
竹生島	3	堅田	1
今津	13	土山	6
大津	1	治田	1
多羅尾	1	日野	4
水口	0	瀬田川	1
八幡	1	安曇川	9
政所	3	油日	2
中之郷	10	柏原	8
吉槻	15	柳ヶ瀬	13

積雪分布図 (cm)

昭和48年3月6日



警戒状況

3月5日 風雪注意報発表 11時45分
6日 // 解除 16時00分

4月28日の晩霜

各地の最低気温(℃)

移動性高気圧におおわれ27日夜から冷えこみ、
東部山間部では霜がおり、茶に被害がでた。

観測所	28日	観測所	28日
彦根	4.9	政所	0.5
木之本	3.5	吉槻	1.5
多羅尾	-1.0	市場	0.1
土山	1.8	油日	1.6

警戒状況

4月27日 霜注意報発表 16時00分
28日 // 解除 06時20分

被害状況

農産物被害(茶)

市町村	被害面積(ha)	被害面積率(%)	被害金額(円)	減収率(%)
水口町	8.5	9.9	4,876	5.1
土山町	200.0	50.6	13,013	3.8
甲賀町	20.0	22.7	8,050	7.1
甲南町	15.0	26.3	5,635	10.9
信楽町	150.0	68.8	37,500	12.2
愛東町	4.6	19.2	1,380	6.9
合計	398.1	44.7	70,454	7.5

5月12日の晩霜

各地の最低気温(℃)

移動性高気圧におおわれ、11日の夜から県下
各地で冷え込み、東部山間部では霜がおり、茶に
被害が出た。

観測所	12日	観測所	12日
彦根	6.2	政所	2.5
木之本	5.0	市場	2.4
今津	6.3	土山	3.1
大津	7.6	治田	5.5
多羅尾	1.0	日野	4.8
水口	5.5	油日	2.4

警戒状況

5月11日 霜注意報発表 16時00分
12日 // 解除 06時10分

被害状況

農産物被害(茶)

市町村名	被害面積(ha)	被害面積率(%)	被害金額(円)	減収率(%)
水口町	3.0	3.1	1,725	1.8
土山町	100.0	24.4	36,800	10.6
信楽町	175.0	80.3	73,200	23.8
大津市	20.0	33.9	3,542	4.3
合計	298.0	38.1	115,267	13.9

5月24日の晩霜

移動性高気圧におおわれ、23日夜から県下各地で冷え込み、特に東部山間部では霜がおり、茶に被害がでた。

警戒状況

5月23日 霜注意報発表 16時40分

24日 " 解除 06時30分

被害状況

農産物被害(茶)

市町村名	被害面積 (ha)	被害面積率 (%)	被害金額 (円)	減収率 (%)
土山町	35.0	8.5	4,830	1.4
信楽町	128.0	58.7	28,760	9.3
大津市	11.0	18.6	1,932	2.4
合計	174	25.3	35,522	4.8

各地の最低気温(℃)

観測所	24日	観測所	24日
彦根	10.1	土山	3.9
木之本	6.5	日野	4.8
今津	7.4	油日	3.4
多羅尾	-0.9	瀬田川	9.8
水口	5.9	市場	5.0
政所	2.0		

11月18日～20日の雪

低気圧がオホーツク海で発達し、大陸から高気圧が日本に張り出し、西高東低の冬型気圧配置になり、日本海側の各地は初雪を観測した。

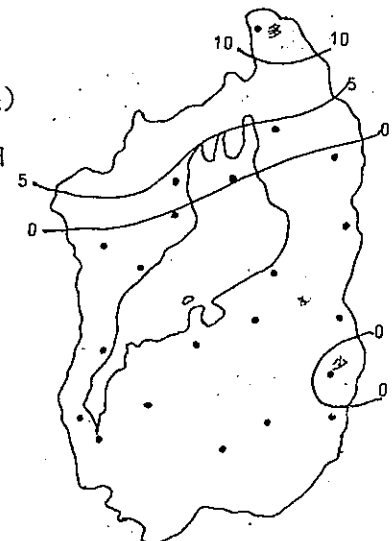
当県も、18日湖北地方の山間部で初雪をみた。19日は彦根でもみぞれまじりの初雪が降り、平年より18日、前年より6日早かった。湖北、湖西地方の山間部で30cmの積雪を記録した。この雪のため国道8号線ではスリップ事故が続出し、交通停滞をおこした。

積雪(9時・cm)

観測所	11月20日	観測所	11月20日
彦根	-	政所	1
木之本	3	中之郷	7
竹生島	0	市場	5
今津	4	油日	0

積雪分布図 (cm)

昭和48年11月20日



12月24日～25日の大雪と寒波

気圧配置はモンゴルに1056mbの優勢な高気圧、千島方面には発達した低気圧という典型的な冬型。大陸から-45度という寒気団が日本の上空に移動してきたため、日本海側は大雪となった。本県でも2日続きの寒波に見舞われ、北部を中心に雪が激しく降り続き、北部山間部や湖西の山間部は60～150cm、平地では30～50cmとなり、今冬初の大雪を記録した。名神高速道路、国道(8号、161号、21

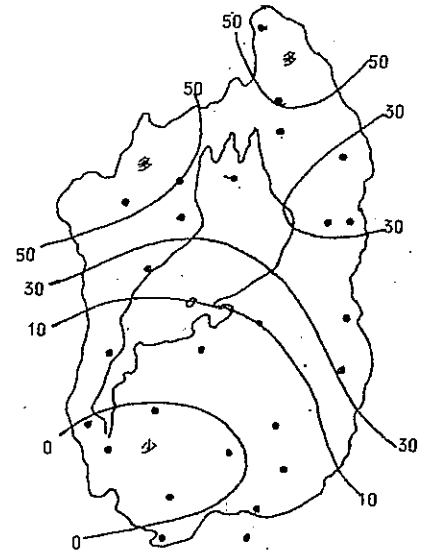
号) は交通が混乱, 北陸本線はラッセル車の出動, 国鉄, 新幹線の遅延, 湖北地方の一部で民家が雪のため孤立状態となった所もあった。

積雪分布図 (cm)

昭和48年12月25日

積雪 (9時・cm)

観測所	12月24日	25日	26日	観測所	12月24日	25日	26日
彦根	0	30	15	市場	3	56	38
木之本	15	38	37	北小松	—	17	5
竹生島	5	37	31	山東	—	30	30
今津	4	53	40	柳ヶ瀬	60	80	85
政所	0	30	23	県道 路課調	甲津原	(8時) 150	120
中之郷	32	51	47		中河内	(8時) 140	160
安曇川	2	40	24		在原		95



警戒状況

12月24日 風雪注意報 (北部) } 発表 10時00分
 強風注意報 (南部)

25日 " } 解除 10時00分
 "

被害状況

農林被害

被害場所	被害対象	被害程度	被害面積等	被害金額	備考
伊吹町大清水	パイプハウス (花卉)	倒壊	558 m ²	837 円	倒壊4棟, 積雪60cm
"	菊	枯死	1,000 本	40	
"	アイリス	芽破損	10,000 個	250	
新旭町北畑	パイプハウス (野菜)	倒壊	68 m ²	101	倒壊1棟 " 40cm
今津町梅原	"	"	100 m ²	150	" " 50cm
安曇川町青柳	"	"	100 m ²	150	" " 40cm
浅井町西野	パイプハウス (育苗ハウス)	"	100 m ²	150	" " 50cm
計			926 m ²	1,678	

昭和49年 (1974年)

1月9日~14日の大雪

1月に入って小康状態を続けてきた天気は, 9日ごろから本格的な冬型気圧配置となり, 14日ごろま

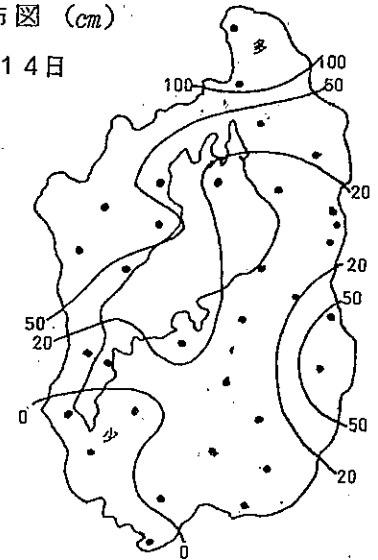
で県下で断続的に降雪をみた。このため9日には、湖南でも降雪を観測し、11日には名神で一時閉鎖、また、国道303号では雪崩が発生するなどの事故が起きた。14日には前夜からの降雪で湖南をのぞく県下はすべて白銀でおおわれ、柳ヶ瀬では1m、政所で80cmの積雪量となり、県下のところどころでは臨時休校も出た。

積雪(9時・cm)

観測所	14日	観測所	14日	観測所	14日
彦根	15	政所	80	日野	19
木之本	30	中之郷	66	安曇川	53
竹生島	10	市場	75	油日	2
今津	45	北小松	48	信楽	4
水口	3	堅田	5	山東	16
八幡	23	土山	18	柳ヶ瀬	100

積雪分布図(cm)

49年1月14日



1月18日～19日の大雪

17日夜半から湖北を中心に雪となり。名神では再び閉鎖、新幹線もノロノロ運転、各国道は混雑し通行止め箇所が出た。

また、道路の不通箇所が起きたため孤立する町村もあった。

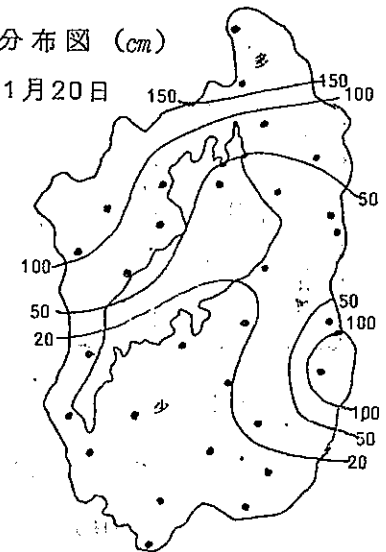
これは華中に中心を持つ高気圧の影響で、この西高東低の気圧配置は20日にはくずれた。

積雪(9時・cm)

観測所名	18日	19日	20日	観測所名	18日	19日	20日
彦根	3	27	25	市場	55	110	130
木之本	25	46	53	北小松	20	60	68
竹生島	15	40	46	土山	1	15	17
今津	28	65	70	日野	2	17	30
八幡	—	10	17	安曇川	25	71	80
政所	70	110	126	山東	5	12	35
中之郷	78	82	106	柳ヶ瀬	120	130	185

積雪分布図(cm)

49年1月20日



積雪(cm)

県道路課調

観測所	18日	19日	観測所	18日	19日	観測所	18日	19日	観測所	18日	19日
甲津原	150	160	塩津浜	17	46	杉山	90	150	中牧	245	300
中河内	200	225	大浦	18	65	保坂	120	150	在原	170	240

警戒状況

1月18日	大雪注意報(北部)	発表	17時00分
19日	//	解除	11時30分
	風雪注意報	発表	17時00分
20日	//	解除	07時40分

被害状況

(1) 農林関係被害

被害市町村	パイプハウス等被害 ^{m²}	農産物	ガラスハウス	被害金額(円)	被害程度	備考
八日市市	280			470	倒壊	2棟
彦根市	981			1,184	//	3棟
彦根市		キクナ, キュウリ ほうれん草		372	枯死	
日野町	700			1,400	倒壊	5棟
永源寺町	200			400	//	1棟
愛東町			4,300枚	4,300	ガラス破損	9棟
//		キュウリ 303m ²		478	定植放棄	
湖東町	1,281			1,236	倒壊	11棟
//		キュウリ 60m ² 仔ゴ 7kg		58 } 68 10 }	枯死	
秦荘町	99			1,250	倒壊	3棟
//		ユリ 1,650本		66	枯死	
愛知川町	99			99	倒壊	3棟
//		ユリ 1,200本		48	枯死	
豊郷町	462			820	倒壊	2棟
今津町	269			4,275	//	4棟
朽木村	16			300	//	1棟
安曇川町	2,180.6			10,200	//	6棟
高島町	90			500	はり組わん曲	1棟
計	6,657.6	—	4,300枚	27,466		

(2) 道路状況

県道京都大原今津線	19日午前中通行不能
// 中河内木之本線	19日~20日まで通行不能

1月26日・29日の大雪

1時的小おとろえていた冬型気圧配置は22日ごろからつよまり、連日雪降りの空模様となった。
24日夜から本格的に冬空となり、25日にかけて県下全般に積雪をみた。

このため雪による交通事故は名神や各国道で起こり、また路面凍結などでスリップ事故も続出した。一方、朽木村の一部では積雪による村道不通箇所もようやく開けたので、孤立集落に食料などの補給が行われた。

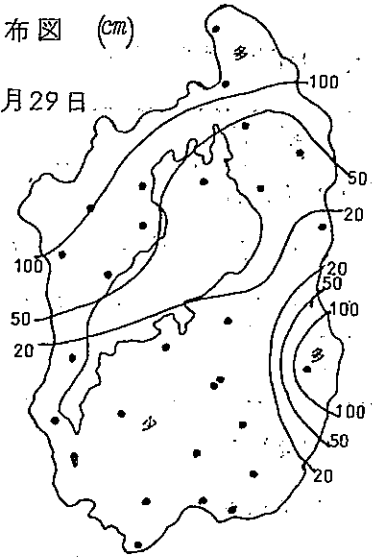
28日ごろより再び冬型気圧配置が強まり、29日には県下の一部をのぞき降雪を観測し、今津で58cm、政所で125cm、柳ヶ瀬では140cmの積雪量となった。

積雪(9時・cm)

観測所	1月29日	観測所	1月29日	観測所	1月29日
彦根	23	政所	125	日野	13
木之本	30	中之郷	87	安曇川	60
竹生島	26	市場	118	信楽	7
今津	58	北小松	80	山東	15
多羅尾	2	堅田	5	柳ヶ瀬	140
水口	4	土山	10		
八幡	18	治田	2		

積雪分布図 (cm)

49年1月29日



2月10日～12日の大雪

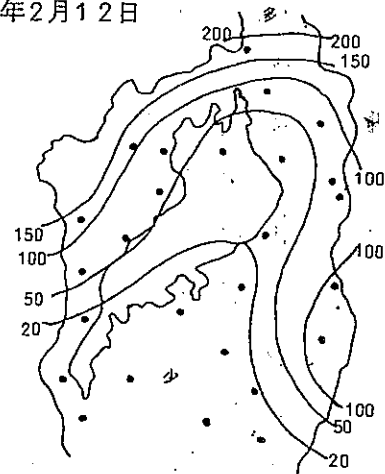
9日から12日にかけて冬型気圧配置が強まり、湖北・湖西を中心に断続的に雪が降り新積雪70cm以上を加えて、湖西の市場では163cm、湖北の柳ヶ瀬では180cm、山間部での積雪は2mを越えるところがあった。このため交通途絶で孤立する部落が現われたほか、名神高速道路をはじめ道路交通の支障やスリップ事故が続発、国鉄タイヤの乱れなどが起った。

積雪(9時・cm)

観測所名	9日	10日	11日	12日	
彦根	3	5	3	22	
木之本	1	15	32	50	
竹生島	3	22	20	30	
今津	43	70	50	88	
政所	105	110	110	125	
中之郷	45	78	98	115	
市場	98	135	138	163	
北小松	35	60	50	55	
安曇川	32	49	45	66	
山東	3	5	15	60	13日
柳ヶ瀬	105	130	160	180	185

積雪分布図 (cm)

49年2月12日



警戒状況

2月 8日	風雪注意報発表	13時10分
10日	解除	10時30分
11日	大雪注意報発表	16時15分
12日	解除	09時10分

被害状況

(1) 農業関係施設被害

被害場所	被害対象	被害程度	被害面積等	被害金額
安曇川町南古賀	カントリーエレベーター	屋根一部破損	720 m ²	1,500 円
中野	ビニールハウス鶏ふん処理施設	倒壊	90	400
朽木村, 地子原	牛舎(トタンブリキ木造)		60	1,800
計	-	-	870	3,700

(2) 林業被害

○ 施設被害

しいたけ栽培フレーム 1棟 100円

○ 林産物被害

単位 円

森林計画区	市町村	人工林		森林計画区	市町村	人工林	
		面積	被害額			面積	被害額
湖東北部	彦根市	138 ha	7,482	湖北	木之本町	102.9 ha	13,156
"	多賀町	1,267	65,892	"	余呉町	171.5	21,610
湖東	愛東町	222	10,663	"	西浅井町	35.2	4,317
"	湖東町	98	5,589	"	マキノ町	682.70	50,843
"	秦荘町	122	5,999	"	今津町	1,669.56	155,815
湖東北部	長浜市	0.1	9	湖西	朽木村	1,695.13	167,862
"	山東町	7.7	1,168	"	大津	731.41	274,307
"	伊吹町	57	8,170	"	志賀町	284.15	166,548
"	米原町	7.9	996	湖南	土山町	527	38,909
"	浅井町	71.5	10,330	湖東	永源寺町	562	123,921
"	湖北町	4.2	378	"	日野町	196	40,553
湖北	高月町	3.7	447	計		8,656.65	1,174,964

なお、林産被害は昭和48年12月～49年2月までの計

3月13日の大雪

3月11日には、西高東低の冬型の気圧配置となった。

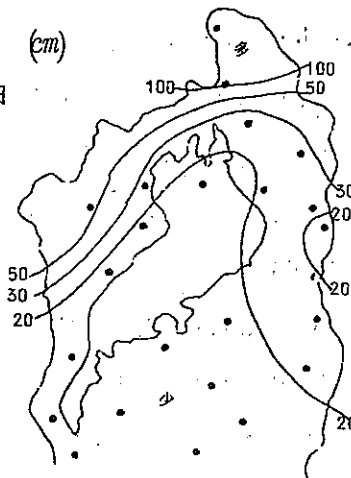
12日には早春寒波の襲来となり、このため湖東地方では20cm、湖西地区では5.0cmと、時ならぬ冬將軍に見舞われた。例によって名神は一時閉鎖され、県下のあちこちでスリップによる車の接触事故が起きた。また、新幹線もタイヤに乱れが生じるなど春雪による事故が多発した。

積雪(9時・cm)

観測所	3月13日	観測所	3月13日
彦根	25	市場	57
木之本	24	北小松	15
竹生島	17	土山	2
今津	30	日野	2
八幡	4	安曇川	19
政所	21	山東	15
中之郷	40	柳ヶ瀬	100

積雪分布図 (cm)

49年3月13日



5月2日・6日の晩霜

新茶摘みのシーズンに入り、県内の茶どころ甲賀郡では、2日・6日の両日晩霜に襲われた。被害面積は19.4 ha。これは両日とも移動性高気圧におおわれ、輻射冷却によるもので、4~5cmにのびた新芽が凍り茶園表面は真っ黒に変色した。

各地の最低気温(°C)

観測所名	2日	6日	観測所名	2日	6日
彦根	6.5	9.2	大津	7.0	6.9
多羅尾	-1.4	0.5	日野	3.9	3.5
土山	2.9	8.8	瀬田川	3.4	4.0
油日	2.1	3.5	市場	4.1	4.5

警戒状況

5月2日 霜注意報発表 16時00分
 3日 // 解除 06時30分
 5日 霜注意報発表 17時00分
 6日 // 解除 06時10分

被害状況

農産被害(茶)

区分 農作物等	被害面積		被害減収量 (t)	被害額 (円)
	計	うち30%以上		
茶	324.4 ha	188.0 ha	206.25	57,548

昭和50年(1975年)

1. 1月12日～13日の北部の大雪

1月9日朝9時84mbの発達した低気圧が北海道東方海上に出たあと優勢な大陸高気圧が張り出して西高東低の冬型気圧配置となり、日本海側では雪が降り始めた。

この冬型気圧配置は11日さらに強まり、12日には西日本上空5500mに-30℃の寒気が入りこんだ。このため日本海側を中心に北陸、山陰、県北部は大雪となり13日から14日午前中まで降り続いた。14日には西高東低の冬型気圧配置がゆるんだため午後には雪はやんだ。県下北部を中心に樹木苗のせつ損が目立ち、交通障害が随所に発生し、中河内一木之本を結ぶ道路の一部では多いところで4mを越す大雪となった。彦根市内でも武奈地区など孤立状態となり、臨時休校するところが続出した。

今回の大雪の特徴としては、

1. 冬型の気圧配置がながく続いた。
2. 上空500mbでは寒気塊がオホーツク海を中心に広範囲にわたり、北海道上空では-40℃、本州上空では-30℃の寒気にながくおおわれた。
3. 本州中部付近では季節風が北西風となって吹走した。

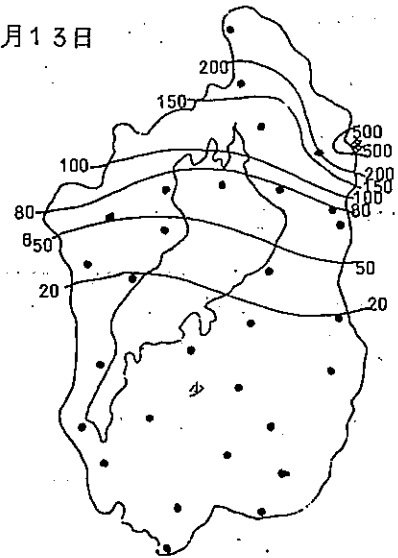
以上の点から滋賀県北部では降雪の期間がながく、しかも風が北西から西寄であったので、北雪型となり、雪が間断なく降り続いた。

積雪(9時・cm)

観測所	1月12日	13日	観測所	1月12日	13日
彦根	0	30	市場	20	50
木之本	82	114	北小松	—	16
竹生島	50	70	安曇川	3	25
今津	48	66	山東	50	80
中之郷	110	144	柳ヶ瀬	160	180

積雪分布図(cm)

50年1月13日



警戒状況

1月10日	大雪注意報(北部)発表	20時30分
11日	解除	16時00分
"	大雪情報発表	"
13日	大雪・なだれ注意報(北部)発表	17時15分
14日	解除	08時20分

被害状況

(1) 住家被害

区 分		被害量	被 災 市 町 村
半 壊	棟	35	木之本町
	世帯	35	
	人	130	
一部破損	棟	539	山東町, 近江町, 浅井町, 高月町 木之本町, 余呉町, 西浅井町
	世帯	498	
	人	1,824	
床下浸水	棟	5	浅井町
	世帯	5	
	人	23	
非住家	棟	81	山東町, 米原町, 近江町, 虎姫町, 湖北町, 木之本町, 余呉町

(2) 公共文教施設

伊香高校 被害額 4,214円

(3) 農林関係被害

○ 農産被害

被害対象	被害状況	被害箇所数	被害数量	被害見込金額	被害程度	被害地域
苗木	折損	—	154本	7,200円	緑化樹折損	高月町
鶏舎	一部破壊	1棟	89㎡	500	屋根が落ちる	彦根市
パイプハウス	倒壊	51	6,212	8,809	全壊及び半壊	彦根, 長浜, 米原, 伊吹, 浅井, 高月, 近江, びわ
ガラス温室	ガラス破損	1	40	58		高月町
ミノリ式パイプハウス	倒壊	3	860	1,838	全壊	彦根市, 高月町
鉄骨ハウス	倒壊	9	3,300	14,350	全壊	浅井町, びわ町, 長浜市
合計		65棟	154本 10,501㎡	32,755		

○ 林業被害

被害対象	被害数量	被害見込額	被害発生地域
立木	3,250 ha	801,900円	湖北地方(木之本他11町)
シイタケフレーム	1棟	100	長浜市
		802,000	

(4) その他の被害

水道施設 1ヶ所 被害額 150円 浅井町

2月16日～23日の南部の大雪

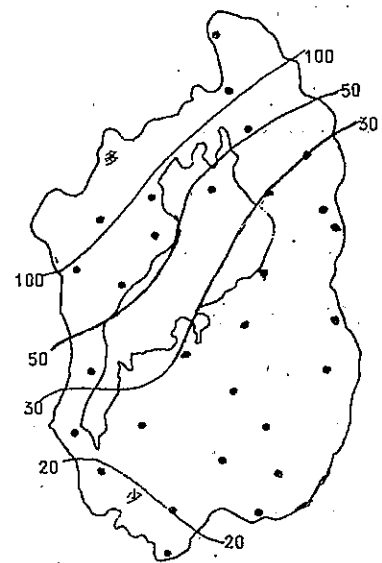
2月20日から西高東低の冬型気圧配置になり雪が降り始めたが22日から23日にかけて冬型気圧配置が強まり、西日本上空に-35℃の寒気はいったため北部を中心に100cmを越える大雪となった。南部の大津市でも23日に22cmの積雪を観測したが、これは季節風による雪としては珍しい現象で、1936年2月5日の41cmにつづ大雪となった。

積雪 (9時・cm)

観測所	16日	17日	18日	22日	23日
彦根	9	26	25	13	22
木之本	11	19	26	45	51
今津	20	40	59	42	65
八幡	15	15	3	0	30
中之郷	42	45	55	95	96
市場	23	64	97	89	110
北小松	20	55	55	35	60
堅田	7	13	15	0	12
土山	15	20	18	15	28
日野	20	28	22	17	28
安曇川	13	35	58	34	53
山東	7	14	20	25	30
柳ヶ瀬	75	90	105	140	153
大津	4	1	3	5	22

積雪分布図 (cm)

昭和50年2月23日



警戒状況

2月15日	風雪注意報発表	15時00分
16日	大雪注意報 //	08時35分
17日	// 更新	16時30分
18日	// 解除	11時00分
21日	// 発表	06時35分
//	風雪注意報 //	11時30分
24日	// 解除	05時00分

被害状況

(1) 農産被害

被害対象	被害状況	被害箇所数	被害数量	被害見込金額	被害程度	被害地域名
パイプハウス	倒壊	12	2,433㎡	2,899円	全壊及び一部倒壊	八日市, 近江八幡, 能登川, 永源寺, 安土
花卉	破損		530㎡	536	10.0%	八日市市
計			2,963㎡	3,435円		

(2) 道路状況

本巢山東線 吉槻～甲津原
 中河内木之本線 菅並～鷺見 } 通行不能(2月22日9時現在)
 武生木之本線 椿坂～中河内

5月18日の晩霜

晩霜により、県南部では茶に被害をだした。

最低気温(℃)

観測所	18日	観測所	18日	観測所	18日	観測所	18日
彦根	10.2	水口	7.5	市場	7.0	土山	6.5
大津	8.5	八幡	6.9	北小松	8.3	日野	6.6
多羅尾	1.5	中之郷	8.6	堅田	9.0	油日	6.5

被害状況

農産被害(茶)

被害市町	被害面積	被害数量	被害金額	備考
信楽町	6.0 ha	1.2 t	4,200円	朝宮, 多羅尾, 畑

昭和51年(1976年)

1月19日から23日にかけての大雪

1月18日、発達した低気圧が北海道東方海上に去り、バイカル湖付近に中心を持つ1060mbの優勢な高気圧の張り出しで、日本全域は冬型の気圧配置となった。このような状態は19日から22日まで続き22日後半から湖北に降っていた雪も中部まで拡がり始め、一部南部山沿まで浸透してきてピークとなった。23日おそくから大陸高気圧は南下し、分離した高気圧の一部は揚子江下流域に中心を持ち、低気圧

もアリューシャン列島付近まで遠ざかったため冬型気圧配置も緩み、24日は高気圧が移動性となって東支那海に出たため降雪は終りを告げた。

積雪(9時・cm)

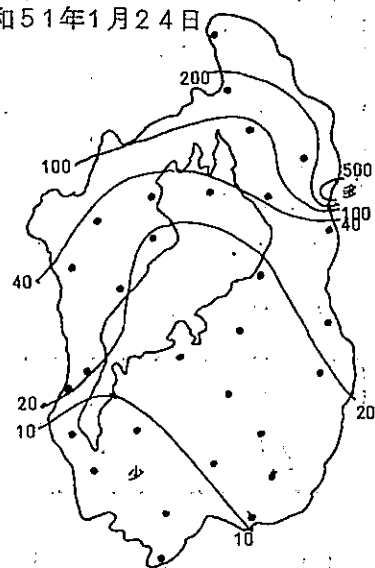
観測所	20日	21日	22日	23日	24日	観測所	20日	21日	22日	23日	24日
彦根	0	1	0	16	18	堅田	-	-	-	-	20
木之本	35	51	60	64	69	土山	-	-	-	-	14
竹生島	17	22	25	30	36	日野	-	-	-	-	16
今津	12	13	13	31	37	瀬田川	-	-	-	-	2
大津	-	-	-	-	5	安曇川	1	1	0	9	12
多羅尾	-	-	-	-	2	油日	-	-	-	-	11
水口	-	-	-	-	14	信楽	-	-	-	-	6
八幡	-	-	-	-	18	山東	8	12	14	26	38
中之郷	70	90	95	105	115	柳ヶ瀬	125	125	150	160	165
市場	18	18	17	28	35	虎姫	8	20	25	35	40
北小松	-	-	-	6	28	蒲生	8	-	-	-	18

警戒状況

- 1月19日 強風注意報 } 発表 16時00分
- 大雪注意報(北部山間部)
- 20日 強風注意報 } 発表 12時20分
- 大雪注意報(北部)
- 21日 同 発表 13時40分
- 22日 風雪注意報(北部) } 発表 10時20分
- 強風異常乾燥注意報(南部)
- 23日 風雪注意報 発表 15時50分
- 24日 // 解除 11時10分

積雪分布図(cm)

昭和51年1月24日



5月14日・15日の低温凍霜害

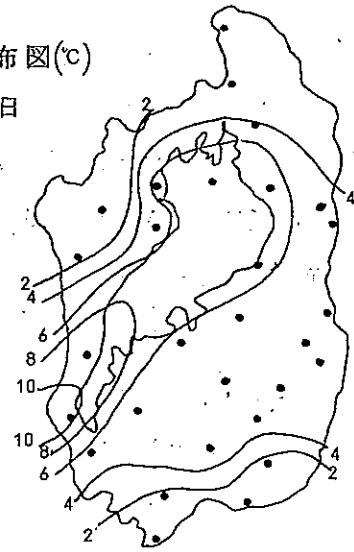
5月12日本州に一雨降らした気圧の谷は東海上に去り、華北から南東に進んできた高気圧は移動性となりその中心は13日から14日にかけて東支那海北部を通過して西日本に接近した。この高気圧の上空ではかなり温度が低く、13日大陸にあった冷たい空気は14日には日本海側を中心に本州に流れこんだ。このような移動性高気圧におおわれた本県では風は弱く天気は快晴で夜間の放射冷却が強く、南部山間部を中心に霜がおりた。この傾向は程度こそ多少弱まったが、15日朝も続いた。

被害状況 (茶霜害)

地域名	面積 (ha)	被害額 (円)
大津市	15	1,290
水口町	5	3,150
土山町	150	92,250
甲賀町	3	1,020
甲南町	5.4	2,000
信楽町	50	57,226
永源寺町	3	600
計	231.4	157,536

最低気温分布図(°C)

昭和51年5月14日



昭和52年(1977年)

昭和51年年末から52年年始にかけての大雪

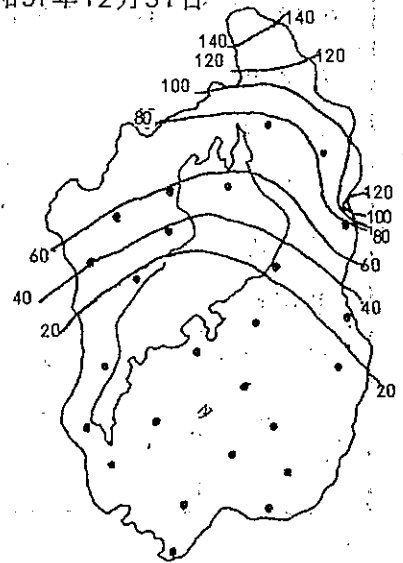
12月23日華南と華北に現われた低気圧は、25日朝には日本海南部と本州南海上に進み、その後急速に積雪(9時・cm)

観測所	12月27日	28	29	30	31	1月1日	2	3	4	5	6	7
彦根	—	39	34	30	20	18	42	27	59	51	50	41
木之本	4	42	58	56	71	65	76	76	100	91	91	105
竹生島	—	42	55	50	50	42	60	48	94	90	82	80
今津	—	47	65	70	60	55	75	70	105	100	102	100
大津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
多羅尾	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水口	—	—	—	3	0	—	—	—	—	—	—	—
八幡	—	—	—	2	0	—	—	—	—	—	—	—
市場	—	39	59	71	48	44	54	49	65	49	51	46
北小松	—	—	13	26	13	9	5	3	8	1	1	0
堅田	—	—	2	4	0	—	—	—	—	—	—	—
土山	—	—	1	2	0	—	—	—	—	—	—	—
日野	—	—	2	3	0	—	—	—	—	—	—	—
油日	—	—	1	2	0	—	—	—	0	—	—	—
瀬田川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
安曇川	—	25	35	39	26	21	35	25	39	35	34	30
柳ヶ瀬	20	40	105	120	100	135	150	150	170	170	170	175
信楽	—	—	5	8	0	—	—	—	—	—	—	—
虎姫	—	53	58	58	60	60	85	85	90	90	92	95
蒲生	—	—	—	1	0	—	—	—	—	—	—	—
山東	—	70	60	57	70	75	110	110	100	100	110	115
伊吹山	25	90	105	98	127	139	395	465	535	525	545	565

発達しながら26日夜には北海道付近と北海道東方海上に達し、中心示度も99.2mbとなった。一方、バイカル湖南西方の107.2mbに発達した大陸の高気圧は、低気圧の発達と相まって、次第に本州に張り出し強い冬型の気圧配置となった。その後、北海道東方海上にでた低気圧は、さらに発達して北東進し、27日カムチャッカ半島南海上に達し、その中心の一部はアリューシャン付近に移ったが、長らくこの方面で停滞し、一方、バイカル湖南西方に中心をもった大陸高気圧も強い勢力を保ったまま1月5日ごろまで停滞した。その後、大陸の高気圧は弱まって移動性となり、その中心が揚子江下流域から九州に移り(6日21時)大陸からの寒気の移流も弱まったため、漸く今回の降雪も終りを告げた。

積雪分布図 (cm)

昭和51年12月31日



警戒状況

51年12月27日	風雪注意報 (北部)	} 発表	1 6時 30分
	強風 " (南部)		
28日	大雪強風注意報 (北部)	} 発表	0 5時 30分
	風雪注意報 (南部)		
"	"	解除	1 5時 40分
29日	大雪注意報 (北部)	発表	1 1時 30分
"	"	解除	2 1時 20分
30日	強風注意報	発表	2 3時 00分
52年 1月 1日	風雪注意報 (北部)	} 発表	1 1時 00分
	強風 " (南部)		
"	大雪注意報 (北部)	発表	1 6時 20分
2日	"	解除	0 8時 30分
3日	風雪注意報 (北部)	} 発表	1 6時 40分
	強風 " (南部)		
4日	大雪強風注意報 (北部)	} 発表	0 4時 50分
	風雪注意報 (南部)		
"	"	解除	1 3時 10分
5日	風雪注意報 (北部)	} 発表	1 7時 45分
	強風 " (南部)		
6日	大雪注意報 (北部)	発表	1 0時 15分
"	"	解除	1 8時 50分

交通状況

- (1) 国鉄 新幹線 1.6日間無ダイヤ状態
 東海道本線 1.2月28日, 1月4日にダイヤ混乱
 湖西線 特急・急行の大巾な遅れ
 北陸本線 28日よりダイヤ混乱, ロータリーラッセル車出動
- (2) 道路 国道8号線 木之本以北 一時閉鎖
 // 21号線 一時閉鎖
 // 161号線 一時通行不能となる。
- (3) バス 近江鉄道・江若交通・国鉄バスに運休路線が相次いだ。

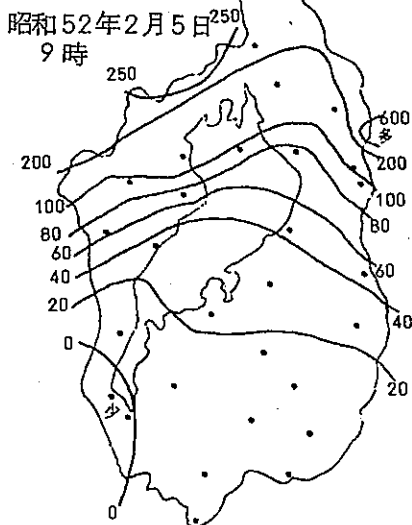
2月2日~5日, 2月17日~19日の大雪

年末から2月末まで, 2カ月間にわたって超一級の異常寒気団が居座ったため, 全国的に異常低温が続

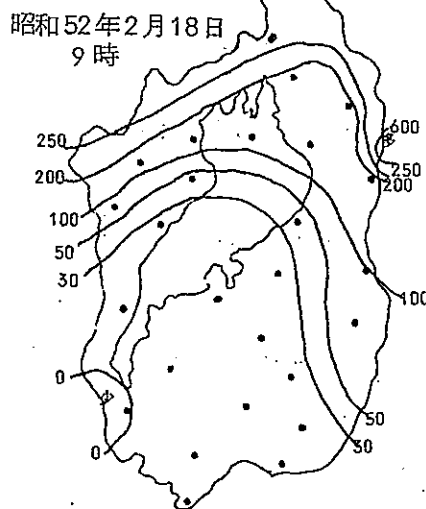
積雪(9時・cm)

観測所	2月2日	3	4	5	17	18	19	観測所	2月2日	3	4	5	17	18	19
彦根	-	40	35	42	18	40	44	土山	-	6	1	6	-	6	1
木之本	85	114	100	110	111	130	129	日野	-	5	0	12	-	6	6
竹生島	41	77	75	100	85	110	115	油日	-	2	0	4	0	2	0
今津	61	105	92	117	91	125	120	瀬田川	-	-	-	-	-	1	0
大津	-	-	-	-	-	-	-	安曇川	3	33	24	45	15	43	49
多羅尾	-	-	0	1	-	0	-	柳ヶ瀬	175	200	190	210	230	250	240
水口	-	1	0	11	-	3	0	信楽	-	-	-	7	-	0	-
八幡	-	8	0	26	-	5	5	虎姫	60	80	70	80	80	110	100
市場	63	90	85	93	72	100	105	蒲生	-	3	1	18	-	8	8
北小松	4	20	16	30	5	18	25	山東	72	85	84	92	95	125	120
堅田	-	-	-	8	-	0	0	伊吹山	575	580	615	625	570	615	645

積雪分布図(cm)



積雪分布図(cm)



き, 1~2月の平均気温は2~3℃低めとなって, 昭和20年以来の寒冬が, 記録された。また, 積雪も多雪地帯は昭和38年の豪雪以来の大雪となり, 交通障害などの雪害が発生した。(17日9時には輪島の上空500mbの気温は, -4.6.1℃となり, 昭和16年以来の最低となった。)

当県では2月2日から5日及び17日から19日にかけて冬型気圧配置が持続し、上空の強い寒気が断続的に流れこみ、冬型が一段と強まり、5日及び18日の積雪は最大となった。

警戒状況

2月	1日	風雪注意報発表	16時45分
	2日	〃 解除	09時40分
	〃	大雪注意報(北部)発表	16時35分
	3日	大雪情報(北部) 〃	10時30分
	〃	大雪注意報(北部) 〃	16時50分
	4日	〃 解除	05時30分
	4日	大雪注意報(北部)発表	17時00分
	5日	大雪注意報(全域)発表	07時40分
	〃	〃 更新	16時10分
	6日	〃 解除	07時40分
	15日	風雪注意報 発表	09時00分
	16日	雪情報 〃	08時50分
	〃	大雪強風注意報(北部) } 発表	18時30分
	〃	風雪注意報(南部)	
	17日	大雪なだれ注意報(北部)発表	10時30分
	〃	大雪情報 発表	16時30分
	18日	なだれ注意報(北部)発表	15時20分
	〃	雪情報 発表	22時00分

交通状況

(1) 国鉄

新幹線 列車遅延 一部運休
 東海道本線 } 米原で立往生 一部運休
 北陸本線
 湖西線 一部運休、遅延、ラッセル車ロータリー車出動

(2) 道路

国道県道は、雪のため、チェーン規制、通行止、渋滞あいつぐ

(3) バス

近江鉄道、江若交通、国鉄バスの運休あいつぐ

被害状況(51年年末～52年2月の総計)

(1) 人的被害

死者 1人(長浜市, 雪おろしで転落)
 重傷 11人(長浜市, 高月町)
 軽傷 25人(長浜市, 近江町, 浅井町, 余呉町)

(2) 建物被害

区 分		被 害	被 災 市 町 村	
住 家 被 害	全 壊	棟	3	長浜市, マキノ町
		世帯	3	
		人	10	
	半 壊	棟	5	湖北町, 西浅井町, マキノ町
		世帯	5	
		人	20	
	一部破損	棟	1,028	長浜市, 山東町, 伊吹町, 米原町, 近江町, 浅井町 虎姫町, 湖北町, びわ町, 高月町, 木之本町, 余呉町 西浅井町, マキノ町, 今津町, 新旭町, 朽木村
		世帯	1,028	
		人	3,500	
非 住 家	棟	25		

(3) 公立文教施設被害

坂田郡, 伊香郡, 高島郡など24ヶ所 被害額 30,745千円

(4) その他公共施設被害

保育所, 会議所, 公民館, 役場, ガードレール, 水道施設, 清掃施設等 25ヶ所

被害額 26,209千円

(5) 農林水産関係被害 総額 1,265,232千円

○ 農産被害

被害対象	被害状況	被害箇所数	被害数量	被害額	備 考
ビニールハウス	全壊・破損	89棟	15,946㎡	27,871千円	近江八幡, 竜王, 能登川, 彦根, 愛東, 長浜, 山東, 伊吹, 米原, 近江, 浅井, びわ, 西浅井, マキノ, 今津, 安曇川, 新旭
その他農業施設	全壊・半壊・破損	39件	—	25,226	農機具センター, 倉庫等の屋根破損, 選果場半壊, 鶏舎全壊, 長浜今津県事管内
野 菜	ハウス損壊による被害 露地野菜の被害	—	4,682ha	16,609	彦根市, 近江八幡市, 能登川町, 長浜市, 米原町
花 卉	ハウス損壊による被害	—	0.098ha	2,050	近江八幡市, 竜王町
果 樹		—	3.0ha	460	伊吹町
桑	病害発生	—	115.0ha	4,933	長浜市, 山東町, 伊吹町, 浅井町, 虎姫 町, 湖北町, びわ町, 高月町, 木之本町, 余呉町
合 計				77,149	

○ 林業関係

被害対象	被害数量	被害額	備考
林地・新生崩壊	6ヶ所 2.5ha	47,500円	長浜、伊吹、浅井、木之本、余呉
林道・道路	11ヶ所	7,050	木之本、余呉、朽木、今津
林産物・立木	7,989ha	1,128,873	彦根、長浜、今津県事管内、各市町 大津・志賀 各市町
きのこ類生産施設	6ヶ所 19棟	3,160	しいたけ用ビニールハウス しいたけ人工日よけ
合計		1,186,583	

○ 水産関係

被害額 1,500円 養殖施設用ビニールハウスの全壊 びわ町

○ 1月～2月の異常寒波干ばつによる農林水産業の被害

茶の被害

市町村名	面積 (ha)	生葉減収量 (t)	減収被害額 (円)	樹体被害額 (円)	被害額計 (円)
大津市	11	12.15	2,025	3,312	5,337
水口町	60	161.00	26,833	23,160	49,993
土山町	220	640.50	106,750	100,620	207,370
甲賀町	28	69.30	11,550	8,948	20,498
甲南町	17	45.15	7,525	6,502	14,027
信楽町	125	602.45	144,588	152,917	297,505
日野町	20	15.00	2,500	18,025	20,525
愛東町	18	24.00	4,000	2,034	6,034
合計	499	1,569.55	305,771	315,518	621,289

5月17日・18日の県南部凍霜害

高気圧におおわれた本県では好天のため、夜間の放射冷却が強く、新茶の芽がのびたばかりの甲賀郡信楽町、土山町、水口町の山間部では、5月17日の霜害に続いて18日も多羅尾観測所で最低気温は0.1℃までさがり、茶園約50ヘクタールが晩霜のため被害をうけた。

最低気温 (°C)

観測所	17日	18日	観測所	17日	18日
彦根	8.3	6.9	市場	7.5	2.5
木之本	9.2	5.6	北小松	9.0	8.5
竹生島	8.5	7.8	堅田	7.1	6.5
今津	10.0	6.3	土山	4.2	3.7
大津	8.0	7.0	日野	5.8	5.0
多羅尾	1.1	0.1	油日	3.5	2.2
水口	6.8	5.8	瀬田川	5.6	3.9
八幡	7.5	6.0	安曇川	9.2	5.8

被害状況 (茶)

市町村名	面積等 (ha)	被害額 (円)
水口町	5.0	1,086
土山町	95.0	51,561
甲南町	1.0	217
信楽町	16.0	9,418
永源寺町	2.8	4,480
計	119.8	66,762